

第7回日本在宅医療連合学会大会

在宅医療の未来を語ろう

～2025年問題に向き合い、2040年に備える～長崎から全国へ

プログラム集

会 期	【現地開催】2025年6月14日（土）～2025年6月15日（日） 【Web開催】2025年7月1日（火）～2025年8月31日（日）
会 場	出島メッセ長崎
大 会 長	安中 正和（安中外科・脳神経外科医院 院長） 白髭 豊（白髭内科医院 院長）
主 催	一般社団法人 日本在宅医療連合学会
助 成	公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
後 援	厚生労働省 総務課／公益社団法人日本医師会／公益社団法人日本看護協会／公益社団法人全日本病院協会／公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会／公益社団法人日本栄養士会／一般社団法人日本介護支援専門員協会／公益社団法人日本介護福祉士会／一般社団法人日本言語聴覚士協会／一般社団法人日本作業療法士協会／公益社団法人日本社会福祉士会／一般社団法人日本慢性期医療協会／公益社団法人日本理学療法士協会／公益社団法人日本臨床工学技士会／一般社団法人日本病院薬剤師会／公益社団法人日本薬剤師会／公益社団法人日本歯科医師会／公益社団法人日本歯科衛生士会／公益社団法人日本鍼灸師会／一般社団法人日本病院会／一般社団法人全国在宅療養支援医協会／一般社団法人全国訪問看護事業協会／一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会／一般社団法人日本在宅医療事務連絡会／一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会／NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク／公益財団法人日本訪問看護財団／一般社団法人日本在宅ケアアライアンス／一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会／一般社団法人日本老年医学会／特定非営利活動法人日本緩和医療学会／一般社団法人日本緩和医療薬学会／一般社団法人日本在宅薬学会／一般社団法人日本薬学教育学会／一般社団法人日本在宅栄養管理学会／一般社団法人日本ケアマネジメント学会／一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会／公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会／NPO法人PDN／公益財団法人日本尊厳死協会／一般社団法人日本栄養治療学会／一般社団法人日本病態栄養学会／一般社団法人日本臨床栄養学会／日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会／一般社団法人日本褥瘡学会／一般社団法人日本認知症ケア学会／一般社団法人日本難病看護学会／長崎県／長崎県医師会／長崎県薬剤師会／長崎県歯科医師会／長崎県栄養士会／長崎県看護協会／長崎県訪問看護ステーション連絡協議会／長崎県介護支援専門員協会／長崎県老人福祉施設協議会／長崎県理学療法士協会／長崎県言語聴覚士会／長崎県介護福祉士会／長崎県医療ソーシャルワーカー協会／長崎県歯科衛生士会 長崎支部／長崎市／長崎市医師会／長崎市薬剤師会／長崎市歯科医師会／長崎市訪問看護ステーション連絡協議会／長崎市介護支援専門員連絡協議会／長崎市老人福祉施設協議会／ながさき地域医療連携部門連絡協議会／がん診療連携拠点病院・ホスピス関連病院／長崎市地域包括支援センター連絡協議会／長崎市訪問介護連絡会／日本尊厳死協会・ながさき／長崎薬剤師在宅医療研究会（P-net）／長崎新聞社／西日本新聞社／NBC長崎放送／KTNテレビ長崎／NCC長崎文化放送／NIB長崎国際テレビ ※一部申請中を含みます。

大会事務局 認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット

運営事務局 株式会社コンベンションリンケージ
〒850-0057 長崎市大黒町 9-22 大久保大黒町ビル本館8階
Tel：095-825-1955
Mail：7jahcm@c-linkage.co.jp

◆総合案内

ご挨拶	4
大会運営の新しい取り組みについて	5
第7回日本在宅医療連合学会大会 実行委員	6
第7回日本在宅医療連合学会大会 プログラム委員	7
交通のご案内・会場周辺図	9
出島メッセ長崎 会場のご案内	10
ポスター会場配置図	11
展示会場のご案内	12
参加者の皆様へ	14
座長・演者の皆様へ	19
市民公開講座 映画『人生をしまう時間（とき）』上映会	23
懇親会	24
日程表	26

◆プログラム

開会式	33
大会長講演	33
代表理事講演	33
特別企画	33
特別講演	34
シンポジウム	35
ワークショップ	55
パネルディスカッション	60
ハンズオンセミナー	62
交流集会	62
集合集会	63
指導医大会	63
在宅NPWT 認定教育制度 OSCE ハンズオン講習会	64
スポンサードシンポジウム	64
デモンストレーション	64
市民公開講座	64
ランチョンセミナー	65
一般演題（口演）	70
一般演題（ポスター）	75
閉会式	98

◆査読者リスト	99
---------------	----

◆協賛企業・団体一覧	102
------------------	-----



第7回日本在宅医療連合学会大会 開催にあたって

第7回日本在宅医療連合学会大会

大会長 安中 正和 大会長 白髭 豊
(安中外科・脳神経外科 (白髭内科医院 院長)
医院 院長)

この度、第7回日本在宅医療連合学会大会を歴史と文化の街、長崎で開催できますことを、大変光栄に存じます。本大会は、長年にわたり地域の在宅医療を牽引してきた長崎在宅Dr.ネットの事務局長が、白髭豊から安中正和へと受け継がれるという世代交代の節目にあたり、二人が共同大会長を務められる中での開催となります。このような形で未来に向けた大会を開催できることを、心より嬉しく思っております。

大会テーマは「在宅医療の未来を語ろう～2025年問題に向き合い、2040年に備える～」といたしました。団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年、そして生産年齢人口の減少と高齢者人口のピークが予測される2040年を見据え、私たちは、地域包括ケアシステムの中核を担う在宅医療の持続可能性を真剣に模索していく必要があります。医療・介護ニーズの複合化や担い手不足といった厳しい現実と直面するなかで、在宅医療の未来に向けてどのような備えが可能かを、広く多角的に議論することが求められています。本大会が、そうした課題に対する確かな道標となり、持続可能な在宅医療の実現に向けた一助となることを心より願っております。

長崎では、かつて診療所連携モデル「長崎在宅Dr.ネット」を先駆的に立ち上げ、多職種が和気藹々と連携する文化を育んでまいりました。本大会の大会長講演では、白髭豊より「超高齢化社会での長崎の在宅医療～これまでの取り組みと今後の課題、新たなチャレンジ～」と題し、これまでの歩みを振り返るとともに、人口減少や診療所の偏在といった新たな課題への挑戦、さらには、倫理的側面も含めた総括がなされます。また、安中正和から、介護医療院での実践経験、保険委員会委員長として診療報酬制度に関わってきた知見、ZEVIUS研究を通じて地域の実践をエビデンスとして社会に発信した取り組み、あじさいネットによる情報共有の実例など、未来を見据えた医療連携の鍵についてお話をさせていただきます。

本大会では、長崎の実行委員会独自の企画を多数ご用意いたしました。それに加え、全国からも在宅医療の未来を見据えた多彩なシンポジウム、ワークショップ、特別講演が集まりました。地域包括ケアシステムの深化、人材不足や地域間格差への対応、ITの活用、医学教育、若手人材の育成、訪問看護の将来像、摂食嚥下への支援、介護施設との連携強化など、在宅医療の核心をなすテーマについて、活発な議論が交わされることが期待されます。「点で支える」医療から「面で支える」地域づくりへ。本大会を通じて、専門職のみならず、多様な立場の方々との協働のあり方をもとに模索してまいります。

また、一般演題には500を超える多くの応募をいただきました。すでに優秀演題候補も選出しており、口演やポスターセッションにおいても、熱意ある発表と活発な議論がなされることでしょう。

本大会が、これまでの知恵を継承し、現在の課題に真摯に向き合いながら、未来に向けた明確なビジョンを描くための、実り多き場となることを心より願っております。皆様の積極的なご参加と活発な討議が、日本の在宅医療の新たな一歩を力強く後押しするものと確信しております。

大会運営の新しい取り組みについて

第7回大会では、これまでの開催から得た経験を踏まえ、いくつかの新たな取り組みを実施しました。

1) 実行委員会の体制強化と「長崎企画」

2024年1月より、総勢50名にのぼる長崎の実行委員会を組織しました。各職能団体へのお声掛けや、両大会長の人脈を活用することで、多職種・多方面から人材を募り、“オール長崎、オール職種”による体制を構築しました。加えて、九州近隣地域の先生方にもご参画いただき、地域ならではの視点を反映した独自のプログラム「長崎企画」を20以上企画しました。

2) プログラム委員会の発展的運用

第5回大会までは、各種委員会やワーキンググループからの提案、公募企画によって構成されていましたが、第6回大会では過去の企画や一般演題をもとに在宅医療全般を網羅するカテゴリを設定し、それぞれに委員を配置して企画を進める体制を導入しました。

本大会では、この第6回大会の方式をさらに発展させ、評議員・理事からカテゴリーごとに委員を公募した結果、44名のプログラム委員が集まりました。加えて、長崎の実行委員もプログラム委員会に参加し、両者が連携して企画の重複を避けつつ、議論を重ねることで、多くの魅力的な企画が誕生しました。このように、プログラム委員と地元実行委員の協働作業は、長崎大会ならではの新たな取り組みとなりました。

3) 一般演題の倫理審査体制の強化

一般演題の募集開始と同時に、日本在宅医療連合学会 倫理・利益相反委員会では、研究デザイン別の解説ビデオおよびPDF資料を学会ホームページにて公開しました。これは、これまでの演題で指摘されてきた倫理的な課題を周知し、適切な演題登録を促すことを目的としたものです。

今回、過去最多となる527題の応募をいただきましたが、残念ながら一部は採用に至りませんでした。特にアンケート調査や診療録の後方視的研究においては、事前の倫理審査を経て実施いただく体制が、今後より一層浸透することを願っています。

大会長2名、実行委員長、そして50名の実行委員が一丸となって準備を進めてまいりました。多様な視点を反映した新しい取り組みにより、より充実した大会となることを期待しています。

第7回日本在宅医療連合学会大会 実行委員

総合案内

1	藤 希望	活水女子大学健康生活学部
2	田浦 直太	長崎大学病院 総合患者支援部
3	高島 謙介	ケアマネセンターいろは
4	石司 有理子	社会福祉法人 椿ヶ丘
5	山下 潤一郎	長崎記念病院 リハビリテーション部
6	道辻 禎孝	長崎県介護福祉士会
7	米倉 康佑	西諫早病院
8	大原 寛之	長崎原爆病院 緩和ケア内科
9	榑 寿恵	長崎市地域包括支援センター連絡協議会
10	中桶 了太	国民健康保険 平戸市民病院
11	浜田 久之	長崎大学病院 医療教育開発センター
12	永田 康浩	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療学分野
13	前田 隆浩	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 総合診療学分野
14	松本 武浩	長崎大学病院 医療情報部
15	門田 耕一郎	重工記念長崎病院
16	三串 伸哉	森本歯科医院
17	安中 正和	安中外科・脳神経外科医院
18	白髭 豊	白髭内科医院
19	廣瀬 弥幸	広瀬クリニック
20	藤井 卓	藤井外科医院
21	土屋 知洋	ちひろ内科クリニック
22	出口 雅浩	出口外科眼科医院
23	奥平 定之	奥平外科医院
24	阿保 貴章	阿保外科医院
25	小笠原 貞信	長崎記念病院
26	詫摩 和彦	たくま医院
27	谷川 健	谷川放射線科胃腸科医院
28	鶴田 雅子	つるた医院
29	藤瀬 直樹	藤瀬クリニック
30	山根 豊	山根内科胃腸科医院
31	落 義男	落内科医院
32	小山 奈保子	長崎在宅Dr.ネット事務局
33	満岡 聡	医療法人 満岡内科クリニック
34	吉田 伸	穎田病院総合診療科
35	高倉 潤一	介護老人保健施設 サンブライト愛宕
36	金子 和美	長崎県看護協会訪問看護ステーション
37	中村 美喜子	長崎県薬剤師会 ペンギン薬局
38	石井 浩二	長崎大学病院 麻酔科
39	上田 展也	長崎市薬剤師会 アイビー薬局
40	鍵本 明男	長崎市薬剤師会 ひとみ薬局
41	松尾 史江	ケアプランセンターゆめライフ
42	白髭 浩之	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
43	宮崎 久美	長崎県看護協会訪問看護ステーション
44	池上 由起	長崎市医師会保健福祉センター
45	押淵 素子	押淵医院
46	平戸 基輝	長崎市薬剤師会 ひまわり薬局
47	中川 由紀	長崎市医師会保健福祉センター
48	鈴木 稔	白之会 特別養護老人ホーム みぎわほーむ
49	長谷川 美希	白之会 特別養護老人ホーム みぎわほーむ
50	根メ 詩織	長崎みなとメディカルセンター

第7回日本在宅医療連合学会大会 プログラム委員

No.	カテゴリー	氏名 ((N):長崎実行委員、 *:リーダー)	所属
1	ACP・意思決定	櫻井 隆 *土屋 知洋 植竹 日奈 五味 一英 満岡 聡 詫摩 和彦(N) 根メ 詩織(N) 落 義男(N)	さくらいクリニック ちひろ内科クリニック NPO法人ケ・セラ 桜新町アーバンクリニック 医療法人満岡内科クリニック たくま医院 長崎みなとメディカルセンター 落内科医院
2	倫理的課題	*三浦 靖彦 白髭 豊 藤瀬 直樹(N)	岩手保健医療大学 白髭内科医院 藤瀬クリニック
	哲学的課題	長野 宏昭	いきがい在宅クリニック
3	医療安全・リスクマネジメント	*武 ユカリ 三木 明子 谷亀 光則	森ノ宮医療大学 関西医科大学 望星大根クリニック
	災害対策	長谷川太郎 *宮本 雄気 泰川 恵吾	湘南おおふなクリニック よしき往診クリニック ドクターゴン診療所
4	人材育成・教育	洪 英在 串田 一樹 *中桶 了太 熊谷 琴美 宮崎 久美(N) 永田 康浩(N) 吉田 伸(N)	医療法人康誠会 東員病院 昭和薬科大学 国民健康保険 平戸市民病院 愛知学院大学 長崎県看護協会訪問看護ステーション 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療学分野 頤田病院総合診療科
	キャリア	石司有理子(N) *門田耕一郎 水上 直人	社会福祉法人 椿ヶ丘 重工記念長崎病院 医療法人賛永会 さつきホームクリニック
5	研究	*山中 崇 次橋 幸男	東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座 天理よろづ相談所病院
	医療・ケアの質・評価	井手口直子 *大橋 英司	帝京平成大学薬学部 医療法人社団 大橋内科胃腸科
6	ICT	*門田耕一郎 阿保 貴章(N) 道辻 禎孝(N) 奥平 定之(N)	重工記念長崎病院 阿保外科医院 長崎県介護福祉士会 医療法人社団 奥平外科医院
	事業所運営・経営	*安池 純士 鈴木 稔(N) 押渕 素子(N) 石坂 俊輔(N)	医療法人社団悠翔会 白之会 特別養護老人ホーム みぎわほーむ 押渕医院 石坂脳神経外科
7	多職種連携	*小笠原貞信 飯森 俊介 谷水 正人 松尾 史江(N) 出口 雅浩(N) 藤井 卓(N) 押渕 素子(N) 米倉 康佑(N)	社会医療法人 長崎記念病院 いろはホームケアクリニック 社会医療法人仁友会南松山病院 ケアプランセンターゆめライフ 出口外科眼科医院 藤井外科医院 押渕医院 西諫早病院(長崎県医療ソーシャルワーカー協会)
8	病診・病病連携	*花井亜紀子 吉川 正宏 石井 浩二(N) 門田耕一郎(N)	国立精神神経医療研究センター病院 竹林貞吉記念クリニック 長崎大学病院 重工記念長崎病院

第7回日本在宅医療連合学会大会 プログラム委員

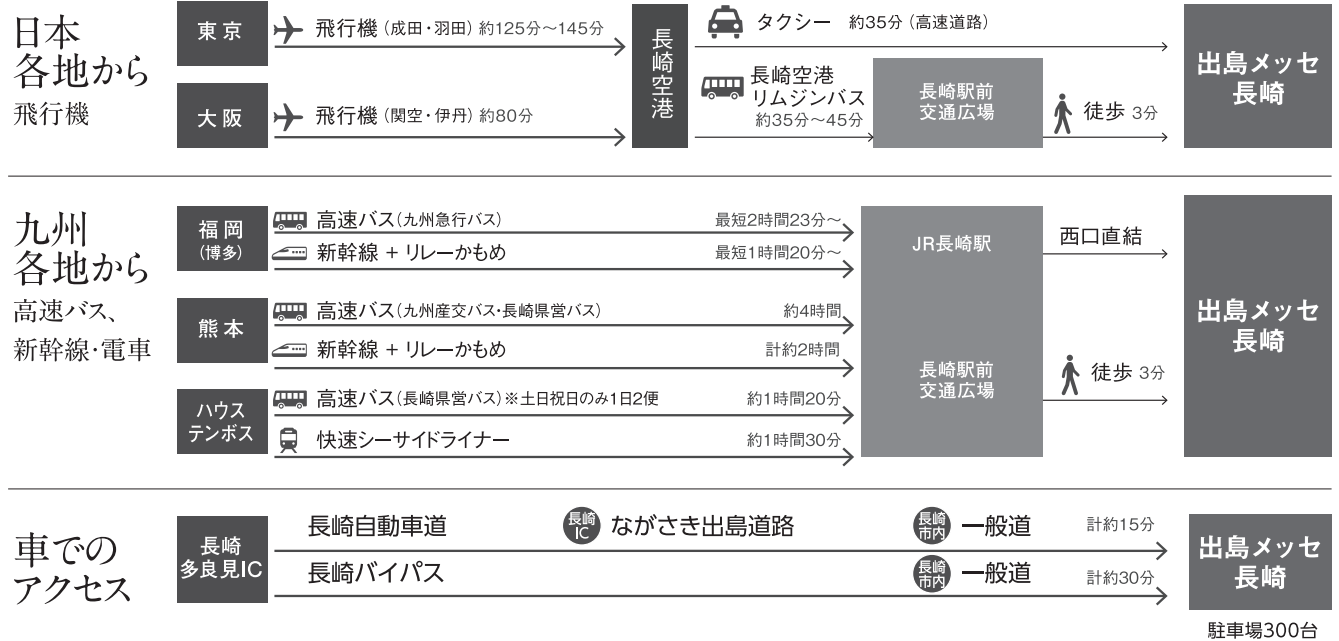
総合案内

No.	カテゴリー	氏名 ((N):長崎実行委員、 *:リーダー)	所属
9	職種別	*安中 正和 上村久美子 宮下 勉 菅原 由美 鍵本 明男(N) 平戸 基輝(N) 上田 展也(N) 中村美喜子(N)	安中外科・脳神経外科医院 居宅介護支援事業所万年青 医療法人あんず会 NPO 法人キャンナス代表 長崎市薬剤師会 ひとみ薬局 長崎市薬剤師会 ひまわり薬局 長崎市薬剤師会 アイビー薬局 長崎県薬剤師会 ペンギン薬局
10	地域包括システム	吉江 悟 *新屋 洋平 中川 由紀(N) 榊 寿恵(N) 山下潤一郎(N) 高倉 潤一(N)	一般社団法人Neighborhood Care ゆい往診クリニック 長崎市医師会保健福祉センター 長崎市地域包括支援センター連絡協議会 (公社) 長崎県理学療法士協会 介護老人保健施設サンブライツ愛宕
	地域づくり	飯島 勝矢	東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター
11	保険制度・診療報酬	荘司 輝昭 *宇都宮励子 安中 正和(N)	立川在宅ケアクリニック 一般社団法人 大阪ファルマプラン 安中外科・脳神経外科医院
	医療政策・医療計画・医療制度	小野 宏志	坂の上ファミリークリニック
12	国際性・国際交流 学会のありかた	*三浦 久幸 白髭 豊(N)	国立長寿医療研究センター 医療法人社団悠翔会 白髭内科医院
13	認知症	*内田 直樹	医療法人すずらん会たろうクリニック
	難病	中山 優季 馬木 良文 白髭 浩之(N)	東京都医学総合研究所 医療法人はれの日 あおいそら在宅診療所 独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
14	臓器不全	*河原崎宏雄 弓野 大 伊藤 大樹 廣瀬 弥幸(N)	帝京大学医学部附属溝口病院 医療法人社団ゆみの あおばクリニック 広瀬クリニック
15	緩和ケア	市原 利晃 *杉浦 敏之 大原 寛之(N) 石井 浩二(N)	秋田往診クリニック 医療法人社団弘恵会杉浦医院 日本赤十字社長崎原爆病院 長崎大学病院 麻酔科
	看取り	白山 宏人 *片見 明美 満岡 聡(N) 長谷川美希(N) 金子 和美(N)	医療法人社団西日本平郁会 大阪北ホームケアクリニック 株式会社ヴィーナス 医療法人満岡内科クリニック 白之会 特別養護老人ホーム みぎわほーむ 長崎県看護協会訪問看護ステーション
	家族ケア	白髭 豊(N)	白髭内科医院
16	リハビリテーション	*安部 能成 小笠原貞信(N)	穂波の郷クリニック 社会医療法人 長崎記念病院
17	呼吸ケア	中田 隆文 竹川 幸恵 *武知由佳子	マリオス小林内科クリニック 大阪はびきの医療センター いきいきクリニック
18	食支援・口腔嚥下	*猪原 健 田中 弥生 丸山 道生 三串 伸哉(N) 池上 由起(N) 藤 希望(N)	猪原「食べる」総合歯科医療クリニック 関東学院大学 田無病院 森本歯科医院 長崎市歯科医師会 長崎市医師会訪問看護事業所 活水女子大学健康生活学部
	褥瘡ケア	*蘆野 吉和 増田 孝子	山形県庄内保健所長 日本在宅医療連合学会事務局
19	褥瘡NPWT	増田 孝子	日本在宅医療連合学会事務局
20	小児	*島崎 亮司	シティタワー診療所
21	指導医大会	*斉藤 康洋	GPクリニック

交通のご案内・会場周辺図

出島メッセ長崎

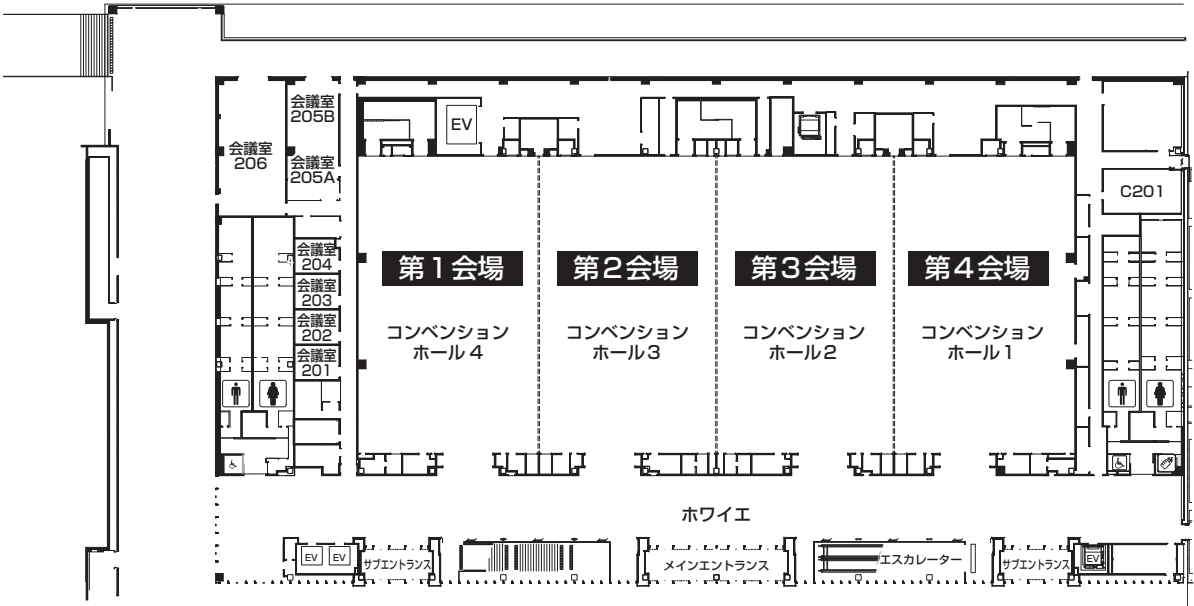
〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4-1 TEL：095-801-0530



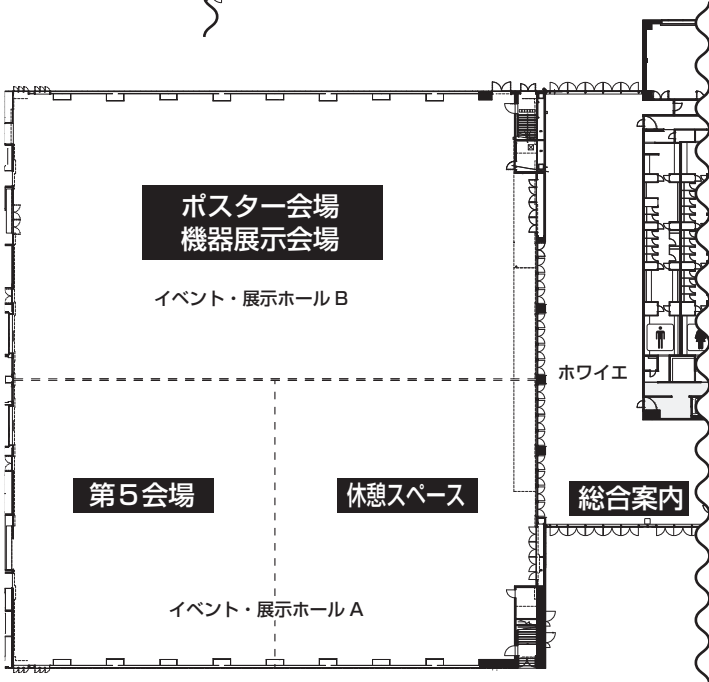
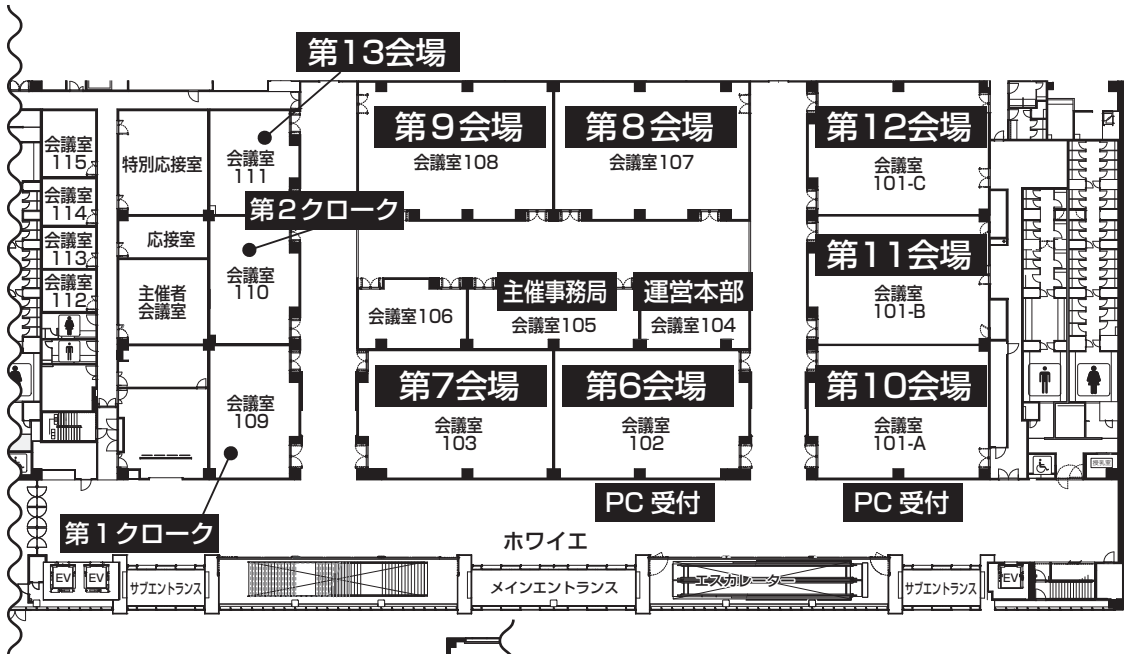
出島メッセ長崎 会場のご案内

総合案内

2階



1階



ポスター会場配置図

●6月14日（土） 1日目

- ・ポスター貼り付け 7：30 ～ 8：30
- ・ポスター撤去 18：00 ～ 19：00

ポスター会場											
P-1-186	P-1-185	P-1-152	P-1-151	P-1-120	P-1-119	P-1-86	P-1-85	P-1-52	P-1-51	P-1-18	P-1-17
P-1-187	P-1-184	P-1-153	P-1-150	P-1-121	P-1-118	P-1-87	P-1-84	P-1-53	P-1-50	P-1-19	P-1-16
P-1-188	P-1-183	P-1-154	P-1-149	P-1-122	P-1-117	P-1-88	P-1-83	P-1-54	P-1-49	P-1-20	P-1-15
P-1-189	P-1-182	P-1-155	P-1-148	P-1-123	P-1-116	P-1-89	P-1-82	P-1-55	P-1-48	P-1-21	P-1-14
P-1-190	P-1-181	P-1-156	P-1-147	P-1-124	P-1-115	P-1-90	P-1-81	P-1-56	P-1-47	P-1-22	P-1-13
P-1-191	P-1-180	P-1-157	P-1-146	P-1-125	P-1-114	P-1-91	P-1-80	P-1-57	P-1-46	P-1-23	P-1-12
P-1-192	P-1-179	P-1-158	P-1-145	P-1-126	P-1-113	P-1-92	P-1-79	P-1-58	P-1-45	P-1-24	P-1-11
P-1-193	P-1-178	P-1-159	P-1-144	P-1-127	P-1-112	P-1-93	P-1-78	P-1-59	P-1-44	P-1-25	P-1-10
P-1-194	P-1-177	P-1-160	P-1-143	P-1-128	P-1-111	P-1-94	P-1-77	P-1-60	P-1-43	P-1-26	P-1-9
P-1-195	P-1-176	P-1-161	P-1-142	P-1-129	P-1-110	P-1-95	P-1-76	P-1-61	P-1-42	P-1-27	P-1-8
P-1-196	P-1-175	P-1-162	P-1-141	P-1-130	P-1-109	P-1-96	P-1-75	P-1-62	P-1-41	P-1-28	P-1-7
P-1-197	P-1-174	P-1-163	P-1-140	P-1-131	P-1-108	P-1-97	P-1-74	P-1-63	P-1-40	P-1-29	P-1-6
P-1-198	P-1-173	P-1-164	P-1-139	P-1-132	P-1-107	P-1-98	P-1-73	P-1-64	P-1-39	P-1-30	P-1-5
P-1-199	P-1-172	P-1-165	P-1-138	P-1-133	P-1-106	P-1-99	P-1-72	P-1-65	P-1-38	P-1-31	P-1-4
P-1-200	P-1-171	P-1-166	P-1-137	P-1-134	P-1-105	P-1-100	P-1-71	P-1-66	P-1-37	P-1-32	P-1-3
P-1-201	P-1-170	P-1-167	P-1-136	P-1-135	P-1-104	P-1-101	P-1-70	P-1-67	P-1-36	P-1-33	P-1-2
P-1-202	P-1-169	P-1-168			P-1-103	P-1-102	P-1-69	P-1-68	P-1-35	P-1-34	P-1-1
機器展示会場											
▼出入口											

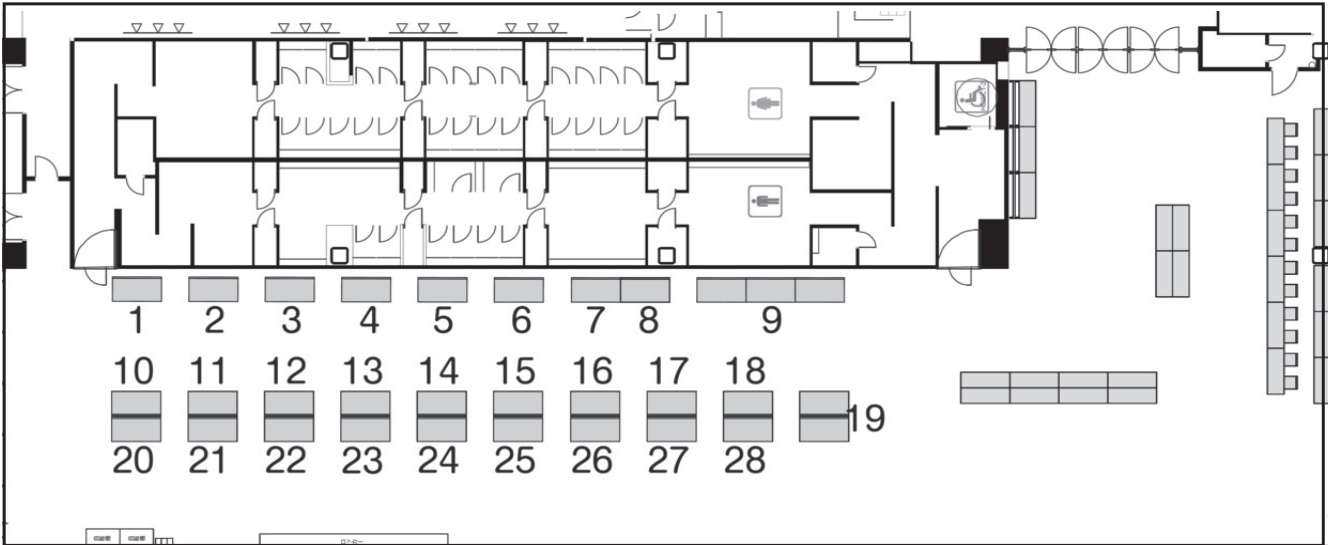
●6月15日（日） 2日目

- ・ポスター貼り付け 7：00 ～ 8：00
- ・ポスター撤去 14：50 ～ 15：50

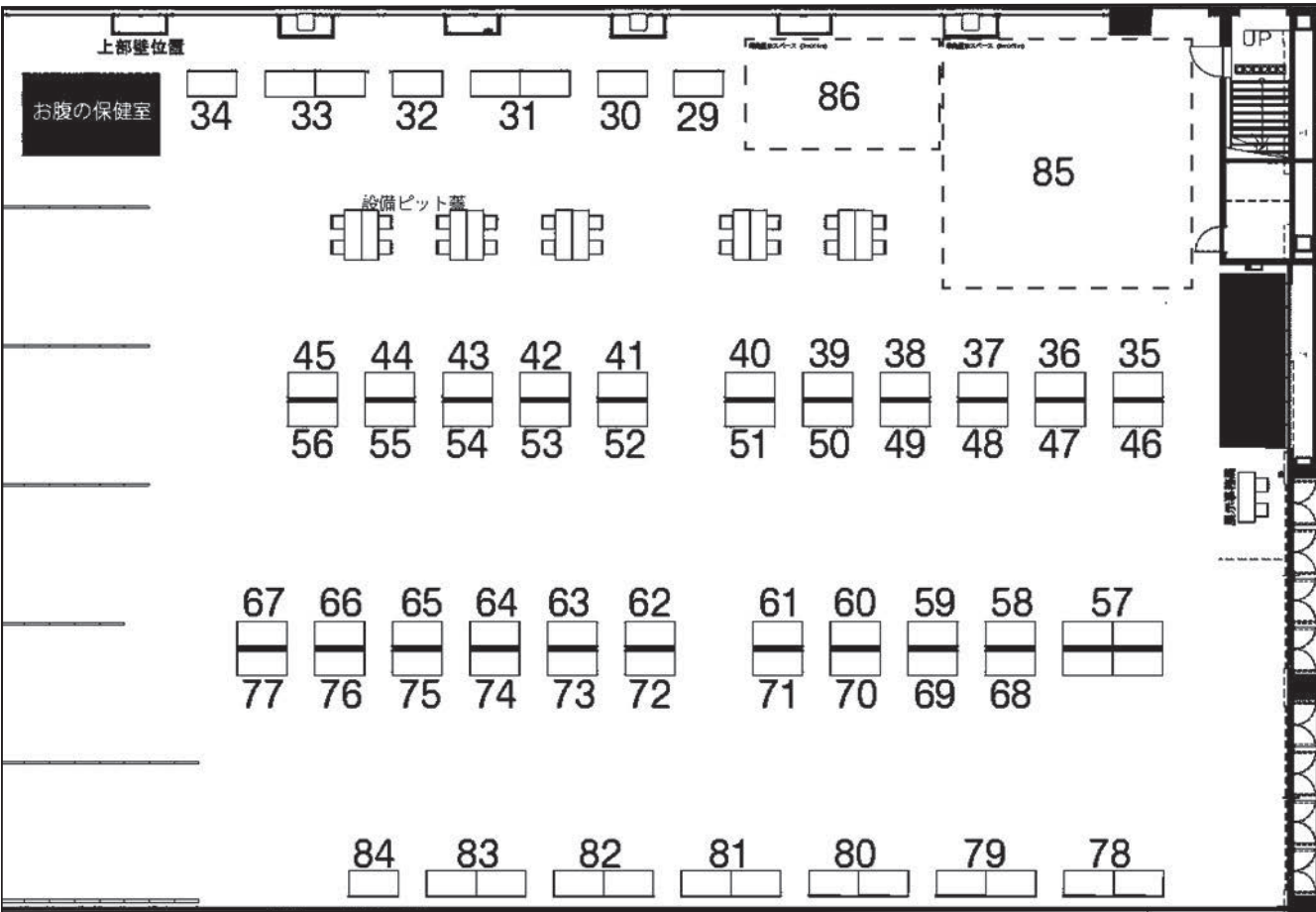
ポスター会場											
P-2-184	P-2-183	P-2-152	P-2-151	P-2-120	P-2-119	P-2-86	P-2-85	P-2-52	P-2-51	P-2-18	P-2-17
P-2-185	P-2-182	P-2-153	P-2-150	P-2-121	P-2-118	P-2-87	P-2-84	P-2-53	P-2-50	P-2-19	P-2-16
P-2-186	P-2-181	P-2-154	P-2-149	P-2-122	P-2-117	P-2-88	P-2-83	P-2-54	P-2-49	P-2-20	P-2-15
P-2-187	P-2-180	P-2-155	P-2-148	P-2-123	P-2-116	P-2-89	P-2-82	P-2-55	P-2-48	P-2-21	P-2-14
P-2-188	P-2-179	P-2-156	P-2-147	P-2-124	P-2-115	P-2-90	P-2-81	P-2-56	P-2-47	P-2-22	P-2-13
P-2-189	P-2-178	P-2-157	P-2-146	P-2-125	P-2-114	P-2-91	P-2-80	P-2-57	P-2-46	P-2-23	P-2-12
P-2-190	P-2-177	P-2-158	P-2-145	P-2-126	P-2-113	P-2-92	P-2-79	P-2-58	P-2-45	P-2-24	P-2-11
P-2-191	P-2-176	P-2-159	P-2-144	P-2-127	P-2-112	P-2-93	P-2-78	P-2-59	P-2-44	P-2-25	P-2-10
P-2-192	P-2-175	P-2-160	P-2-143	P-2-128	P-2-111	P-2-94	P-2-77	P-2-60	P-2-43	P-2-26	P-2-9
P-2-193	P-2-174	P-2-161	P-2-142	P-2-129	P-2-110	P-2-95	P-2-76	P-2-61	P-2-42	P-2-27	P-2-8
P-2-194	P-2-173	P-2-162	P-2-141	P-2-130	P-2-109	P-2-96	P-2-75	P-2-62	P-2-41	P-2-28	P-2-7
P-2-195	P-2-172	P-2-163	P-2-140	P-2-131	P-2-108	P-2-97	P-2-74	P-2-63	P-2-40	P-2-29	P-2-6
P-2-196	P-2-171	P-2-164	P-2-139	P-2-132	P-2-107	P-2-98	P-2-73	P-2-64	P-2-39	P-2-30	P-2-5
P-2-197	P-2-170	P-2-165	P-2-138	P-2-133	P-2-106	P-2-99	P-2-72	P-2-65	P-2-38	P-2-31	P-2-4
P-2-198	P-2-169	P-2-166	P-2-137	P-2-134	P-2-105	P-2-100	P-2-71	P-2-66	P-2-37	P-2-32	P-2-3
P-2-199	P-2-168	P-2-167	P-2-136	P-2-135	P-2-104	P-2-101	P-2-70	P-2-67	P-2-36	P-2-33	P-2-2
					P-2-103	P-2-102	P-2-69	P-2-68	P-2-35	P-2-34	P-2-1
機器展示会場											
▼出入口											

展示会場のご案内

【展示ホール ホワイエ】



【展示ホール】



展示会場のご案内

No.	会社名／団体名
1	三栄メディスン株式会社
2	株式会社東京ミライズ
3	ファストドクター株式会社
4	QT Medical, Inc.
5	一般社団法人ICAA
6	株式会社QUEEN'S
7	アボットジャパン合同会社 栄養剤製品事業部
8	アボットジャパン合同会社 ポイント・オブ・ケア事業部
9	東洋羽毛九州販売株式会社
10	インフィニティメディカルソフト株式会社
11	ながさき地域医療人材支援センター
12	花王株式会社
13	マルホ株式会社
14	科研製薬株式会社
15	skinix
16	オムロンヘルスケア株式会社
17	日本ビーシージー製造株式会社
18	株式会社ヒュー・メックス
19	株式会社V I P グローバル
20	オカモト株式会社
21	G E ヘルスケア・ジャパン株式会社
22	シスメックス株式会社
23	クロスログ株式会社
24	株式会社フィリップス・ジャパン
25	セコム医療システム株式会社
26	株式会社レスメッド
27	ナック商会株式会社
28	株式会社ニチイ学館
29	一般社団法人 日本ALS協会
30	株式会社ゼスト
31	NTTプレジジョンメディシン株式会社
32	株式会社medimo
33	スミス・アンド・ネフュー株式会社
34	森下仁丹株式会社
35	ニュートリー株式会社
36	株式会社星医療酸器
37	大研医器株式会社
38	チェスト株式会社
39	アイ・エム・アイ株式会社
40	株式会社エクスメディオ
41	オープン株式会社
42	味の素株式会社
43	パラマウントベッド株式会社
44	ディピュラメディカルソリューションズ株式会社

No.	会社名／団体名
45	USCI ジャパン株式会社
46	株式会社ヤマト
47	ミーカンパニー株式会社
48	株式会社クラウドクリニック
49	入江工研株式会社
50	パーカッション・ジャパン株式会社
51	株式会社 伊藤園
52	テレフレックスメディカルジャパン株式会社
53	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社／扶桑薬品工業株式会社
54	トクソー技研株式会社
55	AMI 株式会社
56	株式会社インボディ・ジャパン
57	株式会社メルシー
58	カフペンテックジャパン株式会社
59	一般社団法人KISA2隊
60	祐徳薬品工業株式会社
61	泉工医科工業株式会社
62	株式会社当直連携基盤
63	ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー
64	kanata 株式会社
65	ソルベンタム合同会社
66	フィシャー&パイクヘルスケア株式会社
67	株式会社ブルーサイエンティフィック新上五島
68	一般社団法人コミュニティ&コミュニティホスピタル
69	キッコーマンニュートリケア・ジャパン株式会社
70	太陽化学株式会社
71	チャートウェルヘルスケア株式会社
72	株式会社龍角散
73	株式会社大塚製薬工場
74	株式会社 on call
75	株式会社梅月堂
76	九州メディカルサービス株式会社
77	株式会社NTT データ中国
78	株式会社RSL
79	メディカルインフォマティクス株式会社
80	アサヒグループ食品株式会社
81	日本シグマックス株式会社
82	フクダ電子株式会社
83	株式会社プロアス
84	特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
85	トヨタカローラ長崎株式会社
86	医療MaaS 車両展示

参加者の皆様へ

総合案内

1. 会期

現地開催 2025年6月14日（土）～ 15日（日）
Web開催（オンデマンド配信） 2025年7月1日（火）～ 8月31日（日）
※ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演・ポスター）・ランチョンセミナー・スポンサー
ドシンポジウムは現地開催のみとなり、オンデマンド配信はありません。

2. 参加登録申込期間

事前申込【現地＋Web（オンデマンド配信）】4月1日（火）10：00～6月13日（金）17：00
現地当日申込 6月14日（土）7：30～6月15日（日）17：00
※現地当日申込をされた方は、事後のWeb（オンデマンド配信）の視聴も可能です。
事後申込【Web（オンデマンド配信）のみ】6月16日（月）9：00～8月31日（日）

3. 参加費

申込区分	事前オンライン申込 【現地＋Web参加】 事後オンライン申込 【Web参加のみ】	現地当日申込 【現地＋Web参加】
①【会 員】医師・歯科医師・企業	14,000円	16,000円
②【非会員】医師・歯科医師・企業	15,000円	17,000円
③【会 員】初期臨床研修医	10,000円	12,000円
④【非会員】初期臨床研修医	11,000円	13,000円
⑤【会 員】薬剤師	10,000円	12,000円
⑥【非会員】薬剤師	11,000円	13,000円
⑦【会 員】上記以外の医療職、福祉職、行政、大学院生	8,000円	10,000円
⑧【非会員】上記以外の医療職、福祉職、行政、大学院生	9,000円	11,000円
⑨介護支援専門員、介護福祉士等介護職、市民、ボランティア	3,000円	3,000円
⑩学生（※大学院生は⑦⑧になります）	無料	無料
お支払い方法	クレジットカードのみ	現金のみ

《注意事項》
・会員で発表者／座長となった方は、必ず「事前オンライン申込」または「現地当日申込」を行なってください。
・学生の方は、学生証のコピーを参加登録申し込みフォームより、必ずアップロードしてください。
※表中「上記以外の医療職」の内訳：看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、MSW、PSW、その他

4. 現地参加受付

受付時間 6月14日（土）7：30～17：00（予定）
6月15日（日）7：00～14：00（予定）
受付場所 出島メッセ長崎 1F ホワイエ（イベント・展示ホール前）
受付方法
◇事前参加登録済みの方
ご登録のメールアドレス宛にお送りしているQRコードを印刷して持参、またはモバイル端末に表示できるようにして、参加受付の自動発券機にかざして、ネームカードをお受け取りください。
◇当日登録の方
総合案内（1F ホワイエ内）に用意されている参加申込用紙をご記入のうえ、当日受付カウンターにお越しください。

参加者の皆様へ

5. 領収書・参加証明書について

①領収書

◇現地当日申込の方

現地で参加費と引き換えにお渡しします。

◇オンライン参加登録の方

クレジットカード決済完了後、参加者用のマイページ内〔各種証明書の発行〕ボタンより発行可能です。

②参加証明書

◇現地参加の方

現地でお受け取りいただくネームカードについています。

◇Web（オンデマンド配信）のみ参加の方（※現地参加後の再発行の方）

現地開催終了後に参加者用のマイページ内〔各種証明書の発行〕ボタンから発行可能です。

参加証明書／領収書 発行期限 9月30日（火）

6. 入会受付および年会費の支払い

日本在宅医療連合学会に入会希望の方及び年会費をお支払いされる方は、受付時間内に1F ホワイエ内の受付カウンターにお越しください。

<お問合せ先>

日本在宅医療連合学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7F

TEL・FAX：03-5802-3490 E-mail：jimukyoku@jahcm.org

学会入会のご案内 <https://www.jahcm.org/membership.html>

7. 抄録集・プログラム集について

抄録集（抄録本文あり）は、大会ホームページにPDFデータで掲載しています。

プログラム集（抄録本文なし）は、現地会場で配布します。

※抄録集・プログラム集のいずれも、事前送付はございません。

8. クローク

開設時間 6月14日（土）7：30～18：30

6月15日（日）7：00～18：00

場 所 出島メッセ長崎 1F 会議室109・110

9. 託児所

託児所は大会ホームページからの事前申込制です。

安全確保の為、設置場所をご利用の方にご案内します。

10. 社員総会・理事会

日時 6月13日（金）社員総会・理事会 17：00～18：45

会場 第6会場（1F 会議室102）

11. 懇親会について

日 時 6月14日（土）18：30～20：00

場 所 ホテルニュー長崎 鳳凰閣

参 加 費 5,000円

申込方法 参加登録画面からオンライン事前申込み制

※定員に達していない場合は、当日の参加も受け付けます。

※懇親会に関する詳細は24ページをご覧ください。

参加者の皆様へ

総合案内

12. 会員総会

日時 6月15日（日）10：50～11：20
会場 第2会場（2F コンベンションホール3）

13. 事前予約が必要なプログラムについて

以下プログラムは大会ホームページからの事前申込制です。プログラムによっては、当日空きがある場合のみご参加いただけます。原則、お申込み者でなくても見学は自由です。
一覧に記載のないワークショップは、当日会場に直接お越しください。尚、事前予約を受け付けていないプログラムでも定員を設けている場合がございます。ご了承ください。

セッション名	日時		定員	当日参加 ※空きがある場合
ワークショップ1	6月14日（土）	8：30～10：00	60名	○
ワークショップ8	6月14日（土）	13：10～14：40	20名×2クール	○
ワークショップ9	6月14日（土）	14：50～16：20	60名	○
ワークショップ12	6月14日（土）	14：50～16：20	40名	○
ワークショップ15	6月14日（土）	16：30～18：00	40名	○
ワークショップ16	6月15日（日）	8：00～9：30	60名	○
ワークショップ19	6月15日（日）	14：20～15：50	100名	○
ワークショップ20	6月15日（日）	14：20～15：50	25名	○
交流集会2	6月15日（日）	9：40～10：40	100名	○
交流集会5	6月15日（日）	12：40～13：40	60名	○
ハンズオンセミナー1	6月14日（土）	8：30～10：00	30名	○
ハンズオンセミナー2	6月14日（土）	10：10～11：40	40名	○（見学参加も可能）※1

※1 実習がございますので、半ズボンなど動きやすい服装でご参加ください。

14. 市民公開講座 映画『人生をしまう時間（とき）』上映会

日時 2025年6月15日（日）学会閉会式後16：30～18：30（上映時間：110分）
会場 第1会場（2F コンベンションホール4）

※市民公開講座 映画『人生をしまう時間（とき）』上映会に関する詳細は23ページをご覧ください。

15. ランチョンセミナーについて

事前申込期間：5月1日（木）～6月13日（金）※なくなり次第終了いたします。
ランチョンセミナーチケットは事前申込制です。
申込は本大会の参加登録をお済ませのうえマイページの「共催セミナー」＞「申し込み」から参加を希望されるセミナーを選択しお申込ください。
※当日ネームカードにチケットが印字されます。
※ランチョンセミナーのオンデマンド配信はありません

16. 企業展示・書籍展示

場所 企業展示 1F イベント・展示ホールB
書籍展示 1F イベント・展示ホールB

17. 録音・撮影、携帯電話

会場内での録音及び写真・動画の撮影は、禁止とさせていただきます。
携帯電話・スマートフォンは、マナーモードに設定いただくか電源をお切りください。

18. 単位の取得について

単位に関する詳細については、各団体にお問い合わせください。

(1) 日本在宅医療連合学会 在宅医療認定専門医更新単位

日本在宅医療連合学会在宅医療認定専門医の方は、本大会の参加により、在宅医療認定専門医の更新に必要な単位として「10単位」が付与されます。更新までにご自身での追加の手続きは、不要です。

(2) 日本在宅医療連合学会指導医の申請と更新【対象：現地参加】

指導医申請・更新に必要な指導医大会への出席単位登録に関しては、1.5時間のセミナーを受講することで付与されます。参加ご希望の方は直接会場にお越しください。

セミナー名：指導医大会（専門医制度委員会企画）

日時：2025年6月15日（日）8：00～9：30

会場：第10会場（1F・会議室101A）

1) プログラム開始時間10分を過ぎた場合、聴講は可能ですが、単位は認められませんので、ご注意ください。また途中退出される場合も、単位は付与されません。

2) 現地開催のみが対象で、オンデマンド配信の聴講では単位は付与されません。

(3) 日本医師会 生涯教育制度単位【対象：現地参加】

日本医師会生涯教育制度の単位が取得いただけます。対象となる本大会企画のセッション名及びそのカリキュラムコード、単位数、取得方法は、大会ホームページの「単位取得について」にてご確認ください。

<単位取得を希望される方へ>

1) 各セッションの会場入口で「参加カード」をお受け取りください。

2) プログラム開始時間10分を過ぎた場合、聴講は可能ですが、単位は認められませんので、ご注意ください。また途中退出される場合も、単位は付与されません。

3) 受講後、「参加カード」に必要事項をすべてご記入のうえ、会場出口の係員へお渡しください。「参加カード」が提出されない場合は、単位は付与されません。

4) 現地開催のみが対象で、オンデマンド配信の聴講では単位は付与されません。

(4) 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師制度単位【対象：現地参加】

1) 本学会は、公益財団法人日本薬剤師研修センターより認定を受けております。

6月14日（土）に「4単位」、15日（日）「4単位」、合計「8単位」の取得が可能です。

2) 日本薬剤師研修センターの「研修認定薬剤師制度」研修受講単位は、「薬剤師研修・認定電子システム（PECS）」での管理となります。そのため本大会の参加登録とは別に、PECSへの登録が必要です。単位の付与を希望される方は、必ず大会開催日までに登録をお済ませください。

3) 各日の参加条件を満たさない場合は、その日の単位は付与されませんので、十分に注意してください。

4) 【重要】

① PECSへの登録の際、免許番号の誤入力が多数確認され、単位付与ができない事例が相次いでいると研修センターが注意喚起しています。PECSはいったん登録すると情報の修正ができませんので、正確にご入力ください。

また、誤った免許番号を登録している場合は、速やかに日本薬剤師研修センターへご連絡ください。

② 参加の確認は、QRコードでの入場・退場の受付時刻で管理します。受付システムの稼働時間は下記のとおりとなりますので、研修単位を希望する参加者は時間厳守でお願いいたします。なお、受付終了間際の時間は混雑が予想されますので、時間に余裕をもって受付をしてください。

5) 受付方法

本人確認票（QRコード）と本人確認用に写真付きの身分証明書を持参のうえ、単位受付へお越しください。各日受付時（入場確認）及び終了時（退場確認）の2回、QRコードの読み取りが必要です。

6) 受付場所

出島メッセ長崎 1F 単位受付

7) 受付時間

1日目 6月14日（土） 入場確認： 8：00～ 8：30

退場確認： 18：00～ 18：30

2日目 6月15日（金） 入場確認： 7：30～ 8：00

退場確認： 15：50～ 16：20

参加者の皆様へ

8) 詳細は、日本薬剤師研修センターの以下の案内をご確認ください。

< PECS (薬剤師研修・認定電子システム) >

<https://jpec.or.jp/sien/system/index.html>

< 日本薬剤師研修センターに関するお問合せ先 >

<https://jpec.or.jp/information/contact.html>

(5) 日本プライマリ・ケア連合学会単位【対象：現地参加】

日本プライマリ・ケア連合学会の単位を取得できます。希望される場合は、大会ホームページの「単位取得について」より、「単位申込書」をダウンロードのうえ、必用事項を記入して会場1Fの単位受付にご提出ください。対象となる本大会企画のセッション名は大会ホームページの「単位取得について」にてご確認ください。

単位申込書の用紙は、会場1Fの当日単位受付にもご用意します。

(6) 日本作業療法士協会（リハビリテーションスタッフ）

日本作業療法士協会「生涯教育制度の基礎ポイント研修」のポイント対象になります。参加ポイントの申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。

(7) 日本言語聴覚士協会（リハビリテーションスタッフ）

日本言語聴覚士協会「生涯学習プログラム」のポイントとして申請可能です。参加ポイントの申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。

(8) 日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネージャー資格更新単位

日本ケアマネジメント学会「認定ケアマネージャー」の更新ポイント（3点）として申請可能です。申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。講演・シンポジウム・研究発表等を行なった場合には、プログラム・抄録集などの表紙と申請者の氏名の掲載されているページの写しを提出してください。

(9) 日本がん治療認定機構 新規申請・更新申請

「日本がん治療認定機構が認めた学会の学術集会」に登録されています。申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。

(10) 日本看護協会 認定看護師の申告

学会における発表や参加は、研修実績及び研究業績等として申請が可能です。申請には、大会参加証明書の提出が必要です。発表ポイントの申請は、発表抄録の写しを提出してください。

(11) 日本緩和医療学会 専門医・認定医更新単位

本大会への出席ならびに発表が、更新単位の業績となります。申請には、大会参加証明書の提出が必要です。

(12) 日本難病看護学会 難病看護師更新単位

本大会は、「難病看護師認定資格の更新におけるポイントへの換算を承認する研修会・研究会等」に登録されています。申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。

(13) 日本認知症ケア学会認定 認知症ケア専門士単位

日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士の単位（3単位）の申請が可能です。発表者の方には発表したことを証明できる書面を発行いたしますので、会場1Fの単位受付にお越しく下さい。参加単位に加え、発表者単位が1単位加算されます。申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。

(14) 日本在宅栄養管理学会認定 在宅訪問管理栄養士

日本在宅栄養管理学会認定在宅訪問管理栄養士の更新に必要な単位（1単位）が付与されます。申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。

座長・演者の皆様へ

開催形式について

本大会は、現地＋Web（オンデマンド配信）のハイブリット開催となります。※ライブ配信は実施いたしません。
オンデマンド配信期間 7月1日（火）～8月15日（金）

※ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演・ポスター）・ランチョンセミナー・スポンサーシンポジウムを除く。

第7回大会では座長、演者を問わず、皆さま現地会場でのご登壇をお願いします。Zoomの設定はございません。

座長の方へ

1. 代表理事講演・大会長講演・特別講演・特別企画・シンポジウム・ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演）等（教育講演・一般演題（ポスター）を除くすべて）座長の方

- ・セッション開始の15分前までに、会場前方の「次座長席」にご着席ください。
- ・進行は座長に一任いたしますが、セッションごとの時間厳守にご協力ください。
- ・座長席には、経過時間確認用のランプを設置いたします。発表時間の終了1分前に黄色ランプ、発表時間終了時に赤ランプが点灯しますので、時間内に質疑まで終了してください。
- ・時間配分等セッションの進行に関しましては、現地開催前に運営事務局より座長に確認させていただきます。
- ・座長でスライドを使用して発言・発表される場合は、PowerPoint形式のファイルをセッション開始の40分前までに必ず1F ホワイエの「PC受付」にてご登録をお願いします。データの詳細はページ内下部「演者の方へ」をご確認ください。※セッション間の空き時間が短い為、セッション会場での対応は致しかねます。
- ・総合討論を実施する場合は、**3～5分程度会場参加者同士のフリーディスカッションの時間をとってください。**
- ・オンデマンド配信を希望しないセッションは、必ず現地開催前にご連絡をお願いいたします。
- ・ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演・ポスター）・ランチョンセミナー・スポンサーシンポジウムについては、オンデマンドでの配信はございません。

2. 一般演題（ポスター）座長の方

- ・ポスター発表の持ち時間は**1演題5分（発表4分、質疑1分）**です。
- ・担当セッションの発表日時にポスター発表会場での座長をお願いします。
- ・セッション開始の15分前までに、担当セッションのポスター付近に集合してください。
- ・演者には、自身のポスター前で座長の進行で順次発表を行なっていただきます。指定された日時に演者が不在の場合は、次の演者の発表に進んでください。

※一般演題については、オンデマンドでの配信はございません。

演者の方へ

1. 代表理事講演・大会長講演・特別講演・特別企画・シンポジウム・ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演）等（一般演題（ポスター）を除くすべて）演者の方

- ・ご発表の10分前（または前の演者登壇後すぐ）に、会場前方の「次演者席」にご着席ください。
- ・一般演題（口演）優秀演題1・2の持ち時間は1演題10分（発表7分、質疑3分）です。
- ・上記以外の一般演題（口演）の持ち時間は1演題8分（発表6分、質疑2分）です。
- ・その他のセッションの発表時間は、事前に座長もしくは運営事務局からご連絡する時間を厳守してください。
- ・演台に経過時間確認用のランプを設置いたします。発表時間の終了1分前に黄色ランプ、発表時間終了時に赤ランプが点灯します。赤ランプが点灯したら発表を終了してください。
- ・発表は座長の指示に従い進めてください。
- ・投影スクリーンは1面で、発表にはWindows PCとプロジェクター1台を使用いたします。パワーポイントのスライドサイズは16：9を推奨いたします。
- ・スライドデータはセッション開始40分前までにPC受付にて試写確認を行なったうえで、データを提出してください。

受付時間 6月14日（土）7：30～16：30

6月15日（日）7：30～15：00

※6月15日（日）の午前中に発表がある方は、前日（6月14日（土））の午後にデータ受付を済ませることをお勧めします。

場 所 1F ホワイエ

- ・発表データのファイル名は「演題番号-氏名-セッション名.pptx」としてください。
- ・当日会場でご用意するPCはWindowsです。

座長・演者の皆様へ

※Macintoshをご使用の方は、必ずご自身のパソコンをお持ちください。【ノートパソコンをお持ち込みの場合】をご参照ください。

※iPadを使用してのご発表はできませんのでご注意ください。

- ・発表データは、USBメモリにてご持参ください。

※保存するメディアには発表に必要なデータのみの保存とし、他のデータは入れないでください。

※持ち込まれるメディアは、必ず各自にて最新のデータによるウイルスチェックを行なってご持参ください。

※バックアップとして予備のデータもお持ちいただくことをお勧めします。

- ・ご用意するアプリケーションは、Microsoft PowerPoint2021です。

※PowerPointの機能の中にある「発表者ツール」を使用しての発表はできませんので、作成の際はご注意ください。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。会場でのプリントアウトは対応しておりません。

- ・発表データに使用するフォントは、Windows10に標準搭載されているものをご使用ください。推奨フォント以外のフォントを使用すると代替フォントが使用され、レイアウトが崩れることがあります。特殊なフォントをお使いになるときは画像化し、オブジェクトとして貼り付けてください。

【推奨フォント】

【日本語】MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、游明朝、游ゴシック、メイリオ等

【英語】Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman等

- ・PowerPoint上の動画は使用可能ですが、動画データはWindows10で標準状態のWindows Media Playerで再生できるファイル形式にて作成し、PowerPointにリンクしてください。

※事前に発表データを作成したPCとは別のPCで、動作確認をお願いいたします。

※動画データはPowerPointデータとともに使用する動画ファイルを同一フォルダーに整理し、保存のうえご持参ください。

※標準的な動画コーデック以外の動画ファイルの場合、再生に不具合を生じる場合がございます（動画再生に不安のある方は、ご自身のPCをご持参いただくことをお勧めいたします）。

※PowerPointで動画ファイルを埋め込み処理された場合は、別途その動画ファイルもご持参いただくことをお勧めいたします。

- ・発表は演者ご自身で舞台上に設置されているマウス・キーボードを操作し、行なってください。

- ・現地会場のPCにコピーされた発表データは事務局で責任を持って消去いたします。

【ノートパソコンをお持ち込みの場合】

- ・会場で使用する接続ケーブルについてはHDMI(標準/タイプA)となります。変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でお持ちください。事務局からの貸し出しはございません。iPadなどのタブレット端末でのご発表はできません。

- ・スクリーンセーバー、省電力設定をあらかじめ解除してください。

- ・ACアダプターを必ずご持参ください。

- ・故障などの予期せぬトラブルに備え、バックアップデータをご持参ください。

- ・Macintoshや一部のWindows機では変換コネクタが必要となりますので、必ずご持参ください。

- ・PC受付にて動作確認後、ご発表の20分前までにご自身で会場の左側前方のオペレーター席にPCをお持ち込みください。口演終了後、オペレーター席でPCを返却いたしますので、忘れずにお受け取りください。

【スライドへの演題番号提示のお願い】

- ・一般演題（口演）の方は、以下を参考に発表スライドの右上に演題番号を掲示した状態で発表を行なってください。



座長・演者の皆様へ

2. 一般演題（ポスター） 演者の方

- ・第7回大会では、紙ポスターでのご発表となります。必ずご自身で印刷したポスターをお持ちください。※会場でのプリントアウトは対応しておりません。
 - ・指定の発表日時にポスター発表会場の自身のポスター前で発表を行なっていただきます。
 - ・座長の進行によるポスター発表の持ち時間は1演題5分（発表4分、質疑1分）です。
 - ・発表セッション（（例）食支援・口腔嚥下2等）の開始時間の10分前までに、該当するポスター付近に集合してください。
- ※一般演題については、オンデマンドでの配信はございません。

【ポスターについて】

- ・本文は、縦140cm×横90cmのサイズに収まるように作成してください。
- ・演題名、氏名、所属の表示はご自身でご用意ください。
- ・演題番号（サイズ：20cm×20cm）の表示は運営事務局で準備します。

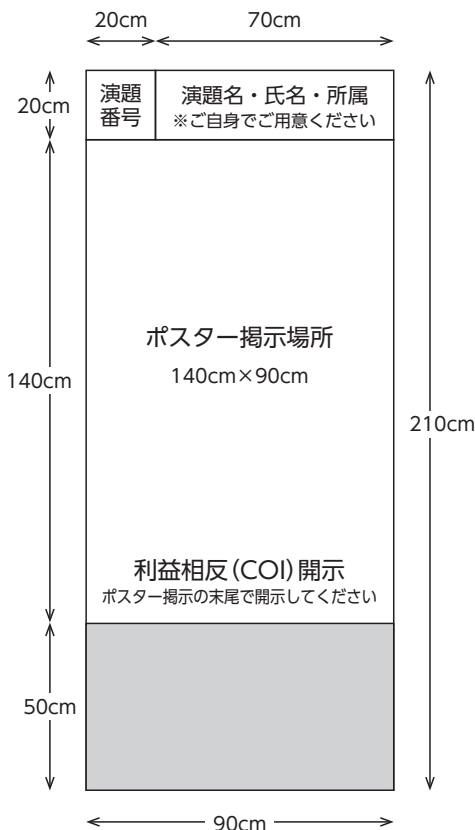
ご自身でご用意いただくもの	・演題名、氏名、所属の表示（サイズ：縦20cm×横70cm） ・本文（サイズ：縦140cm×横90cm）
運営事務局で用意するもの	・演題番号の表示（縦20cm×横20cm）

- ・下記時間内にポスターの貼り付け・撤去を完了してください。

ポスター貼り付け	・6/14（土） 7：30～8：30 ・6/15（日） 7：00～8：00
ポスター撤去	・6/14（土） 17：10～18：10 ・6/15（日） 14：50～15：50

【ポスター掲示サンプル】

ポスター会場には、下図のとおり1演題につき縦210cm×横90cmのボードを用意します。



利益相反（COI）の開示について

第7回日本在宅医療連合学会大会では、全ての演題（指定演題、共催セミナー、一般演題）において、演題登録時に利益相反（COI）の有無をご登録いただき、発表時のスライドにて利益相反（COI）の開示を行なっていただきます。利益相反は筆頭著者本人および共著者についての登録をお願いいたします。

<COIの開示基準>

1. 企業、法人、営利を目的とする団体（以下「企業等」という）の役員、顧問職として1つの企業等から年間100万円以上の報酬を受ける場合
2. 1つの企業等について株式による利益（配当、売却益の総額）を1年間に100万円以上受ける場合、あるいは企業等の全株式の5%以上を保有する場合
3. 企業等から1つの特許権使用料として年間100万円以上受ける場合
4. 1つの企業等から会議の出席の日当や講演料として年間50万円以上受ける場合
5. 1つの企業等から執筆料として年間50万円以上受ける場合
6. 1つの企業等から研究費として年間200万円以上受ける場合
7. 1つの企業等から申告者個人または申告者が所属する部門あるいは研究室の代表者に対し寄付金として年間総額200万円以上支払われる場合
8. 1つの企業等が提供する寄付講座に申告者が所属している場合
9. その他1つの企業等から研究とは直接無関係な旅行、贈答品などとして年間総額5万円以上受ける場合
10. 発表に関連する企業等と雇用関係にある場合

※詳細は、一般社団法人 日本在宅医療連合学会のホームページから最新情報をご確認ください。

一般社団法人日本在宅医療連合学会の定款、プライバシーポリシー、利益相反に関する規定
<https://www.jahcm.org/statute.html>

<学会当日の利益相反（COI）の開示について>

対象：本会で演題を発表する全ての演者

利益相反に関する開示は、当日のご発表の際に次のとおり利益相反（COI）状態を開示してください。

- ・口演発表の場合：タイトルの次のスライド（2枚目）
- ・ポスター発表の場合：ポスター掲示の末尾

<COIスライド開示例>

- ・申告すべき利益相反（COI）状態がない時

日本在宅医療連合学会
COI 開示
筆頭発表者名

演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある
企業などはありません。

- ・申告すべき利益相反（COI）状態がある時

日本在宅医療連合学会
COI 開示
筆頭発表者名

演題発表に関連し、開示すべきCOI は以下のとおりです。

1. 役員、顧問職
2. 株の保有
3. 特許権使用料
4. 講演料
5. 原稿料
6. 研究費

開示すべき内容がある項目のみ記載
企業・団体名を記載 金額の記載は不要

市民公開講座 映画『人生をしまう時間（とき）』上映会

日 時：2025年6月15日（日）学会閉会式後 16：30～18：30

上映時間：110分

企 画 者：詫摩和彦／長崎在宅Dr.ネット副理事長／医療法人たくま医院院長

超高齢化が進み、多死時代を迎える日本。近年、国は医療費抑制のため終末期医療の場所を病院から自宅に移す政策をとってきました。同時に、家族に看取られ、穏やかに亡くなっていくことを目指す「在宅死」への関心が高まっています。しかし、家族との関係や経済力など事情はそれぞれ。「理想の最期」の前に、厳しい現実が立ちはだかることもあります。

映画『人生をしまう時間（とき）』。

この作品の主人公は、都会の片隅で「在宅死」と向き合うベテラン医師。埼玉県新座市の「堀ノ内病院」に勤める小堀鷗一郎医師、80歳。森鷗外の孫で、東大病院の名外科医だった彼がたどりついた最後の現場が、在宅の終末期医療。患者と家族とともに様々な難問に向き合い、奔走する医師や看護師、ケアマネジャーたちの姿が赤裸々に描かれています。一人ひとりの人生の終わりに、医療に何ができるのか。映画は、地域の在宅医療に携わる人々の活動に密着し、命の現場を記録したものになっています。

本作品は、NHK BSIスペシャル「在宅死“死に際の医療”200日の記録」というTVドキュメンタリーを映画用に再編集されたものです。同番組は、「どんな最先端の医療より、人との繋がりや愛情が最も人を癒すのだろう。最後まで目が離せなかった」「いま介護に直面してる人もそうでない人もぜひ見るべき」「在宅死のきれい事ではない現実に最初は目を背けてしまいそうだったが、家庭ごとにドラマがあり2時間引き込まれた」など、大きな反響を呼び、〈日本医学ジャーナリスト協会賞大賞〉を受賞されています。自らカメラを回した下村幸子監督は、親密な距離から、いくつもの決定的な瞬間を捉えて、命の終幕に立ち会う人々の微妙な感情の動きを見事に映し出しています。また映画には、番組になかった新たなシーンも加えられて、より完成されたものになっています。

「いま医療に、地域に、社会に何ができるのか？」

広く市民の皆さまにご覧頂いて、この問題を考えてもらえたら幸いに思います。

懇親会

日 時 6月14日（土）18：30～20：00

場 所 ホテルニュー長崎 鳳凰閣

参 加 費 5,000円

申込方法 参加登録画面からオンライン事前申込み制

※定員に達していない場合は、当日の参加も受け付けます。

総合案内

<大会長からのコメント>

鎖国中、唯一港を開いていた長崎には、日の本全国諸藩より世界の文物を学ぶ目的で実に多くの志士が遊学し、見分を地元を持ち帰り、各地に益をもたらしました。幕末には近代日本の礎となった方々がその足跡を残され新しい世を牽引されて行かれました。

その人々は、当地で、多くの人脈を築き、時に共に宴に興じた事と思われます。本邦の『和』、明/清の『華』、阿蘭陀の『蘭』が混ざり合った『わからん街』長崎。当地で開催される第7回在宅医療連合学会は「在宅医療の未来を語ろう」をテーマに、現代・在宅医療にかかわる多くの志士にお集まりいただいております。大会実行委員一同は、諸国よりお集まりいただく皆様に、和・華・蘭文化を存分に堪能いただきたく、懇親会の準備を進めて参りました。お料理は、老舗ホテルニュー長崎の誇る和洋中料理。お飲み物には、日本酒文化長崎の誇る地酒もご用意しております。アトラクションも厳選しました。丸山長崎検番の芸子衆によるおもてなし、唐人屋敷の明国人より伝わった長崎くんちの華、龍踊り（じゃおどり）、そして中国国家一級秘密であり、近年長崎で絶大な人気を誇る変面ショー。

短い時間ですが皆様にはきっと堪能いただけると自負しております。懇親会場でくつろぎながらも熱い交流のひと時を過ごして頂いた後は、夜の銅座・思案橋へと繰り出して、多くの出会いと思いをお持ち帰りください。

尚、開会は18時30分ですが、18時よりご入場いただき、あらかじめ、めいめい喉を潤して頂ける手はずとなっております。会場でお待ちしております。

江戸時代に花街で生まれた文化を受け継ぎ、あでやかに舞う

『長崎検番』

かつて「江戸の吉原」、「京の島原」と並ぶ三大花街とうたわれた「長崎丸山」。その丸山にある長崎検番は、長崎の伝統文化を受け継ぐ担い手として日々稽古に励み、その磨かれた技を披露します。

風流な三味線の音と華やかな踊りをお楽しみください。



おくんちの奉納踊りの花形でもある圧巻の郷土芸能

『龍踊り（長崎龍踊の会 龍招宝）』

龍踊りは、数千年前中国での雨乞いの儀式として行われていました。鎖国時代に中国と交流が深い長崎に伝わり、諏訪神社のお祭り『おくんち』の奉納踊りの花形として全国的にも有名になってきました。中国製の楽器による独特なお囃子に合わせ、まるで生きているかのように操り踊る圧巻の長崎の郷土芸能を披露します。



お面が瞬時に変わる国家機密の伝統芸能

『変面ショー（Clan）』

中国四川省に伝わる伝統芸能「川劇」で披露される人気の演技。変面師たちはその技術を世代から世代へと受け継いでいくことで、現代に継続されています。観客の心に深い感動と興奮を刻み込む神秘的なパフォーマンスを親子で披露します。



1日目 6月14日 (土)

総合案内

第 1 会場 2F コンベンション ホール 4	第 2 会場 2F コンベンション ホール 3	第 3 会場 2F コンベンション ホール 2	第 4 会場 2F コンベンション ホール 1	第 5 会場 1F イベント展示 ホール A	第 6 会場 1F 会議室 102	第 7 会場 1F 会議室 103
開会式 8:10～8:20						
8:30～9:00 代表理事講演 座長：蘆野 吉和 演者：石垣 泰則	8:30～9:30 シンポジウム 1 2040年を飛び越えて、一歩先行く2050年の在宅医療を考える 座長：中桶 了太 演者：東條 環樹 野中 文陽 阿部 智介	8:30～10:00 シンポジウム 2 在宅医療教育の現状と課題：多職種で共有する改善のヒント 座長：永田 康浩 演者：吉田 伸 村田比呂司 串田 一樹 川崎 涼子 熊谷 琴美	8:30～10:00 シンポジウム 3 在宅療養者目線に立った褥瘡治療と予防 座長：藤村 真依 演者：塚田 邦夫 藤村 真依 安武 哲宏 栗原 俊介	8:30～10:00 シンポジウム 4 地域包括ケアシステム 座長：山下潤一郎 榊 寿恵 演者：渋谷 浩司 松本雄一郎 高倉 潤一	8:30～10:00 シンポジウム 5 「食支援」ははじめの一歩～「移行期まで口から食べられる町／新宿」～食支援・医介連携で町を支える「咀嚼チェック煎餅」試食つき 座長：川島 治 五島 朋幸 演者：川島 治 五島 朋幸 市川 美佳 宮原 愛 野澤 典明 奥野真理子	8:30～10:00 シンポジウム 6 その疾をみて、どうする？～病態生理、アセスメント、気道クリアランスの重要性 座長：中田 隆文 演者：武知由佳子 井上 登太 恒成 由佳 中田 隆文 及川 秋沙
9:00～9:30 大会長講演 1 座長：平原佐斗司 演者：安中 正和	9:30～10:00 大会長講演 2 座長：平原佐斗司 演者：白髭 豊					
10:10～11:40 シンポジウム 9 意思決定支援のこれまでとこれから ～事前指示書から ACP へ、そして～ 座長：白髭 豊 三浦 靖彦 演者：森 雅紀 満岡 聰 大友 宣	10:10～11:40 シンポジウム 10 在宅医療における特定行為研修修了者の活躍と病院との連携 座長：荏司 輝昭 本田 和也 演者：初村 恵 戸北 正和 次橋 幸男 本田 和也	10:10～11:40 シンポジウム 11 在宅医療・ケアの質を担保する～各地での実践から学ぶ～ 座長：大橋 英司 井手口直子 演者：片山 陽子 井尾 和雄 大井 真澄 井手口直子	10:10～11:40 シンポジウム 12 利用者・家族からの暴力・ハラスメント対応を多職種で考える 座長：武 ユカリ 谷亀 光則 演者：三木 明子 富士野香織 平戸 基輝 馬場 琴子 伊藤 大樹	10:10～11:40 シンポジウム 13 食支援における倫理と、家族・支援者へのケア 座長：猪原 健 演者：原 信太郎 池上 由起 猪原 健	10:10～11:40 シンポジウム 14 非がん性呼吸器疾患患者の呼吸困難の緩和ケア 座長：谷口 博之 平松 哲夫 演者：津田 徹 竹川 幸恵 奥村 友哉 北川 知佳	
12:00～13:00 ランチョンセミナー 1 適切な腎代替療法選択の重要性～現状と今後の普及啓発を考える～ 座長：西野 友哉 演者：河原崎宏雄 雁瀬 美佐 共催：テルモ株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー 2 慢性腎臓病の在宅治療～どうやって何を選ぶの？～ 座長：原 正樹 演者：政金 生人 共催：日機装株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー 3 在宅人工呼吸ケア～急性呼吸管理からのパラダイムシフト！イナーシャを断つ！～ 座長：後藤 幸子 演者：武知由佳子 共催：チェスト株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー 4 在宅医療で使える！水あめの浸透圧を応用した創傷被覆材～ATK パッド～ 座長：木下 幹雄 演者：松田 友美 中川 明子 共催：オカモト株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー 5 在宅医療における爪白癬診療の統合的アプローチ 座長：竹中 基 演者：高瀬 義昌 服部 尚子 共催：マルホ株式会社／科研製薬株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー 6 本邦におけるライソソーム病における在宅酵素補充療法の現状 ～実践例を踏まえ～ 座長：石垣 泰則 演者：山川 裕之 共催：サノフィ株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー 7 高齢者の不眠症治療戦略～在宅における留意点も含めて～ 座長：小島居 望 演者：鈴木 正泰 共催：エーザイ株式会社
13:10～14:10 特別講演 3 在宅現場におけるヘルス・ヒューマニティーズを考える 座長：三浦 靖彦 白髭 豊 演者：足立 智孝 長野 宏昭	13:10～14:40 シンポジウム 17 在宅医療とまちづくり～社会的処方箋を手掛かりに 座長：堀田 聡子 演者：長瀬由衣子 大石 春美 村井 邦彦 近藤 敬太	13:10～14:40 シンポジウム 18 食べやすいまちづくり・嚥下食の開発 座長：三串 伸哉 演者：牟田満佑子 川端 恵里 三串 伸哉	13:10～14:40 シンポジウム 19 これでいいのか？これからの在宅医療～医療制度の視点からみた表と闇～ 座長：宇都宮劭子 演者：荏司 輝昭 加古 敦也 高関 左保 宇野 達也 荏司 輝昭	13:10～14:40 シンポジウム 20 医療依存度の高い患者様、これぞ安心して引き受けられます 座長：中山 優季 中田 隆文 演者：緒方 健一 武知由佳子 島田 珠美 房 晴美	13:10～14:40 シンポジウム 21 研究からみる在宅医療の未来～Patient Reported Outcome をターゲットとする研究への取り組み～ 座長：山中 崇 梅垣 宏行 演者：吉江 悟 野口麻衣子 次橋 幸男	13:10～14:40 シンポジウム 22 在宅看取りの質を考える～働き方改革と Good Death は両立できるのか～ 座長：片見 明美 満岡 聰 演者：満岡 聰 清水 政克 二ノ坂建史 長谷川美希 金子 和美
14:20～15:20 特別講演 4 地域包括ケアシステムの理解と構築推進 座長：藤井 卓 演者：川越 正平	14:50～16:20 シンポジウム 24 多様化する「これから」の在宅医療を支えるためのコンピテンシーを考える 座長：中桶 了太 猪原 健 演者：洪 英在 坂井 謙介 白石 丈也 宮崎 久美 西岡 心大	14:50～16:20 シンポジウム 25 在宅診療における CE の役割と今後の展望について 座長：原 正樹 演者：青木 康弘 櫻田 勉 中釜 祥吾 林 晃一郎 青木 康弘 阿部 博樹	14:50～16:20 シンポジウム 26 Hospital at Home 在宅入院の実現に向けた取り組み 座長：伊藤 大樹 演者：伊藤 大樹 弓野 大 余 尚儒 宮本 雄気 新村 真人 陳 英昭	14:50～16:20 シンポジウム 27 地域でつなぐ呼吸リハビリ：在宅ケアの新たな展望 座長：内田 直樹 白髭 浩之 演者：中山 優季 馬木 良文 北野 晃祐 山口 和俊	14:50～16:20 シンポジウム 28 有床診療所の存在意義と未来への展望 - 地域包括ケアシステムにおける役割と課題 - 座長：安池 純子 演者：押刈 素子 村上 豪志 石坂 俊輔 野末よし子	14:50～16:20 パネルディスカッション 1 在宅リハビリテーションとケアマネジャーの美しいコラボレーション～多職種連携の方法論を探る 座長：清水 政克 片見 明美 演者：宇田 賢子 白井 啓子 染谷 明子
15:30～16:30 シンポジウム 23 長崎市の地域包括ケアシステムと多職種連携 20年の総括と検証 座長：藤井 卓 演者：詫摩 和彦 大町 由里 下屋敷元子 佐田 悦子 宮地登代子	16:30～18:00 シンポジウム 31 末期腎不全患者の緩和医療・ケア 座長：三浦 久幸 河原崎宏雄 演者：酒井 謙 竹口 文博 宮崎 正信 平原佐斗司	16:30～18:00 シンポジウム 32 在宅で褥瘡をみる 座長：塚田 邦夫 演者：加藤 久和 大山 瞳 山口みどり 土井 敦	16:30～18:00 シンポジウム 33 人口減少が加速する 2050 年を見据えた次なる地域包括ケア・市町村の姿とは？ 座長：飯島 勝矢 吉江 悟 演者：郡山 晴喜 本間 優美 石井 義恭	16:30～18:00 シンポジウム 34 地域特性を活かした持続可能な多職種連携～暮らしを支えるナースたちの挑戦～ 全国訪問ボランティアの会、キャンナスの活動を通して考える 座長：宮下 勉 菅原 由美 演者：宮田 和幸 本田由美子 漆澤 縁	16:30～18:00 シンポジウム 35 本人希望の人工呼吸器の取り外しはできないのか 座長：植竹 日奈 三浦 靖彦 演者：狹野美恵子 小野沢 滋 満岡 聰	16:30～18:00 シンポジウム 36 この子たちの未来をつくる小児在宅医療 座長：島崎 亮司 藤瀬 直樹 演者：小森 史郎 中村 仁隆 南條 浩輝 吉田 拓哉 松島 由美
18:30～20:00 懇親会（ホテルニュー長崎）						

第 8 会場 1F 会議室 107	第 9 会場 1F 会議室 108	第 10 会場 1F 会議室 101A	第 11 会場 1F 会議室 101B	第 12 会場 1F 会議室 101C	第 13 会場 1F 会議室 111	ポスター会場	展示会場
						1F イベント展示ホール B	
8:30～9:30 一般演題 (口演) 1 優秀演題1 座長：森 清 鶴岡 優子	8:30～10:00 シンポジウム 7 再考：なぜ在宅医療インテグレーションが必要なのか～資格にむけて～ 座長：荻野美恵子 演者：杉浦 真 高砂 裕子 堀越由紀子 荻野美恵子	8:30～10:00 ワークショップ 1 2040年の在宅医療を考える－LEGO®SERIOUS PLAY® メソッドと教材を活用したワークショップ体験会－ 座長：中村 幸生 演者：中村 千賀 ファシリテーター：大塚 創平 山本 伸	8:30～10:00 シンポジウム 8 在宅医療教育の力で地域と医療の未来を創る ～コミュニティホスピタルで展開する多角的教育とは～ 座長：小笠原雅彦 演者：金杉 裕太 渡邊 賢秀 久保 裕樹 五味 一英	8:30～10:00 ハンズオンセミナー 1 在宅透析の機器に直接触れて体験しよう 演者：河原崎宏雄 原 正樹 ファシリテーター：片岡今日子 中金 祥吾	8:30～10:00 ワークショップ2 在宅医療にかかわるお金の話 座長：太田 敦 演者：竹内 永子 中 健太郎 位頭 薫	8:30～9:20 一般演題 (ポスター) 1・2・3 ACP・意思決定 1 / ICT1 / 多職種連携1 座長：児玉麻衣子 内田 直樹 谷水 正人	
9:30～10:10 一般演題 (口演) 2 優秀演題2 座長：森 清 鶴岡 優子						9:30～10:20 一般演題 (ポスター) 4・5・6 ACP・意思決定 2 / ICT2 / 多職種連携2 座長：川口 篤也 木村 幸博 望月 弘彦	
10:15～10:55 一般演題 (口演) 3 人材育成・教育 座長：伊藤 博明	10:10～11:40 シンポジウム 15 紛争時のBCPについて 座長：泰川 恵吾 演者：宮本 雄気 角山泰一朗 高原 美貴	10:10～11:40 ワークショップ 3 看取り期の患者、家族との対話の仕方 座長：長野 宏昭 演者：小澤 竹俊	10:10～11:40 シンポジウム 16 在宅医療ダイバーシティ (diversity) ～臨床検査 (技師) の深化～ 座長：宮下 勉 鬼澤 信之 演者：藤井 南 高村 好実 岡田 章佑	10:10～11:40 ハンズオンセミナー 2 浮腫ケアのリハビリテーションと圧迫ケア入門 演者：大塚 俊介 実技アシスタント：徳永 陽子 花岡 ふみ 長谷川美希 本山 祥子	10:10～11:10 交流集会 1 全国に在宅医療インテグレーションの仲間を増やそう！ 座長：石原 由花 演者：齋藤 慶子	10:30～11:25 一般演題 (ポスター) 7・8・9 職種別1 / 多職種連携3 / 病診病連携 座長：田中 登美 餅原 弘樹 北田 雄太	
11:00～11:48 一般演題 (口演) 4 排尿・排便ケア・呼吸ケア 座長：杉本 由佳							
12:00～13:00 ランチョンセミナー 8 神経難病患者の人工呼吸器管理と排痰補助 座長：岡田 雅彦 演者：富永奈保美 浅川 孝司 共催：株式会社フィリップス・ジャパン	12:00～13:00 ランチョンセミナー 9 生活を支える在宅医療 座長：安中 正和 演者：山口 竜司 共催：株式会社ツムラ	12:00～13:00 ランチョンセミナー 10 在宅酸素療法患者の QOL 向上を目指した看護ケア－セルフマネジメント支援と ACP－ 座長：下川 満美 演者：竹川 幸恵 共催：株式会社社会医療機器					
13:10～14:06 一般演題 (口演) 5 ACP・意思決定・医療ケアの質 座長：新屋 洋平	13:10～14:40 ワークショップ 4 実症例から学ぶ在宅での透析終末期ケア 座長：宮崎 正信 河原崎宏雄 演者：楠本 拓生 阿部 伸一 松尾 誠司 パネリスト：櫻田 勉 雁瀬 美佐 片岡今日子 正木 浩哉	13:10～14:40 ワークショップ 5 いったい私はどこで人生を終えたいのか？～動画と寸劇で考える高齢化社会～ 座長：中尾勘一郎 演者：土屋 知洋 詫摩 和彦 桜井 隆 白山 宏人 劇団ザイタク 劇団そいでよかさ	13:10～14:40 ワークショップ 6 在宅における褥瘡ケア、リハビリ、栄養管理はこうする～明日から役立つノウハウ 座長：水原 章浩 演者：水原 章浩 持田晋江美 岩谷 清一 北川 佳子	13:10～14:40 ワークショップ 7 在宅ケアの未来は我々に任せなさい！？ 明るい時間の懇親会です。“自称”若手、全員集合！ 座長：飯田 智哉 飯嶋 将史 ファシリテーター：次世代委員会メンバー 大会長推薦の地元長崎メンバー	13:10～14:10 特別企画 ケアとアートの交差点にてー在宅医療における文化芸術の可能性 座長：安中 正和 演者：藤原 旅人	13:10～14:00 一般演題 (ポスター) 10・11・12 職種別2 / 多職種連携4 / 多職種連携・病診病連携 座長：久島 和洋 福本 和彦 篠 美和	13:10～14:40 ワークショップ 8 在宅における食支援～パワッと調理ワンポイントアドバイス 演者：古川 美和 松尾美穂子 梶原佳代子 柴原 清美 ファシリテーター：藤 希望
14:10～14:50 一般演題 (口演) 6 緩和ケア・看取り 座長：江口幸士郎						14:10～14:55 一般演題 (ポスター) 13・14・15 事業所運営・経営1・2 / 医療・ケアの質・評価 座長：天本 健司 美 瑠璃 横山 和正	
14:55～15:51 一般演題 (口演) 7 他職種連携・職種別 座長：矢崎 一雄	14:50～16:20 ワークショップ 9 在宅医療への移行～送る側と受け取る側の気持ち～ 座長：門田耕一郎 花井亜紀子 演者：宮川 江利 松尾 史江 阿保 貴章	14:50～16:20 ワークショップ 10 「全国各地における在宅医療への災害への取り組み～暗黙知を形式知に～」 座長：小原 章央 演者：小原 章央 荒木 一将 岩本 大希 前田 淳子	14:50～16:20 ワークショップ 11 「快うん」からはじめるブライマリヘルスケア 座長：榊原 千秋 演者：榊原 千秋	14:50～16:20 シンポジウム 29 24時間365日の真実：地域連携で医薬品供給を守れ！ 座長：富安 志郎 中村美喜子 演者：串田 一樹 下坂 健 坂本 直大 藤田 珠理 沼田真由美	14:50～16:20 ワークショップ 12 在宅現場の「困難事例」にオープン・ダイアログをつかってみた～対話による支援を体感できるワークショップ～ 座長：亀山 有香 演者：後藤 智行	15:05～16:05 一般演題 (ポスター) 16・17・18 人材育成・教育 / 人材育成・教育・キャリア / 地域包括システム・行政連携・異業種連携 座長：崎山 隼人 田上 佑輔 梅村 想	
15:55～16:51 一般演題 (口演) 8 食支援・栄養・リハビリ・褥瘡ケア 座長：猪原 健							
16:55～17:51 一般演題 (口演) 9 病診病連携 座長：宇都宮宏子	16:30～18:00 ワークショップ 13 病院から在宅への緩和ケア～この症例はどうする？～ 座長：大原 寛之 杉浦 敏之 演者：余宮きのみ 石井 浩二 市原 利晃	16:30～18:00 ワークショップ 14 地域に丸投げ？それで、本当によいか？研修医の在宅医療教育 演者：中楠 了太 上原 裕規 松島加代子 ファシリテーター：浜田 久之	16:30～18:00 シンポジウム 37 かぞくのがっこう発、パウングリーから考える当事者・家族と支援者のこれらのパートナーシップ 座長：堤 真紀 新泉真砂子 演者：富岡 里江 佐藤 典子 松村 直人 株崎 雅子	16:30～18:00 シンポジウム 38 すでにこまでやっている！でもあまり知られていない？専門職の活躍 (臨床検査技師、臨床工学技士・診療放射線技師、救急救命士・診療アシスタント) 座長：谷水 正人 鬼澤 信之 演者：近江 祐紀 川端 城聖 根本 愛梨 大友 泰世	16:30～18:00 ワークショップ 15 医療事務職で集まろう！日々の疑問を解決しよう！ 座長：上畑 大 小玉 直人 ファシリテーター：江竜平紀子 本田 正美 神谷奈津美		
						16:15～17:05 一般演題 (ポスター) 19・20 患者と医療者のコミュニケーション・哲学的課題 / 研究 座長：今村 昌幹 横山 和正	

18：30～20：00 懇親会 (ホテルニュー長崎)

2日目 6月15日 (日)

総合案内

	第 1 会場 2F コンベンション ホール 4	第 2 会場 2F コンベンション ホール 3	第 3 会場 2F コンベンション ホール 2	第 4 会場 2F コンベンション ホール 1	第 5 会場 1F イベント展示 ホール A	第 6 会場 1F 会議室 102	第 7 会場 1F 会議室 103
8:00	シンポジウム 39 「この町で暮らし、最期まで、自分らしく生き、逝くことは、叶えられていますか？」～先駆者たちが語る、目指したいこと～ 座長：白髭 豊 安中 正和 演者：秋山 正子 市原 美穂 安中 正和 宇都宮宏子	スポンサードシンポジウム 在宅看護のカスタマーハラスメント対策～日本財団在宅看護センターネットワークでのカスタマーハラスメント対策への取り組み 座長：喜多 悦子 貞方 初美 演者：福岡 博孝 田中千津子 赤瀬 佳代 武 ユカリ	シンポジウム 40 栄養・リハビリ・口腔ケアの一体的取り組みを進めるために～食と栄養の専門家、管理栄養士はどこにいる？～ 座長：丸山 道生 田中 弥生 演者：荒金 英樹 猪原 健 清水 陽平 高橋 瑞穂 渡辺 泉 臼井 啓子	シンポジウム 41 在宅 ACP の違和感—そもそも本人は「玉手箱（価値観）」の蓋を医療・ケアチームに開けるのか？ 座長：櫻井 隆 土屋 知洋 演者：高山 義浩 満岡 聡 五味 一英 平野 頼子 山岸 暁美	シンポジウム 42 都市／へき地離島の“緩和ケアギャップ”を埋める！～何処でも最期まで良き生きるを支える～ 座長：土橋 映仁 土屋 菜歩 演者：村瀬樹太郎 廣橋 猛 徳田 英弘 田上 恵太	シンポジウム 43 在宅医療・介護の現場で働く支援者のこころのケア 座長：森 清 高野 洋輔 演者：三木 明子 中村菜々子 松本 良平 高野 洋輔	シンポジウム 44 心不全の在宅管理 5つのポイント 座長：弓野 大樹 伊藤 雅雄 演者：小出 太基 肥後 英世 山本 明子 吉本 勝真 久美子 質問者：渡部なつき 永井 美恵 近藤 敬太
9:00							
10:00	特別講演 5 人生の最終段階における食支援—食べるを支える、食べられないを支える 座長：三串 伸哉 演者：菊谷 武	特別講演 6 街の皆様とともにある病院が創る在宅医療とは～ふくやま病院の在宅医療 座長：中楠 了太 演者：譜久山 剛 山崎 亮	特別講演 7 おうちですこしできればコンビニに行きなさい！ 座長：大原 寛之 演者：牧 香代子	シンポジウム 47 家族支援としての在宅リハビリテーション・アプローチ—運動器・運動機能障害に対する多次元ケア 座長：望月 弘彦 臼井 啓子 演者：安部 能成 染谷 明子 高村 美歩	ワークショップ 17 訪問看護事業の M&A の可能性について 座長：中村 勝喜 演者：米原 拓也	シンポジウム 48 在宅医療に取り組み医療機関の人材確保を考える 座長：上畑 大 山田 寿美 演者：三木 信吾 荒木 庸輔 水上 直人 上畑 大	シンポジウム 49 誰にでも自宅での“当たり前”の生活を—在宅化学療法を支える病診連携・診診連携の新たなカタチ— 座長：細田 亮 五味 一英 演者：大橋 晃太 五木 一英 木村 有希
11:00		会員総会 10:50～11:20					
12:00	ランチョンセミナー 11 人生の最終章における在宅での創傷治療を考える—一歩踏み出すためのヒント— 座長：木下 幹雄 演者：坂根 直子 吉本 大樹 共催：スミス・アンド・ニュー株式会社	ランチョンセミナー 12 医師にインタビュー！外部サービスで多くの在宅医療クリニックの未来のカたち 座長：加藤 亮一 海老江祐二 演者：渡邊 栄彦 川畑 仁貞 共催：株式会社プロアス	ランチョンセミナー 13 最新 AI でここまでできる！在宅医療現場の AI 活用術とリテラシー教育 座長：神山 一行 演者：内田 直樹 安井 佑 共催：NTT プレシジョン・メディシン株式会社	ランチョンセミナー 14 在宅診療における AI・RPA 等活用による DX 革命～実践事例紹介～ 座長：村山 典久 演者：楠本 拓生 河野精一郎 共催：オープン株式会社	ランチョンセミナー 15 重症筋無力症治療の最前線と訪問看護の役割 座長：櫻井 謙三 演者：櫻井 謙三 中島 朋子 共催：ユーシービー・ジャパン株式会社	ランチョンセミナー 16 在宅ハイフローセラピーについて 座長：武知由佳子 演者：永田 一真 鬼塚真紀子 共催：帝人ヘルスケア株式会社/フィッシャー&パイクヘルスケア株式会社	ランチョンセミナー 17 希少血液疾患（血友病）における在宅医療 座長：天野 景裕 演者：大竹口幸子 辻川 昭仁 共催：サノフィ株式会社
13:00	シンポジウム 50 在宅医療における ICT 活用のあるべき姿 座長：松本 武浩 阿保 貴章 演者：三原 一郎 舩友 一洋 建石 徹 奥平 定之 高橋 肇	シンポジウム 51 高齢者の救急現場での ACP とその対策—高齢者救急問題の現状とその対応についての提言 2024 を踏まえて— 座長：満岡 聡 土屋 知洋 演者：早川 航一 中倉 佑太 山口 伸一 土屋 知洋 石上雄一郎	シンポジウム 52 長崎の医療・介護連携に必要なケアマネジャー像とは 座長：阿部 充宏 演者：水頭 正樹 馬場 大輔 高島 謙介 柳川 裕美 モデレーター：松尾 史江	シンポジウム 53 コミュニティ緩和ケアにおけるボランティア活動の現在と未来 座長：二ノ坂保喜 鐘ヶ江寿美子 演者：寺町 聡子 大石 春美 山内 勇人 青木 芳恵	シンポジウム 54 在宅における M S W の実践報告—知ってつながって未来を変えろ— 座長：西出 真悟 齋藤 慶子 演者：松岡 邦彦 豊泉 昭子 久保 幸枝 鈴木英理佳	シンポジウム 55 医療 MaaS の現場を体感！診療看護師 (NP) と ICT 活用で在宅医療の未来を切り拓く 座長：大杉 泰弘 座長：酒井 博崇 演者：酒井 博崇 中山 法子 大杉 泰弘	シンポジウム 56 あなたの地域が被災した時、助けに行きます～助けに欲しい診療所つなまれ～ 座長：市橋 亮一 佐々木 淳 演者：市橋 亮一 紅谷 浩之 桶口 史篤 開田 脩平
14:00							
15:00	シンポジウム 59 在宅チーム医療・ケアの未来に向けた連携教育を考える 座長：永田 康浩 前田 隆浩 演者：春田 淳志 宮崎和加子 阿保 貴章 井口 茂	パネルディスカッション 2 長崎県 NST 研究会合同企画元気に食べ続けるために～在宅・病院・施設での多職種連携～ 座長：前田 滋 大原 寛之 演者：大下 正美 西岡 給美 奥平 定之 保野 正仁 古川 美和 佐田 悦子	シンポジウム 60 在宅療養支援病院と在宅療養支援診療所における訪問栄養食事指導の体制整備の現状と課題 座長：田中 弥生 前田佳予子 演者：梶原 崇弘 真井 睦子 白髭 豊 島井美津子 森 明日香	パネルディスカッション 3 坂のまち在宅医療・訪問看護サミット 座長：詫摩 和彦 中尾理恵子 演者：詫摩 和彦 中尾勘一郎 行成 壽家 川原 恭子 久保 智恵	シンポジウム 61 医療 DX が描く在宅医療の未来～地域包括ケアとデジタル技術の融合～ 座長：鈴木 重良 石塚 美絵 演者：石塚 秀俊 梅野福太郎 稲生 迅人 藤原 由香	シンポジウム 62 真の医業連携がここに！薬剤師の本音を皆で語ろう！！ 座長：近藤 敬太 演者：宇野 達也 パネリスト：下斗米 英 草島 邦夫 岡田 浩 中村美喜子	シンポジウム 63 在宅医療を支える事務長のリアルストーリー～ケースから学ぶ成功の秘訣～ 座長：佐藤 修 浅沼 裕子 演者：奥富 隆生 春山 善広 堀田 豊 黒川 雅人
16:00	閉会式 16:00～16:10						
17:00	市民公開上映会 映画「人生をしまう時間(とき)」 16:30～18:30						
18:00							

[illegible]

プログラム

開会式
大会長講演
代表理事講演
特別企画
特別講演
シンポジウム
ワークショップ
パネルディスカッション
ハンズオンセミナー
交流集会
集合集会
指導医大会
在宅NPWT 認定教育制度 OSCEハンズオン講習会
スポンサードシンポジウム
デモンストレーション
市民公開講座
ランチョンセミナー
一般演題（口演）
一般演題（ポスター）
閉会式

開会式

開会式

6月14日（土）8：10～8：20 第1会場「2F コンベンションホール4」

大会長講演

大会長講演1

6月14日（土）9：00～9：30 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所

PS1 暮らしに還す医療の再設計—現場・制度・未来をつなぐ長崎からの提言

安中 正和 安中外科・脳神経外科医院

大会長講演2

6月14日（土）9：30～10：00 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所

PS2 超高齢化社会での長崎の在宅医療～これまでの取り組みと今後の課題、新たなチャレンジ～

白髭 豊 白髭内科医院

代表理事講演

代表理事講演

6月14日（土）8：30～9：00 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 蘆野 吉和 （一社）日本在宅医療連合学会 監事

CL-1 我が国の在宅医療の展望と日本在宅医療連合学会の目指すところ

石垣 泰則 医療法人社団悠輝会 コーラルクリニック／日本在宅医療連合学会代表理事

特別企画

特別企画 ケアとアートの交差点にて—在宅医療における文化芸術の可能性

【長崎企画】

6月14日（土）13：10～14：10 第13会場「1F 会議室111」

座長 安中 正和 安中外科・脳神経外科医院

SP-1 ケアとアートの汀から共生社会を考える

—東京藝術大学Diversity on the Arts Projectの取り組みから—

藤原 旅人 東京藝術大学

特別講演

特別講演1 長崎県の医療計画について～在宅医療分野を中心に～

【長崎企画】

6月14日（土）9：40～10：40 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 藤井 卓 藤井外科医院

- SL1-1 長崎県の在宅医療を取り巻く現状と課題、持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて
新田 惇一 長崎県

特別講演2 大規模災害における地域栄養ケア～能登半島地震・能登半島豪雨からの復興に向けて

【長崎企画】

6月14日（土）10：50～11：50 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 金子 和美 長崎県看護協会訪問看護ステーション

- SL2-1 大規模災害における地域栄養ケア～能登半島地震・能登半島豪雨からの復興に向けて～
中村 悦子 一般社団法人みんなの健康サロン海尻

特別講演3 在宅現場におけるヘルス・ヒューマニティーズを考える

【プログラム委員企画】

6月14日（土）13：10～14：10 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 三浦 靖彦 岩手保健医療大学

座長 白髭 豊 白髭内科医院

- SL3-1 在宅医療におけるヘルスヒューマニティーズの展開
足立 智孝 亀田医療大学看護学部
- SL3-2 ヘルスヒューマニティーズの実践例
長野 宏昭 いきがい在宅クリニック

特別講演4 地域包括ケアシステムの理解と構築推進

【長崎企画】

6月14日（土）14：20～15：20 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 藤井 卓 藤井外科医院

- SL4-1 地域包括ケアを推進するために在宅医療実践者が今後なすべきこと
川越 正平 あおぞら診療所/松戸市医師会/千葉県医師会

特別講演5 人生の最終段階における食支援―食べるを支える、食べられないを支える

【長崎企画】

6月15日（日）9：40～10：40 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 三串 伸哉 森本歯科医院

- SL5-1 人生の最終段階における食支援―食べるを支える、食べられないを支える―
菊谷 武 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

特別講演6 街の皆様とともにある病院が創る在宅医療とは～ふくやま病院の在宅医療

【長崎企画】

6月15日（日）9：40～10：40 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 中桶 了太 国民健康保険 平戸市民病院

- SL6-1 弱小病院の在宅医療
譜久山 剛 ふくやま病院
- SL6-2 山崎 亮 関西学院大学建築学部

特別講演7 おうちですごしたければコンビニに行きなさい！**【長崎企画】**

6月15日（日）9：40～10：40 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 大原 寛之 日本赤十字社長崎原爆病院

SL7-1 おうちですごしたければコンビニに行きなさい！

牧 香代子 ファミリー・ホスピス株式会社

シンポジウム**シンポジウム1 2040年を飛び越えて、一步先行く2050年の在宅医療を考える****【長崎企画】**

6月14日（土）8：30～9：30 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 中桶 了太 国民健康保険 平戸市民病院

SY1-1 豪雪地帯での在宅ケア～ミライカラキマシタ～

東條 環樹 北広島町雄鹿原診療所

SY1-2 五島市モバイルクリニックを通して考える遠隔医療の未来予想図

野中 文陽 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座（離島医療研究所）

SY1-3 なんもなか過疎地やけんがこそ

阿部 智介 医療法人慈孝会七山診療所

シンポジウム2 在宅医療教育の現状と課題：多職種で共有する改善のヒント**【プログラム委員企画】**

6月14日（土）8：30～10：00 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 永田 康浩 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学分野

SY2-1 長崎の医学生はこうして在宅医療を学ぶ

永田 康浩 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学分野

SY2-2 九州の在宅ポートフォリオばどげんかせんといけんね

吉田 伸 額田病院

SY2-3 長崎大学歯学部での在宅医療教育 一医（医学科、保健学科）・歯・薬学部共修の離島実習を通じて一

村田比呂司 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯科補綴学分野

SY2-4 薬学教育モデル・コアカリキュラムから考察する在宅医療教育

串田 一樹 昭和薬科大学

SY2-5 看護教育の立場から：多職種で共有する改善のヒント

川崎 涼子 長崎大学

SY2-6 管理栄養士卒前教育の現状と今後の課題について

熊谷 琴美 愛知学院大学健康科学部

シンポジウム3 在宅療養者目線に立った褥瘡治療と予防**【日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会共同企画】**

6月14日（土）8：30～10：00 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 塚田 邦夫 高岡駅南クリニック

座長 藤村 真依 在宅医療センター悠

SY3-1 褥瘡の原因と対策の基本

塚田 邦夫 高岡駅南クリニック

SY3-2 在宅療養者目線に立った褥瘡治療と予防

藤村 真依 在宅医療センター悠

- SY3-3 苦痛を与えないポジショニングとシーティングの考え方
安武 哲宏 一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク
- SY3-4 安楽な移動・移乗
栗原 俊介 アップライド株式会社

シンポジウム4 地域包括ケアシステム

【長崎企画】

6月14日（土）8：30～10：00 第5会場「1F イベント・展示ホールA」

- 座長 榊 寿恵 長崎市江平・山里地域包括支援センター
座長 山下潤一郎 社会医療法人 長崎記念病院

- SY4-1 長崎市における複合的課題（8050問題、ダブルケア等）への対応と重層的な支援体制の整備に向けた取り組み
渋谷 浩司 長崎市役所
- SY4-2 地域共生社会の実現～みんなで支え合い、誰もが健康に暮らせる地域づくり～
松本雄一郎 長崎市地域包括支援センター連絡協議会
- SY4-3 長崎市在宅支援リハビリセンター推進事業における自立支援と介護予防アプローチの取り組み
高倉 潤一 介護老人保健施設 サンブライツ愛宕

シンポジウム5 「食支援」ははじめの一步 ～「最期まで口から食べられる町 行田／新宿」～食支援・医介連携で町を支える 「咀嚼チェック煎餅」試食つき♪

【一般公募企画】

6月14日（土）8：30～10：00 第6会場「1F 会議室102」

- 座長 川島 治 医療法人社団清幸会 行田中央総合病院
座長 五島 朋幸 ふれあい歯科どうと

- SY5-1 「食支援」ははじめの一步 ～「最期まで口から食べられる町 行田／新宿」～食支援・医介連携で町を支える
川島 治 医療法人社団清幸会 行田中央総合病院
- SY5-2 都会型地域食支援の実践
五島 朋幸 ふれあい歯科どうと
- SY5-3 最期まで口から食べられる町 行田 ～食支援・医介連携で町を支える～
市川 美佳 行田中央総合病院
- SY5-4 MSWとして専門性を活かしたかわり方
宮原 愛 行田中央総合病院
- SY5-5 「食支援におけるSTの取り組み ～いつまでも安全に経口摂取が行えるために～」
野澤 典明 医療法人社団清幸会 行田中央総合病院 リハビリテーション科
- SY5-6 「食支援」ははじめの一步 ～町に飛び出す管理栄養士の挑戦～
奥野真理子 行田中央総合病院

シンポジウム6 その痰をみて、どうする？一病態生理、アセスメント、気道クリアランスの重要性

【日本呼吸ケア・リハビリテーション学会共同企画】

6月14日（土）8：30～10：00 第7会場「1F 会議室103」

- 座長 中田 隆文 マリオス小林内科クリニック
座長 武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック

- SY6-1 痰から何を考え、どうするか？排痰の生理学的特徴、痰の性状によるその要因と薬剤特徴を含むその対処法の基本
井上 登太 みえ呼吸嚥下リハビリクリニック
- SY6-2 気道クリアランスに必要なアセスメントとケア ～在宅でできる訪問看護の取り組み～
恒成 由佳 恵友会 老人訪問看護ステーション

SY6-3 訪問リハで実践する気道クリアランス
中田 隆文 マリオス小林内科クリニック

SY6-4 気道クリアランスに対する在宅医療機器の選択と使用のコツ
及川 秋沙 独立行政法人国立病院機構岩手病院/臨床工学室

シンポジウム7 再考：なぜ今在宅医療インテグレーターが 必要なのか ～資格化にむけて～ 【在宅医療インテグレーターワーキンググループ企画】

6月14日(土) 8:30～10:00 第9会場「1F 会議室108」

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・脳神経内科学

SY7-1 高齢化が進む医療・介護の現場 ー多疾患・社会的課題・情報の混乱にどう対応するかー
杉浦 真 JA愛知厚生連 安城更生病院

SY7-2 多職種連携で目指すことは
ー医療依存度の高い方や独居・知人や親族のいない方の増加にどのように支援するか
高砂 裕子 南区医師会

SY7-3 医療ソーシャルワーカーの立場から～“本人”中心の包括的支援体制のために
堀越由紀子 星槎大学共生科学部

SY7-4 再考：なぜ今在宅医療インテグレーターが必要なのか ～資格化にむけて～
荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・脳神経内科学

シンポジウム8 在宅医療教育の力で地域と医療の未来を創る ～コミュニティホスピタルで展開する多角的教育とは～ 【一般公募企画】

6月14日(土) 8:30～10:00 第11会場「1F 会議室101B」

座長 小笠原雅彦 医療法人社団同善会 同善病院/医療法人寛正会 水海道さくら病院/一般社団法人コミュニティ
&コミュニティホスピタル協会

SY8-1 在宅医療教育の力で地域と医療の未来を創る
金杉 裕太 同善病院

SY8-2 在宅医療におけるマネジメント教育について
渡邊 賢秀 ほそばたクリニック

SY8-3 多職種協働はどう教育する？ コミュニティホスピタルの実践報告
久保 裕樹 法人看護局

SY8-4 総合診療教育の中核としての在宅医療ー多様な学びと成長の場
五味 一英 桜新町アーバンクリニック

シンポジウム9 意思決定支援のこれまでとこれから ～事前指示書からACPへ、そして～ 【長崎企画：日本尊厳死協会合同企画】

6月14日(土) 10:10～11:40 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 白髭 豊 白髭内科医院

座長 三浦 靖彦 岩手保健医療大学

SY9-1 ACPのこれまでとこれから
森 雅紀 聖隷三方原病院

SY9-2 ACPのツールとしての改訂リビング・ウィルの有用性
満岡 聡 医療法人満岡内科クリニック

SY9-3 実存は本質に先立つ
大友 宣 医療法人財団老蘇会 静明館診療所

シンポジウム10 在宅医療における特定行為研修修了者の活躍と 病院との連携

【プログラム委員企画】

6月14日（土）10：10～11：40 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 荘司 輝昭 立川在宅ケアクリニック

座長 本田 和也 純真学園大学大学院保健医療学研究科看護学専攻 診療看護師（NP）コース 講師

SY10-1 看護師による特定行為の研修制度について

初村 恵 厚生労働省医政局看護課 看護サービス推進室 室長

SY10-2 これからの在宅医療を考える ― 特定行為研修修了者の役割とは ―

戸北 正和 長崎大学病院

SY10-3 特定行為研修修了生に求められる役割と課題、在宅医療領域における先進事例の紹介

次橋 幸男 公益財団法人 天理よろづ相談所 企画管理室／白川分院在宅世話どりセンター

SY10-4 病院と地域で活躍する診療看護師（NP）・教育者の立場から

本田 和也 純真学園大学大学院保健医療学研究科看護学専攻 診療看護師（NP）コース 講師

シンポジウム11 在宅医療・ケアの質を担保する ～各地での実践から学ぶ～

【プログラム委員企画】

6月14日（土）10：10～11：40 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 大橋 英司 医療法人社団 大橋内科胃腸科

座長 井手口直子 帝京平成大学薬学部

SY11-1 一人ひとりに寄り添う在宅医療ケアを支えるための人材育成―高松市在宅医療コーディネーター養成事業―

片山 陽子 香川県立保健医療大学

SY11-2 質を担保するには医療者の理念と覚悟が必要

井尾 和雄 立川在宅ケアクリニック

SY11-3 End of life care はなみずきの家（看取りの施設）の取り組み

大井 真澄 はなみずきの家

SY11-4 薬剤師の在宅医療での貢献、質の向上への取り組み

井手口直子 帝京平成大学薬学部

シンポジウム12 利用者・家族からの暴力・ハラスメント対応を多職種で考える

【プログラム委員企画】

6月14日（土）10：10～11：40 第5会場「1F イベント・展示ホールA」

座長 武 ユカリ 森ノ宮医療大学

座長 谷亀 光則 望星大根クリニック

SY12-1 在宅医療現場における暴力・ハラスメント問題をめぐる国内の動向

三木 明子 関西医科大学看護学部・看護学研究科

SY12-2 訪問介護における暴力・ハラスメントの現状とその対応・防止に向けた取り組み

富士野香織 株式会社コスモス

SY12-3 在宅医療の現場で薬剤師が直面するハラスメントの特徴

平戸 基輝 ひまわり薬局時津店

SY12-4 訪問看護ステーションにおけるカスタマーハラスメント対応を振り返って

馬場 琴子 訪問看護ステーションあすなろ

SY12-5 診療所および在宅ケア多職種ネットワークにおける暴力・ハラスメント対応

伊藤 大樹 あおばクリニック

シンポジウム13 食支援における倫理と、家族・支援者へのケア

【プログラム委員企画】

6月14日（土）10：10～11：40 第6会場「1F 会議室102」

座長 猪原 健 猪原「食べる」総合歯科医療クリニック

SY13-1 原 信太郎 愛野記念病院、日本臨床宗教師会

SY13-2 池上 由起 長崎市医師会保健福祉センター訪問看護事業所

SY13-3 猪原 健 猪原「食べる」総合歯科医療クリニック

シンポジウム14 非がん性呼吸器疾患患者の呼吸困難の緩和ケア

【呼吸ケアワーキンググループ企画】

6月14日（土）10：10～11：40 第7会場「1F 会議室103」

座長 平松 哲夫 平松内科呼吸器内科小牧ぜんそく睡眠リハビリクリニック

座長 谷口 博之 順秀会 スカイル内科

SY14-1 非がん性呼吸器疾患の緩和ケアをすすめて行くために

津田 徹 霧ヶ丘つだ病院

SY14-2 呼吸困難の緩和ケア～看護の独自性～

竹川 幸恵 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター

SY14-3 ～神経全体の可能性～ 在宅医療での慢性呼吸器疾患患者の呼吸困難緩和とQOLの向上

奥村 友哉 おくむら神経整体院

SY14-4 呼吸困難に対する対応について～理学療法士の立場から～

北川 知佳 長崎呼吸器リハビリクリニック

シンポジウム15 紛争時のBCPについて

【プログラム委員企画】

6月14日（土）10：10～11：40 第9会場「1F 会議室108」

座長 泰川 恵吾 ドクターゴン診療所

座長 宮本 雄気 京都府立医科大学 救急医療学教室／医療法人双樹会 よしき往診クリニック／一般社団法人
KISA2隊

SY15-1 紛争時における銃創、爆傷の対応

角山泰一朗 帝京大学医学部附属病院

SY15-2 自然災害時のBCP（事業継続計画）から 紛争時のBCPを考える

高原 美貴 姫路赤十字病院 看護部

シンポジウム16 在宅医療ダイバーシティ（diversity）

～臨床検査（技師）の深化～

【日本臨床衛生検査技師会・日本在宅臨床検査研究会共催企画】

6月14日（土）10：10～11：40 第11会場「1F 会議室101B」

座長 宮下 勉 日本臨床衛生検査技師会 職域別職能推進WG（在宅医療／救命救急）

座長 鬼澤 信之 医療法人あんず会 杏クリニック

SY16-1 在宅医療の現場で輝く！臨床検査技師の“今”と“これから”

藤井 南 杏クリニック

SY16-2 臨床検査技師の在宅医療推進事業と認知症予防事業への参入

高村 好実 一般社団法人 日本予防医療推進機構

SY16-3 在宅医療における臨床検査技師の働き方と教育体制の構築

岡田 章佑 医療法人社団Plexus大江戸江東クリニック

シンポジウム17 在宅医療とまちづくり～社会的処方を手掛かりに

【長崎企画】

6月14日（土）13：10～14：40 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 長嶺由衣子 東京科学大学

座長 堀田 聡子 慶應義塾大学大学院

SY17-1 地域とともに歩む在宅医療 ～暮らしの現場 出逢い・ふれ愛・支え愛～

大石 春美 医療法人心の郷 穂波の郷クリニック 緩和ケア支援センターはるか

SY17-2 宇都宮市医師会社会支援部の社会的処方とネットワーク活動

村井 邦彦 村井クリニック

SY17-3 住民と共にまちづくりを担う中小病院～コミュニティホスピタルの実践から～

近藤 敬太 藤田医科大学 連携地域医療学／豊田地域医療センター 総合診療科／
一般社団法人コミュニティ&コミュニティホスピタル協会

シンポジウム18 食べやすいまちづくり・嚥下食の開発

【長崎企画】

6月14日（土）13：10～14：40 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 三串 伸哉 森本歯科医院

SY18-1 食を楽しむ ～目で見て楽しい 五感でおいしい からだがよるこぶ 嚥下食とは～

牟田園満佐子 Masako Office

SY18-2 嚥下食が繋ぐインクルーシブな社会への実現をめざして

川端 恵里 NPO 法人摂食嚥下問題を考える会

SY18-3 長崎での活動～ゆめカステラプロジェクト～

三串 伸哉 森本歯科医院

シンポジウム19 これでいいのか？これからの在宅医療～医療制度の視点からみた表と闇～

【プログラム委員企画】

6月14日（土）13：10～14：40 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 宇都宮勲子 一般社団法人 大阪ファルマプラン

座長 荘司 輝昭 立川在宅ケアクリニック

SY19-1 在宅医療における診療報酬改定について

加古 敦也 厚生労働省保険局医療課

SY19-2 これでいいのか？これからの在宅医療～訪問看護に求められるものとは？～

高関 左保 訪問看護ステーション上西

SY19-3 2024年度調剤報酬改定の影響と今後の課題について

宇野 達也 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 制度検討委員、CoMediCs スギ薬局グループ

SY19-4 診療報酬・介護報酬から紐解く在宅医療の闇

荘司 輝昭 立川在宅ケアクリニック

シンポジウム20 医療依存度の高い患者様、これで安心して引き受けられます

【プログラム委員企画】

6月14日（土）13：10～14：40 第5会場「1F イベント・展示ホールA」

座長 中田 隆文 マリオス小林内科クリニック

座長 中山 優季 公益財団法人東京都医学総合研究所難病ケア看護ユニット

SY20-1 「どこでも気道クリアランス」よりよく生きるためのチーム作り

緒方 健一 おがた小児科内科医院

SY20-2 医療依存度の高い患者様を診るためにおさえておきたいポイントー神経難病ー

武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック

SY20-3 訪問看護ステーションが運営する多機能型療養通所介護の取組
島田 珠美 川崎大師訪問看護ステーション・療養通所介護まこと

SY20-4 このフレイル患者様をどう救うか？『在宅だからこそ多職種連携無しでは患者様は救えない！』
房 晴美 NPO法人はみんぐ南河内/羽衣国際大学人間生活部食物栄養学科

シンポジウム21 研究からみる在宅医療の未来 —Patient Reported Outcomeをターゲットとする研究への取り組み— 【プログラム委員企画】

6月14日（土）13：10～14：40 第6会場「1F 会議室102」

座長 山中 崇 東京大学医学部附属病院

座長 梅垣 宏行 名古屋大学大学院医学系研究科

SY21-1 医療・介護レセプトと住民アンケートのデータを組み合わせた取り組みについて
吉江 悟 東京大学高齢社会総合研究機構/東京大学未来ビジョン研究センター/筑波大学ヘルスサービス
開発研究センター/慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室/広島大学医学部

SY21-2 看護領域におけるPROを用いた実践・研究とケアの質
野口麻衣子 東京大学大学院医学系研究科

SY21-3 在宅医療のケアとアウトカムを評価する臨床研究 Zaitaku Evaluative Initiatives and Outcome Study
(ZEVIUS)
次橋 幸男 公益財団法人 天理よろづ相談所 企画管理室/白川分院在宅世話どりセンター

シンポジウム22 在宅看取りの質を考える～働き方改革とGood Deathは両立できるのか～ 【プログラム委員企画】

6月14日（土）13：10～14：40 第7会場「1F 会議室103」

座長 片見 明美 株式会社ヴィーナス

座長 満岡 聡 医療法人満岡内科クリニック

SY22-1 ケアチームにとって看取りの質を考える
満岡 聡 医療法人満岡内科クリニック

SY22-2 医師の働き方改革と安全確保のための「翌朝看取り」
清水 政克 医療法人社団 清水メディカルクリニック

SY22-3 在宅医の働き方改革とGood Deathの両立～オンコール代行サービス導入後の実録～
二ノ坂建史 にのさかクリニック

SY22-4 看取りに取り組む施設看護師の立場から～実践を振り返って働き方改革とグッドデスを考える～
長谷川美希 特別養護老人ホーム みざわほーむ

SY22-5 施設での看取りを支援する訪問看護師の対応と役割
金子 和美 長崎県看護協会訪問看護ステーション

シンポジウム23 長崎市の地域包括ケアシステムと多職種連携 20年の総括と検証 【長崎企画】

6月14日（土）15：30～16：30 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 藤井 卓 藤井外科医院

SY23-1 長崎市の地域包括ケアシステムと多職種連携 20年の総括と検証
詫摩 和彦 医療法人たぐま医院

SY23-2 「介護保険制度から誕生した介護支援専門員の今」～みんなで、その人を知ることから始めよう～
大町 由里 さゆり会ケアマネジメントセンター女神

SY23-3 利用者の「家に帰りたい」気持ちを大切にした訪問看護の20年を振り返る
下屋敷元子 公益社団法人 長崎県看護協会

SY23-4 薬剤師の在宅医療進出 ～長崎編～
佐田 悦子 アクア薬局矢上店

- SY23-5 ～私の仕事の振り返り～長崎大学病院の退院調整看護師
～長崎市包括ケアまちなかラウンジコーディネーターとして経験した多職種連携による在宅医療の推進
宮地登代子 長崎市医師会 長崎市包括ケアまちなかラウンジ

シンポジウム24 多様化する「これから」の在宅医療を支えるための コンピテンシーを考える

【プログラム委員企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 中桶 了太 国民健康保険 平戸市民病院
座長 猪原 健 猪原「食べる」総合歯科医療クリニック

- SY24-1 在宅医療教育の重要性～在宅医療ならではの考え方と空気感をどのように教育するか～
洪 英在 日本福祉大学 社会福祉学部
- SY24-2 在宅歯科医療の深化：多様性に対応するためのコンピテンシー
坂井 謙介 医療法人 隼和会 坂井歯科医院
- SY24-3 在宅医療人としての未来の薬剤師像と人材育成の課題
白石 丈也 有限会社メディックス白石 けや木薬局
- SY24-4 多様化する「これから」の在宅医療を支えるためのコンピテンシーを考える 看護師の立場から
宮崎 久美 長崎県看護協会訪問看護ステーション
- SY24-5 在宅医療に携わる管理栄養士のコンピテンシー
西岡 心大 長崎県立大学 看護栄養学部栄養健康学科

シンポジウム25 在宅診療におけるCEの役割と今後の展望について 【腎不全ワーキンググループ・呼吸リハワーキンググループ合同企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 原 正樹 東京透析フロンティア 池袋駅前クリニック
座長 青木 康弘 ブラーナクリニック

- SY25-1 在宅透析における臨床工学技士の関わり
櫻田 勉 聖マリアンナ医科大学
- SY25-2 在宅血液透析での臨床工学技士の役割
中釜 祥吾 医療法人社団東京透析フロンティア 臨床工学部
- SY25-3 腹膜透析療法におけるCEの役割と期待
林 滉一郎 聖マリアンナ医科大学病院 臨床工学技術部
- SY25-4 在宅医療における呼吸ケアの実践に臨床工学技士は必要なのか？
青木 康弘 ブラーナクリニック
- SY25-5 在宅医療における呼吸ケア～臨床工学技士の役割と課題～
阿部 博樹 （医）康曜会ブラーナクリニック 医療技術部 臨床工学科

シンポジウム26 Hospital at Home 在宅入院の実現に向けた取り組み

【台湾在宅医療学会合同企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 伊藤 大樹 あおばクリニック
座長 弓野 大 医療法人社団ゆみの
座長 余 尚儒 都蘭診所

- SY26-1 日本版Hospital at homeの普及に向けて ～その障壁と解決策～
宮本 雄気 京都府立医科大学 救急医療学教室/医療法人双樹会 よしき往診クリニック/
一般社団法人KISA2隊
- SY26-2 沖縄県立中部病院における急性期在宅
新村 真人 沖縄県立中部病院

SY26-3 台湾におけるHospital at Homeの導入経緯と初期的な成果
陳 英詔 維揚診所

シンポジウム27 地域でつなぐ呼吸リハビリ：在宅ケアの新たな展望

【プログラム委員企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第5会場「1F イベント・展示ホールA」

座長 内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック
座長 白髭 浩之 嬉野医療センター

- SY27-1 地域でつなぐ難しさ ～一例への取り組みを蓄積させていく重要性～
中山 優季 公益財団法人東京都医学総合研究所難病ケア看護ユニット
- SY27-2 脳神経内科医が行う在宅呼吸リハビリテーション ～診断後早期から始める意義～
馬木 良文 医療法人はれの日 あおいそら在宅診療所
- SY27-3 在宅における正しい継続的な呼吸リハビリテーションの実践を目指して
北野 晃祐 村上華林堂病院
- SY27-4 神経筋疾患当事者が在宅呼吸ケアを受けるにあたって顕在化した地域課題と実践効果
山口 和俊 ながさき自立生活センターこころ

シンポジウム28 有床診療所の存在意義と未来への展望 -地域包括ケアシステムにおける役割と課題-

【プログラム委員企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第6会場「1F 会議室102」

座長 安池 純土 医療法人社団悠翔会

- SY28-1 診療所のかたち一病院からの転換とその役割一
押淵 素子 医療法人社団壮志会押淵医院
- SY28-2 地域医療における有床診療所の意義
村上 豪志 医療法人社団 平世会 村上医院
- SY28-3 「古くて新しい」有床診療所一やりがいと持続可能性について一
石坂 俊輔 医療法人社団石坂脳神経外科
- SY28-4 有床診療所で提供している医療・ケアの遺族調査結果とスタッフのやりがいについて
野末よし子 医療法人社団 心 坂の上在宅医療支援医院/坂の上ろうけん曳馬野

シンポジウム29 24時間365日の真実：地域連携で医薬品供給を守れ！

【プログラム委員企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第12会場「1F 会議室101C」

座長 中村美喜子 ペンギン薬局
座長 富安 志郎 とみやす在宅クリニック

- SY29-1 医薬品供給24時間・365日体制は多職種連携と薬局間連携によって可能である
串田 一樹 昭和薬科大学
- SY29-2 長崎市薬剤師会における地域医療支援の取組
下坂 健 ミツバチ薬局片淵店/一般社団法人長崎市薬剤師会
- SY29-3 総合メディカル株式会社における在宅訪問の取り組み
坂本 直大 総合メディカル株式会社
- SY29-4 西東京市における在宅多職種連携の実際～時間外緊急対応を減らすために～
藤田 珠理 薬局ホームケアファーマシー田無店
- SY29-5 休日の医薬品提供体制をどうするか～休日対応事例から鹿児島県薬剤師会の取組まで～
沼田真由美 福元薬局/公益社団法人鹿児島県薬剤師会

シンポジウム30 長崎の地域包括ケア・多職種連携における課題を解決していくための提案と討論

【長崎企画】

6月14日（土）16：40～18：10 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 小笠原貞信 社会医療法人 長崎記念病院

座長 奥平 定之 医療法人社団 奥平外科医院

SY30-1 家庭医が診療所で取り組んだ在宅医療の現状と今後の課題

本石 裕也 社会医療法人健友会 香焼民主診療所

SY30-2 地域でのタスク・シフト/シェアの構築

福田 真司 医療法人社団春秋会 訪問看護ステーション太陽

SY30-3 「多職種連携の未来」～業務生産性向上から医療介護連携への取り組み～

和田 公一 ケアプランセンター結糸

SY30-4 病院連携部門の地域包括ケア・多職種連携における変化と未来への展望（医療ソーシャルワーカーの立場から）

米倉 康佑 医療法人祥仁会 西諫早病院

シンポジウム31 末期腎不全患者の緩和医療・ケア

【プログラム委員企画】

6月14日（土）16：30～18：00 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 河原崎宏雄 帝京大学医学部附属溝口病院内科

座長 三浦 久幸 悠翔会ホームクリニック知多武豊

SY31-1 末期腎不全患者の緩和医療・ケア（日本透析医学会提言 第3版について）

酒井 謙 東邦大学医学部

SY31-2 末期腎不全患者の治療・ケアの法律・倫理的課題

竹口 文博 東京医科大学

SY31-3 腹膜透析は高齢者末期腎不全患者の緩和ケアとなり得るか？

宮崎 正信 医療法人宮崎内科医院

SY31-4 在宅における末期腎不全（ESKD）の緩和ケア ～保存的腎臓療法（CKM）の実践と課題～

平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所

シンポジウム32 在宅で褥瘡をみる

【褥瘡ワーキンググループ企画】

6月14日（土）16：30～18：00 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 塚田 邦夫 高岡駅南クリニック

座長 清野 美砂 けやき通り訪問看護ステーション

SY32-1 在宅や施設での褥瘡に対する「チーム」としての対応と取り組み ～褥瘡を作らないための取り組みと「床ずれ危険度チェック表」の活用について～

加藤 久和 医療法人豊生会 加藤クリニック

SY32-2 在宅で褥瘡をみる 在宅で行う局所療法同行訪問に応じる病院勤務の皮膚・排泄ケア認定認定看護師の立場から

大山 瞳 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院

SY32-3 生活に組み込む褥瘡ケアの現在とこれからの視点

山口みどり なごみ訪問看護ステーション

SY32-4 在宅系施設におけるアプローチ ～訪問リハの立場から～

土井 敦 公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院 訪問リハビリテーション ウェルネスじあい

シンポジウム33

人口減少が加速する2050年を見据えた
次なる地域包括ケア・市町村の姿とは？

【プログラム委員企画】

6月14日（土）16：30～18：00 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 飯島 勝矢 東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター

座長 吉江 悟 一般社団法人Neighborhood Care/東京大学高齢社会総合研究機構/
東京大学未来ビジョン研究センター

SY33-1 社会福祉協議会と町医者で取り組む「Dr. YAOYA」

郡山 晴喜 ホームクリニックみまた

SY33-2 離島で働く看護職の立場として今後の地域医療を考える

本間 優美 Rural care訪問看護ステーション

SY33-3 臼杵市におけるこれからの地域づくり

石井 義恭 臼杵市役所

シンポジウム34

地域特性を活かした持続可能な多職種連携～暮らしを支えるナースたちの挑戦
～全国訪問ボランティアナースの会、キャンナスの活動を通して考える

【プログラム委員企画】

6月14日（土）16：30～18：00 第5会場「1F イベント・展示ホールA」

座長 菅原 由美 NPO法人キャンナス

座長 宮下 勉 日本臨床衛生検査技師会 職域別職能推進WG（在宅医療/救命救急）

SY34-1 キャンサードライブ がんサバイバーによるがん患者の為のドライブサービス
～キャンナスとの連携事例～

宮田 和幸 キャンサードライブ

SY34-2 「島に帰りたい」を支援するための他職種連携

本田由美子 全国訪問ボランティアナースの会「キャンナス長崎ながよ」

SY34-3 小さな町での他職種連携の強みを活かして
ーキャンナス久米島の活動と展開ー

漆澤 縁 キャンナス久米島

シンポジウム35

本人希望の人工呼吸器の取り外しはできないのか

【プログラム委員企画】

6月14日（土）16：30～18：00 第6会場「1F 会議室102」

座長 植竹 日奈 NPO法人ケ・セラ

座長 三浦 靖彦 岩手保健医療大学

SY35-1 30年以上神経難病と向き合ってきて

荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部

SY35-2 閉じ込め症候群になったら「栄光ある撤退」をさせて欲しい あるALS患者さんの思い

小野沢 滋 みその生活支援クリニック

SY35-3 人工呼吸器の取り外しについての冷静な議論を始めよう

満岡 聡 医療法人満岡内科クリニック

シンポジウム36

この子たちの未来をつくる小児在宅医療

【プログラム委員企画】

6月14日（土）16：30～18：00 第7会場「1F 会議室103」

座長 島崎 亮司 シティタワー診療所

座長 藤瀬 直樹 藤瀬クリニック

SY36-1 これから小児在宅医療を始める医師へ～病院勤務医の立場から～

小篠 史郎 熊本大学病院小児在宅医療支援センター

- SY36-2 **これから小児在宅医療を始める医師へ～急性期病院のMSWの立場から～**
中村 仁隆 地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター
- SY36-3 **これから小児在宅医療を始める医師へ～新生児科出身の在宅医の立場から**
南條 浩輝 医療法人輝優会かがやきクリニック
- SY36-4 **これから小児在宅医療を始める医師へ ー 小児外科医が訪問診療を始めて見えてきたこと ー**
吉田 拓哉 社会福祉法人聖家族会 みさかえの園あゆみの家
- SY36-5 **これから小児在宅医療を始める医師へ ～訪問看護師の立場から**
松島 由美 訪問看護ステーション鳴見

シンポジウム37

かぞくのがっこう発、バウンダリーから考える当事者・家族と支援者の
これからのパートナーシップ

【一般公募企画】

6月14日（土）16：30～18：00 第11会場「1F 会議室101B」

座長 新泉真砂子 公益社団法人埼玉県看護協会 与野訪問看護ステーション

座長 堤 真紀 トキノ株式会社 訪問看護ステーションみのり

- SY37-1 **かぞくのがっこう発バウンダリーから考える当事者・家族と支援者のこれからのパートナーシップ**
バウンダリーという考え方
富岡 里江 訪問看護ステーションは一と
- SY37-2 **私は介護離職する必要があったのか**
～自分や家族を追い込んでいたことにさえ気付かなかった過去をバウンダリーを学んだ今振り返る～
佐藤 典子 一般市民
- SY37-3 **医療者のバウンダリーと患者家族からの期待**
松村 直人 NPO 法人日本家族家族・人間関係サポート協会
- SY37-4 **事例から学ぶ当事者・家族と支援者のバウンダリーとこれからのパートナーシップ**
株崎 雅子 地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立循環器・呼吸器病センター

シンポジウム38

すでにここまでやっている！でもあまり知られていない？専門職の活躍
（臨床検査技師・臨床工学技士・診療放射線技師・救急救命士・診療アシスタント）

【一般公募企画】【多職種連携委員会】

6月14日（土）16：30～18：00 第12会場「1F 会議室101C」

座長 鬼澤 信之 医療法人あんず会 杏クリニック

座長 谷水 正人 南松山病院

- SY38-1 **在宅医療における放射線技師の役割**
近江 祐紀 医療法人元気会わかさクリニック
- SY38-2 **「その検査、自宅で行いませんか？——在宅医療×臨床検査技師の最前線」**
川端 城聖 杏クリニック
- SY38-3 **在宅医療PAが支える最期の時間～無資格から始める“プロ”の医療人～**
根本 愛菜 医療法人社団焰 やまと診療所
- SY38-4 **在宅医療の現場における救急救命士の働き方**
大友 泰世 医療法人社団Plexus大江戸江東クリニック

シンポジウム39

「この町で暮らし、最期まで自分らしく生き、逝くことは叶えられていますか？」
～先駆者たちが語る、目指したいこと～

【長崎企画】

6月15日（日）8：00～9：30 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 白髭 豊 白髭内科医院

座長 安中 正和 安中外科・脳神経外科医院

- SY39-1 **この町で暮らし、最期まで自分らしく生き、逝くことは叶えられていますか？～先駆者たちが語る目指したいこと**
秋山 正子 暮らしの保健室

SY39-2 暮らしの中で逝くということ。 ～ホームホスピスの理念と実践より～

市原 美穂 認定NPO法人ホームホスピス宮崎

SY39-3 この町で暮らし、最期まで、自分らしく生き、逝くことは、叶えられているでしょうか

安中 正和 安中外科・脳神経外科医院

SY39-4 『訪問看護から、病院へ、そして今、活動を通して伝えたいこと

～かかりつけ医機能に含まれる在宅療養支援、ワンチームで提供できていますか～』

宇都宮宏子 在宅ケア移行支援研究所

シンポジウム40

栄養・リハビリ・口腔ケアの一体的取り組みを進めるために
～食と栄養の専門家、管理栄養士はどこにいる？～

【プログラム委員企画】

6月15日（日）8：00～9：30 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 田中 弥生 関東学院大学

座長 丸山 道生 田無病院

SY40-1 摂食嚥下障害による栄養治療を支える京都の地域連携・異業種連携～京都の管理栄養士はどこにいる～

荒金 英樹 愛生会山科病院 外科

SY40-2 歯科診療所における管理栄養士の雇用と在宅医療への活用

—居宅療養管理指導を通じた「食支援」の可能性—

猪原 健 猪原「食べる」総合歯科医療クリニック

SY40-3 管理栄養士の病棟配置が完了した平均在院日数11日の高度急性期総合病院で行う

在宅訪問栄養食事指導の取組み

清水 陽平 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院

SY40-4 管理栄養士の引継ぎ問題と地域コーディネーターの必要性

高橋 瑞穂 医療法人社団 創成会 土屋医院

SY40-5 歯科訪問診療における嚥下リハビリと管理栄養士の継続的関与に向けた課題

渡辺 泉 猪原「食べる」総合歯科医療クリニック

SY40-6 ケアマネジャーから見た管理栄養士の存在とは？

臼井 啓子 合同会社 オフィスK

シンポジウム41

在宅ACPの違和感—そもそも本人は
「玉手箱（価値観）」の蓋を医療・ケアチームに開けるのか？

【プログラム委員企画】

6月15日（日）8：00～9：30 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 土屋 知洋 ちひろ内科クリニック

座長 櫻井 隆 さくらいクリニック

SY41-1 本人不在のACPを支える——魂となる語りとその継承

高山 義浩 沖縄県立中部病院

SY41-2 どうすれば本人の価値観を引き出すようなACPの進め方ができるか

満岡 聡 医療法人満岡内科クリニック

SY41-3 在宅医療におけるACPの実践と課題

五味 一英 桜新町アーバンクリニック

SY41-4 在宅ACPの違和感—そもそも本人は「玉手箱（価値観）」の蓋を医療・ケアチームに開けるのか？

平野 頼子 訪問看護ステーションはな

SY41-5 誰のための、何のためのACPなのか？

山岸 暁美 コミュニティヘルス研究機構／慶應義塾大学医学部

シンポジウム42 都市/へき地離島の“緩和ケアギャップ”を埋める！ ～何処でも最期まで良き生きるを支える～

【一般公募企画】

6月15日（日）8：00～9：30 第5会場「1F イベント・展示ホールA」

座長 土橋 映仁 医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック北千住/公益財団法人がん研究会 がん研究所 分子標的病理プロジェクト/公益財団法人がん研究会 有明病院 臨床遺伝医療部/公益財団法人がん研究会 有明病院 臨床病理センター 病理部

座長 土屋 菜歩 やまと在宅診療所栗原

-
- SY42-1 **人口過密地域における緩和ケア病棟新設の取り組み**
村瀬樹太郎 東京慈恵会医科大学附属第三病院
- SY42-2 **病院医師が在宅緩和ケアにアウトリーチする win-win-win な理由**
廣橋 猛 永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター/医療法人社団博腎会 野中医院 在宅ケアセンター
- SY42-3 **離島における在宅緩和ケアの現状と持続可能な診療支援体制の模索**
徳田 英弘 ファミリークリニックネリヤ
- SY42-4 **離島で“Hospital/Hospice at Home”を実装している徳之島のお話～モデル化に向けた研究の構想**
田上 恵太 悠翔会くらしケアクリニック練馬/東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野/徳之島徳洲会病院緩和ケアチーム/一般社団法人IPP研究会/よきき往診クリニック/KISA2隊K2プロジェクト 専門的緩和ケア部隊

シンポジウム43 在宅医療・介護の現場で働く支援者のこころのケア

【精神ワーキンググループ企画】

6月15日（日）8：00～9：30 第6会場「1F 会議室102」

座長 高野 洋輔 こころのホームクリニック世田谷

座長 森 清 東大和ホームケアクリニック

-
- SY43-1 **在宅医療・介護の現場で働く支援者のこころのケアの必要性**
三木 明子 関西医科大学
- SY43-2 **産業分野におけるストレスマネジメントについて**
中村菜々子 中央大学
- SY43-3 **オンラインカウンセリングの有効性と在宅医療・介護現場への応用の可能性**
松本 良平 株式会社マイシエルパ/京都府立医科大学大学院精神機能病態学/医療法人ここから
- SY43-4 **在宅医療・介護の現場におけるこころのケアの必要性と社会実装に向けて**
高野 洋輔 こころのホームクリニック世田谷

シンポジウム44 心不全の在宅管理 5つのポイント

【プログラム委員企画】

6月15日（日）8：00～9：30 第7会場「1F 会議室103」

座長 伊藤 大樹 あおばクリニック

座長 弓野 大 医療法人社団ゆみの

-
- SY44-1 **心不全の適切な治療（薬物治療）**
小出 雅雄 のぞみハートクリニック天王寺
- SY44-2 **心不全の適切な治療2（非薬物療法）**
肥後 太基 該当なし
- SY44-3 **当院で行う心不全チーム医療**
山本 英世 はなまるクリニック
- SY44-4 **心不全終末期の症状緩和**
吉本 明子 ゆみのハートクリニック

SY44-5 心不全患者に対する意思決定支援と家族ケア
勝眞久美子 なな一る訪問看護ステーション

質問者 渡部なつき 医療法人あおばクリニック

質問者 近藤 敬太 藤田医科大学 連携地域医療学／豊田地域医療センター 総合診療科

質問者 永井 美恵 長崎県看護協会訪問看護ステーション

シンポジウム45 広報の新しい戦略を考える

【広報啓発委員会】

6月15日（日）8：00～9：30 第9会場「1F 会議室108」

座長 田城 孝雄 放送大学大学院

座長 小林 正宣 葛西医院

SY45-1 新しい広報・啓発の「場」を考える

飯田 智哉 巡る診療所

SY45-2 地域に根ざす在宅医療の啓発と共創：市民参加型活動の実践とその戦略

遠矢純一郎 桜新町アーバンクリニック

SY45-3 若年世代への在宅緩和ケアに関する広報・啓発の工夫

井上 大輔 神奈川歯科大学

SY45-4 新しい広報戦略？ 広報を「市民との対話」として考えてみる

鶴岡 優子 つるかめ診療所

コーディネーター 田城 孝雄 放送大学大学院

シンポジウム46 3地域の取り組みから考える、2040年に向けた多職種連携

【プログラム委員企画】

6月15日（日）8：00～9：30 第11会場「1F 会議室101B」

座長 小笠原貞信 社会医療法人 長崎記念病院

座長 出口 雅浩 出口外科眼科医院

SY46-1 宮崎キュアケアネットワークのあゆみ

國枝 良行 医療法人サクラ会 あけぼの診療所

SY46-2 「顔が見える仲間づくりから始まった大村市ケアセミナー」

井上 淳治 大村市ケアセミナー

SY46-3 「多職種連携」における松山市在宅医療支援センター 10年の活動

橋本 一晃 一般社団法人 松山市医師会 松山市在宅医療支援センター

シンポジウム47 家族支援としての在宅リハビリテーション・アプローチ ー運動器・運動機能障害に対する多次元ケア

【プログラム委員企画】

6月15日（日）9：40～10：40 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 望月 弘彦 相模女子大学 栄養科学部 管理栄養学科/医療法人社団ユニメディコ

座長 臼井 啓子 合同会社 オフィスク

SY47-1 家族支援としての在宅リハビリテーション・アプローチ

安部 能成 ピース訪問看護ステーション

SY47-2 思いと暮らしに寄り添う在宅リハビリテーションー家族支援の視点から

染谷 明子 富山医療生活協同組合

SY47-3 楽しく食べて！楽しく笑って！ー心を通わせるための家族支援ー

高村 美歩 にのさかクリニック

シンポジウム48 在宅医療に取り組む医療機関の人材確保を考える

【一般公募企画】

6月15日（日）9：40～10：40 第6会場「1F 会議室102」

座長 上畑 大 つばさクリニック

座長 山田 寿美 医療法人双樹会よしき往診クリニック

-
- SY48-1 **組織の成長ステージにどのような人材施策が必要であったか**
木原 信吾 医療法人ゆうの森
- SY48-2 **三位一体で考える人材確保—採用・定着・退職**
荒木 庸輔 特定医療法人新生病院
- SY48-3 **地域特性と組織の成長段階を踏まえ、採用手法をどのように変化させていくのか**
水上 直人 医療法人賛永会 さつきホームクリニック
- SY48-4 **『働き続けたい』を実現する在宅医療の職場づくり**
上畑 大 つばさクリニック

シンポジウム49 誰にでも自宅での“当たり前”の生活を —在宅化学療法を支える病診連携・診診連携の新たなかたち—

【一般公募企画】

6月15日（日）9：40～10：40 第7会場「1F 会議室103」

座長 五味 一英 桜新町アーバンクリニック

座長 細田 亮 医療法人社団豊豊寿会 はもれびクリニック

-
- SY49-1 **血液疾患の在宅移行と在宅化学療法—患者の求める治療の継続に向けて—**
大橋 晃太 トータス往診クリニック/NPO法人血液在宅ねっと
- SY49-2 **在宅化学療法における診診連携の実践 —地域の血液内科医と一般在宅医による協働モデル—**
五味 一英 桜新町アーバンクリニック
- SY49-3 **在宅化学療法における“縁の下力持ち”—薬局薬剤師ができる安全対策と工夫—**
木村 有希 日本調剤尾山台南口薬局

シンポジウム50 在宅医療におけるICT活用の現状と課題そしてこれからのあるべき姿

【長崎企画】

6月15日（日）12：40～14：10 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 松本 武浩 長崎大学病院

座長 阿保 貴章 医療法人阿保外科医院

-
- SY50-1 **地域電子カルテシステム「Net4U」を活用した包括的な医療体制の構築**
三原 一郎 山形県鶴岡地区医師会
- SY50-2 **医療介護連携ICTシステム“うすき石仏ねっと”における在宅医療・介護連携の現状と課題および今後の展開**
舩友 一洋 臼杵市医師会立コスモス病院
- SY50-3 **「医師少数区域」における在宅医療の活動—医療ICT（ism-link等）の活用による実践を目指して—**
建石 徹 飯田医師会 会長（すきがら医院 院長）
- SY50-4 **在宅医療における地域医療情報連携ICTネットワーク“あじさいネット”活用の現状と今後の課題**
奥平 定之 医療法人社団 奥平外科医院
- SY50-5 **『函館地区における地域医療・介護連携ネットワークの現況と、はこだて医療・介護連携サマリーの活用状況』**
高橋 肇 社会医療法人高橋病院 理事長・病院長

シンポジウム51

高齢者の救急現場でのACPとその対策
—高齢者救急問題の現状とその対応についての提言2024を踏まえて—

【長崎企画】

6月15日（日）12：40～14：10 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 土屋 知洋 ちひろ内科クリニック
座長 満岡 聡 医療法人満岡内科クリニック

- SY51-1 超高齢社会における救急医としてのACPへの取り組み
早川 航一 長崎みなとメディカルセンター
- SY51-2 高齢者現場におけるDNARの現状と課題について
中倉 佑太 長崎市消防局
- SY51-3 長崎市の人生会議（ACP）の普及啓発の取り組みについて
～本人の想いを救急現場でのACPにつなげるために～
山口 伸一 長崎市役所
- SY51-4 長崎市医師会版事前同意書「わたしの思い」のご紹介と運用報告
土屋 知洋 ちひろ内科クリニック
- SY51-5 高齢者救急に必要な緩和ケア
石上雄一郎 飯塚病院

シンポジウム52

長崎の医療・介護連携に必要なケアマネジャー像とは

【長崎企画】

6月15日（日）12：40～14：10 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 阿部 充宏 合同会社 介護の未来

- SY52-1 「地元長崎からケアマネジャー試験対策のYoutube配信や書籍出版など活躍しているケアマネジャーが考える、
ケアマネジャーの業務のあり方について」
水頭 正樹 ケアプランセンターヨケア
- SY52-2 新たな取り組みとしてリモートワークで働き方改革を实践。デジタル連携について考える
馬場 大輔 みらい社会福祉士事務所
- SY52-3 独立開業して長崎中心部と遠隔地域とのサービス不足の現状とサービス格差について
高島 謙介 合同会社ふくしのいろは
- SY52-4 これからを見据えた医療・介護連携の課題について
柳川 裕美 ケアプランセンターゆめライフ
- モデレーター 松尾 史江 ケアプランセンターゆめライフ

シンポジウム53

コミュニティ緩和ケアにおけるボランティア活動の現在と未来

【一般公募企画】

6月15日（日）12：40～14：10 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 ニノ坂保喜 にのさかクリニック
座長 鐘ヶ江寿美子 ひらまつ在宅クリニック

- SY53-1 県との協働による在宅ホスピスボランティアの育成
～コンパッション・コミュニティの発展に向けて、福岡の取り組み～
寺町 聡子 医療法人にのさかクリニック
- SY53-2 出逢い・ふれ愛・支え愛 地域の中で共に生きる仲間の輪
大石 春美 医療法人心の郷 穂波の郷クリニック 緩和ケア支援センターはるか
- SY53-3 “ごちゃまぜ・えがお” プロジェクト ～20年後も暮らせる地域づくりのために医療にできること～
山内 勇人 在宅支援クリニックえがお
- SY53-4 Public Health Palliative Careとボランティア～海外視察報告～
青木 芳恵 帝京大学

シンポジウム54 在宅におけるMSWの実践報告 ―知ってつながって未来を変える―

【一般公募企画】

6月15日（日）12：40～14：10 第5会場「1F イベント・展示ホールA」

座長 齋藤 慶子 医療法人社団ゆみの

座長 西出 真悟 株式会社メディヴァ

SY54-1 「地域に飛び出す在宅医療ソーシャルワーカー」 ～私は何屋さん？～

松岡 邦彦 茶屋町在宅診療所

SY54-2 MSWがつなぐ、医療的ケアが必要な子どもと家族への在宅支援と地域連携 ～ライフステージごとの支援の実際～

豊泉 昭子 医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所

SY54-3 MSWの実践に活かすケアマネジャーの経験と、インターネットラジオを用いた個別アプローチ

久保 幸枝 松山クリニック

SY54-4 都心部における在宅医療ソーシャルワーカーの実践

鈴木英理佳 ゆみのハートクリニック渋谷

シンポジウム55 医療MaaSの現場を体感！

診療看護師（NP）とICT活用で在宅医療の未来を切り拓く

【一般公募企画】

6月15日（日）12：40～14：10 第6会場「1F 会議室102」

座長 大杉 泰弘 藤田医科大学

座長 酒井 博崇 藤田医科大学

SY55-1 遠隔診療におけるDtpWithN

酒井 博崇 藤田医科大学

SY55-2 医療MaaSを活用した無医地区における集合型巡回診療の実際

中山 法子 山口市徳地診療所

SY55-3 医療MaaSの現場を体感！診療看護師（NP）とICT活用で在宅医療の未来を切り拓く

大杉 泰弘 藤田医科大学

シンポジウム56 あなたの地域が被災した時、助けに行きます ～助けて欲しい診療所あつまれ～

【一般公募企画】

6月15日（日）12：40～14：10 第7会場「1F 会議室103」

座長 市橋 亮一 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック 名駅

座長 佐々木 淳 医療法人社団悠翔会

SY56-1 地域が被災した時に必要とされる後方支援・HOMAT（Home medical assistance team）について

市橋 亮一 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック 名駅

SY56-2 能登地震の直接支援と、多くの医療者からの後方支援について

紅谷 浩之 医療法人オレンジグループ

SY56-3 能登半島地震での後方支援経験と、「ロケット鉛筆型支援」のための事前準備と平時連携

桶口 史篤 医）くれよん くれよん在宅クリニック

SY56-4 能登半島地震での後方支援について～右も左も分からず後方支援に参加してみた～

開田 脩平 医療法人みらい みらい在宅クリニック港南

シンポジウム57 課題先進地域長崎から考える、ともにつくる 私たちの働き方のこれからのカタチ

【プログラム委員企画】

6月15日（日）12：40～14：10 第9会場「1F 会議室108」

座長 門田耕一郎 重工記念長崎病院 総合診療科

座長 石司有理子 社会福祉法人 椿ヶ丘

SY57-1 先進地域長崎外海の法人として出来る事・やりたい事～自分を大事に、家族を大事に、利用者さんの為に～
石司有理子 社会福祉法人 椿ヶ丘

SY57-2 初めての在宅勤務！～仕事と子育ての両立～
濱崎 えり 長崎市三重・外海外海地域包括支援センター

SY57-3 男性の育児休業取得の現状と男性育児支援の必要性
平野 翔大 一般社団法人Daddy Support協会

SY57-4 多様な働き方が、よりよいチーム作りを実現する
水上 直人 医療法人賛永会 さつきホームクリニック

パネリスト 伊藤 天大 さつきホームクリニック

シンポジウム58 情報通信機器（ICT）を利用した 訪問看護師による死亡診断書作成

【プログラム委員企画】

6月15日（日）12：40～14：10 第11会場「1F 会議室101B」

座長 大橋 英司 医療法人社団 大橋内科胃腸科

座長 白髭 豊 白髭内科医院

SY58-1 ICTを利用した遠隔死亡診断の現状と課題
大澤 資樹 相武台リハビリテーション病院、東海大学医学部基盤診療学系法医学

SY58-2 遠隔死亡診断による在宅での看取りケアの検討にあたって
柳井 圭子 元日本赤十字九州国際看護大学

SY58-3 情報通信機器（ICT）を利用した訪問看護師による死亡診断書作成
神野 真紀 あけぼの訪問看護ステーション

シンポジウム59 在宅チーム医療・ケアの未来に向けた連携教育を考える

【長崎企画】

6月15日（日）14：20～15：50 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 前田 隆浩 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 総合診療学分野/長崎大学病院 総合診療科

座長 永田 康浩 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学分野

SY59-1 在宅医療における卒前から現場に至る多職種連携教育の実践と効果
春田 淳志 慶應義塾大学医学部

SY59-2 対等な関係性と共通目標の共有から始まる連携教育：看護職の現場から
宮崎和加子 一般社団法人だんだん会

SY59-3 在宅医療多職種連携教育に求められる、患者さん、御家族、そして多職種に優しいスキルとは
阿保 貴章 医療法人阿保外科医院

SY59-4 地域包括ケアシステム構築に関わる専門職種の育成 一地域リハビリテーションの立場より一
井口 茂 長崎大学 医学部 保健学科 理学療法学専攻

シンポジウム60

在宅療養支援病院と在宅療養支援診療所における
訪問栄養食事指導の体制整備の現状と課題

【日本在宅栄養学会合同企画】

6月15日（日）14：20～15：50 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 前田佳予子 武庫川女子大学

座長 田中 弥生 関東学院大学

SY60-1 在宅療養支援病院における訪問栄養食事指導の体制整備の現状と課題

梶原 崇弘 医療法人弘仁会 板倉病院 理事長・院長

SY60-2 少子高齢化が進む北海道における在宅栄養ケアの現状と課題

真井 睦子 日本赤十字社 栗山赤十字病院

SY60-3 在宅療養支援診療所での栄養指導の実践

白髭 豊 白髭内科医院

SY60-4 みぎわ認定栄養ケア・ステーション～栄養ケア活動の地域拠点をつくる～

島井美津子 地域密着型特別養護老人ホームみぎわほーむ

SY60-5 三師会、医師会連携から広がる認定栄養ケア・ステーションの活動と未来

森 明日香 横浜市金沢区認定栄養ケア・ステーション／関東学院大学 栄養学部

シンポジウム61

医療DXが描く在宅医療の未来～地域包括ケアとデジタル技術の融合～

【一般公募企画】

6月15日（日）14：20～15：50 第5会場「1F イベント・展示ホールA」

座長 石塚 美絵 めぐみ在宅クリニック

座長 鈴木 重良 公益財団法人豊田地域医療センター

SY61-1 在宅医療DXの未来予想図 ～2040年を見据えて今なすべきこととは～

石塚 秀俊 一般社団法人日本在宅医療事務連絡会

SY61-2 「四街道・千葉地域における在宅医療ICT連携の実態調査」

梅野福太郎 四街道まごころクリニック

SY61-3 書類作成からの解放へ！ AI導入による医療DXの挑戦

稲生 迅人 一般社団法人 拠 みんなの在宅クリニック

SY61-4 在宅療養支援病院での電子カルテ活用と情報連携に向けた取り組み

藤原 由香 医療法人博愛会 頤田病院

シンポジウム62

真の医薬連携がここに！薬剤師の本音を皆で語ろう！！

【一般公募企画】

6月15日（日）14：20～15：50 第6会場「1F 会議室102」

座長 近藤 敬太 藤田医科大学 連携地域医療学／豊田地域医療センター 総合診療科

SY62-1 医薬連携がうまくいかなかった「あるある事例」と課題

宇野 達也 CoMediCs スギ薬局グループ

パネリスト 草島 邦夫 藤田医科大学 総合診療科 客員講師

パネリスト 下斗米 英 豊田地域医療センター

パネリスト 岡田 浩 和歌山県立医科大学

パネリスト 中村美喜子 ペンギン薬局

シンポジウム63 在宅医療を支える事務長のリアルストーリー ～ケースから学ぶ成功の秘訣～ 【一般公募企画】

6月15日（日）14：20～15：50 第7会場「1F 会議室103」

座長 佐藤 修 医療法人社団富家会

座長 浅沼 裕子 医療法人社団実幸会いらはら診療所／一般社団法人日本在宅医療事務連絡会

- SY63-1 **小さな訪問・外来クリニックで事務長がすすめた職場パワーアップ術**
奥富 隆生 まりあクリニック 在宅診療部
- SY63-2 **事務長に求められる役割とは何か？その中で特に大切でかつ難題な経営支援の一つである【集患・増患】対策について実例をもとに紹介する。**
春山 善広 医療法人社団はやぶさ さがみはらファミリークリニック
- SY63-3 **「尊重」と「規律」のバランスが組織を強くするーポジティブフィードバック技法の導入と効果**
堀田 豊 医療法人みどり訪問クリニック
- SY63-4 **大規模診療所における事務長業務の分散 多職種連携を支える現場重視の事務長の役割**
黒川 雅人 医療法人社団しろひげファミリー しろひげ在宅診療所

シンポジウム64 ACPや意思決定支援に役立つ現状確認ツールIMADOKO ～活用してみた各地域からの報告～ 【一般公募企画】

6月15日（日）14：20～15：50 第9会場「1F 会議室108」

座長 大井 裕子 おおい在宅緩和ケアクリニック／日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

座長 中村 幸伸 つばさクリニック

- SY64-1 **ACPや意思決定支援にかかわる医療従事者の現状と課題**
-現状確認ツールIMADOKO研修前アンケートからみえること-
大井 裕子 おおい在宅緩和ケアクリニック／日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
- SY64-2 **急性期病院で活用する現状確認ツールIMADOKO**
鎌田 千秋 国家公務員共済組合連合会 呉共済病院
- SY64-3 **訪問看護ステーションで現状確認ツールIMADOKOを導入した理由と経過の報告**
中村 恵 AGO株式会社みのり訪問看護ステーション
- SY64-4 **ER看護師を経て訪問看護を始めた際のIMADOKO活用報告**
草間 大哉 WLIFE訪問看護センター
- SY64-5 **在宅支援診療所におけるIMADOKO活用報告**
中村 幸伸 つばさクリニック

ワークショップ

ワークショップ1 2040年の在宅医療を考えるーLEGO®SERIOUS PLAY®メソッドと教材を活用したワークショップ体験会ー 【一般公募企画】

6月14日（土）8：30～10：00 第10会場「1F 会議室101A」

座長 中村 幸生 医療法人優幸会

- WS1-1 **2040年の在宅医療を考えるーLEGO®SERIOUS PLAY®メソッドと教材を活用したワークショップ体験会ー**
中村 千賀 医療法人優幸会
- ファシリテーター 大塚 創平 医療法人優幸会

ワークショップ2 在宅医療にかかわるお金の話

【一般公募企画】

6月14日（土）8：30～10：00 第13会場「1F 会議室111」
座長 太田 敦 医療法人あおい空おおた在宅クリニック

- WS2-1 在宅医療にかかわるお金の話
竹内 永子 みんなのかかりつけ訪問看護ステーション徳島
- WS2-2 在宅医療にかかわるお金の話
中 健太郎 セントラル介護経営事務所
- WS2-3 在宅医療にかかわるお金の話
位頭 薫 特定非営利活動法人ゆいまーる

ワークショップ3 看取り期の患者、家族との対話の仕方

【一般公募企画】

6月14日（土）10：10～11：40 第10会場「1F 会議室101A」
座長 長野 宏昭 いきがい在宅クリニック

- WS3-1 看取り期の患者、家族との対話の仕方
小澤 竹俊 めぐみ在宅クリニック

ワークショップ4 実症例から学ぶ在宅での透析終末期ケア

【プログラム委員企画】

6月14日（土）13：10～14：40 第9会場「1F 会議室108」
座長 河原崎宏雄 帝京大学医学部附属溝口病院内科
座長 宮崎 正信 医療法人宮崎内科医院

- WS4-1 「認知症・乳がん合併高齢慢性腎臓病患者に対する在宅腹膜透析の実践とエンドオブライフケア」
楠本 拓生 医療法人楠本内科医院
- WS4-2 血液透析患者に関する終末期医療の多様性と在宅医療の取り組み－3症例の経験から－
阿部 伸一 長崎腎病院
- WS4-3 血液透析患者に関する終末期医療の多様性と在宅医療の取り組み－3症例の経験から
松尾 誠司 医療法人 長崎宝在宅医療クリニック
- パネリスト 櫻田 勉 聖マリアンナ医科大学
- パネリスト 雁瀬 美佐 NPO 法人 腎臓サポート協会
- パネリスト 片岡今日子 日本財団在宅看護センターひまわり
- パネリスト 正木 浩哉 医療法人 正木医院

ワークショップ5 いったい私はどこで人生を終えたらいいの？～動画と寸劇で考える高齢化社会～

【長崎企画】

6月14日（土）13：10～14：40 第10会場「1F 会議室101A」
座長 中尾勘一郎 （医）ホーム・ホスピス中尾クリニック

- WS5-1 土屋 知洋 ちひろ内科クリニック
- WS5-2 詫摩 和彦 たくま医院
- WS5-3 桜井 隆 さくらいクリニック
- WS5-4 白山 宏人 医療法人社団 西日本平郁会 大阪北ホームケアクリニック
劇団ザイタク
劇団そいでよかさ

ワークショップ6 在宅における褥瘡ケア、リハビリ、栄養管理はこうする～明日から役立つノウハウ

【一般公募企画】

6月14日（土）13：10～14：40 第11会場「1F 会議室101B」

座長 水原 章浩 東鷲宮病院 循環器・血管外科 褥瘡・創傷ケアセンター

WS6-1 施設や在宅でもできる簡単な褥瘡ケア～高価な医療材料を使わない方法

水原 章浩 東鷲宮病院 循環器・血管外科 褥瘡・創傷ケアセンター

WS6-2 在宅における褥瘡ケアに必要なこと ～悩みどころと解決のヒント～

持田智江美 埼玉県看護協会 鳩ヶ谷訪問看護ステーション

WS6-3 在宅における作業療法士の実践 ～本人らしい生活を支える外力の軽減と除去～

岩谷 清一 医療法人社団心愛会 TOWN訪問診療所

WS6-4 要介護高齢者における褥瘡などの栄養管理とその重要性

本川 佳子 東京都健康長寿医療センター研究所

ワークショップ7 在宅ケアの未来は我々に任せなさい！？

明るいつまの懇親会です、“自称”若手、全員集合！

【次世代委員会企画】

6月14日（土）13：10～14：40 第12会場「1F 会議室101C」

座長 飯田 智哉 巡る診療所

座長 飯嶋 将史 いいじま訪問診療クリニック世田谷区二子玉川

ファシリテーター 次世代委員会メンバー

ファシリテーター 大会長推薦の地元長崎メンバー

ワークショップ8 在宅における食支援～パパッと調理ワンポイントアドバイス

【長崎企画】

6月14日（土）13：10～14：40 展示会場「イベント・展示ホールB」

WS8-1 古川 美和 学校法人 活水学院 活水女子大学

WS8-2 松尾美穂子 フリーランス

WS8-3 梶原佳代子 医療法人 四葉 まき歯科

WS8-4 柴原 清美 医療法人祥仁会西諫早病院

ファシリテーター 藤 希望 学校法人 活水学院 活水女子大学

ワークショップ9 在宅医療への移行～送る側と受け取る側の気持ち～

【プログラム委員企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第9会場「1F 会議室108」

座長 花井亜紀子 国立精神・神経医療研究センター病院

座長 門田耕一郎 重工記念長崎病院 総合診療科

WS9-1 在宅医療へ「送る側」の病院の近年の概況と病病・病診連携の課題を考える

宮川 江利 地方独立行政法人長崎市立病院機構 長崎みなとメディカルセンター

WS9-2 在宅医療への移行～送る側と受け取る側の気持ち～

松尾 史江 ケアプランセンターゆめライフ

WS9-3 在宅医療への移行～送る側と受け取る側の気持ち～

阿保 貴章 医療法人阿保外科医院

【ワークショップ10】「全国各地における在宅医療への災害への取り組み ～暗黙知を形式知に～」【一般公募企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第10会場「1F 会議室101A」

座長 小原 章央 医療法人 社団 都会

- WS10-1 大規模震災に地域で備える自助・近所・共助 一地区医師会を巻き込んだ地域包括圏域の災害への取り組みー
小原 章央 医療法人 社団 都会
- WS10-2 日本在宅医療連合学会東海支部会が行った能登半島震災における災害医療後方支援活動
荒木 一将 トータルサポートクリニック岩崎台
- WS10-3 訪問看護の立場から、地域や地域を超えたBCPへの取り組み
岩本 大希 WyL 株式会社
- WS10-4 熊本「在宅医療研究会とととココロ」での取り組み
前田 淳子 医療法人社団なつみ会まえたクリニック

【ワークショップ11】「快うん」からはじめるプライマリヘルスケア【長崎企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第11会場「1F 会議室101B」

座長 榊原 千秋 うんこ文化センターおまかせうんチッチ

- WS11-1 「快うん」からはじめるプライマリヘルスケアのまちづくり
榊原 千秋 うんこ文化センターおまかせうんチッチ

【ワークショップ12】在宅現場の「困難事例」にオープン・ダイアログをつかってみた ～対話による支援を体感できるワークショップ～【一般公募企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第13会場「1F 会議室111」

座長 亀山 有香 茶屋町在宅診療所

- WS12-1 在宅現場の「困難事例」にオープン・ダイアログをつかってみた
～対話による支援を体感できるワークショップ～
後藤 智行 株式会社 TSUMUGOE

【ワークショップ13】病院から在宅への緩和ケア ～この症例はどうする？～【プログラム委員企画】

6月14日（土）16：30～18：00 第9会場「1F 会議室108」

座長 杉浦 敏之 医療法人社団弘恵会杉浦医院

座長 大原 寛之 日本赤十字社長崎原爆病院

- WS13-1 病院から在宅へのがん疼痛治療
余宮きのみ 広島市立広島市民病院
- WS13-2 くも膜下鎮痛患者の在宅移行を進めるための取り組み（長崎方式と勝手に呼んでいます）
石井 浩二 長崎大学病院 緩和ケアセンター / 長崎大学病院 麻酔科
- WS13-3 病院から在宅への緩和ケア ～この症例はどうする？～
市原 利晃 秋田往診クリニック

ワークショップ14 地域に丸投げ？それで、本当によか？研修医の在宅医療教育！

【長崎企画】

6月14日（土）16：30～18：00 第10会場「1F 会議室101A」

WS14-1 中桶 了太 国民健康保険 平戸市民病院

WS14-2 上原 裕規 谷川放射線科医長科医院/長崎大学病院

WS14-3 松島加代子 長崎大学病院

ファシリテーター 浜田 久之 長崎大学病院

ワークショップ15 医療事務職で集まろう！日々の疑問を解決しよう！

【一般公募企画】

6月14日（土）16：30～18：00 第13会場「1F 会議室111」

座長 上畑 大 つばさクリニック

座長 小玉 直人 コールメディカルクリニック広島

ファシリテーター 江籠平紀子 医療法人ゆうの森

ファシリテーター 本田 正美 つばさクリニック

ファシリテーター 神谷奈津美 コールメディカルクリニック広島

ワークショップ16 「見える事例検討会」で自立・成長する課題解決型多職種チームづくり
～DXとAIで進化する「見え検」を体験しよう～

【一般公募企画】

6月15日（日）8：00～9：30 第12会場「1F 会議室101C」

座長 八森 淳 医療法人MoLead つながるクリニック

座長 大友 路子 医療法人MoLead つながるクリニック

WS16-1 額原 禎人 一般財団法人療道協会西山病院

WS16-2 稲葉 典子 社会医療法人甲友会（こうゆうかい）在宅事業部 西宮協立訪問看護センター

ワークショップ17 訪問看護事業のM&Aの可能性について

【一般公募84】

6月15日（日）9：40～10：40 第5会場「1F イベント・展示ホールA」

座長 中村 勝喜 スタークケア株式会社

WS17-1 訪問看護事業のM&Aの可能性について

米原 拓也 小岩事業所

ワークショップ18 NANIMONプロジェクト～医師キャリアカードゲームを通じて
自分のキャリアを共有し仲間を見つけよう～

【一般公募企画】

6月15日（日）12：40～14：10 第12会場「1F 会議室101C」

座長 田上 佑輔 やまと在宅診療所

WS18-1 林 祥史 けやき脳神経リハビリクリニック

WS18-2 鹿角 契 中外製薬株式会社

WS18-3 菊地 玲 医療法人社団やまと

WS18-4 川越 美咲 医療法人社団やまと

ワークショップ19 在宅現場における困難事例を臨床倫理的アプローチで考える

【倫理・利益相反委員会】

6月15日（日）14：20～15：50 第11会場「1F 会議室101B」

司会 三浦 靖彦 岩手保健医療大学

司会 植竹 日奈 NPO法人ケ・セラ

ファシリテーター 伊藤 博明 鶴巻温泉病院

ファシリテーター 植竹 日奈 NPO法人ケ・セラ

ファシリテーター 大橋 英司 医療法人社団 大橋内科胃腸科

ファシリテーター 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・脳神経内科学

ファシリテーター 門田耕一郎 重工記念長崎病院 総合診療科

ファシリテーター 三浦 靖彦 岩手保健医療大学

ワークショップ20 在宅における災害対策 一現状と課題、そして支援体制の構築に向けて

【一般公募企画】

6月15日（日）14：20～15：50 第12会場「1F 会議室101C」

座長 長尾 式子 北里大学看護学部

WS20-1 在宅における災害対策一現状と課題、そして支援体制の構築に向けて一

西尾けい子 ホームケアクリニック横浜港南

ファシリテーター 柴原あゆみ ホームケアクリニック横浜港南

パネルディスカッション**パネルディスカッション1** 在宅リハビリテーションとケアマネジャーの美しいコラボレーション

一多職種連携の方法論を探る 【みんなでリハビリワーキンググループ企画】

6月14日（土）14：50～16：20 第7会場「1F 会議室103」

座長 清水 政克 医療法人社団 清水メディカルクリニック

座長 片見 明美 株式会社ヴィーナス

PD1-1 「尊厳ある生活」を支援するためのコラボレーション～特別ではない、ハードルも高くない！
もっと身近に在宅でのリハビリテーション～

宇田 薫 日本訪問リハビリテーション協会

PD1-2 ケアマネジャーから見たリハビリとは

臼井 啓子 合同会社 オフィスK

PD1-3 在宅リハビリテーションとケアマネジャーの協働による生活支援～連携によるより良いケアとは～

染谷 明子 富山医療生活協同組合

パネルディスカッション2

長崎県NST研究会合同企画元気に食べ続けるために
～在宅・病院・施設での多職種連携～

【長崎企画】

6月15日（日）14：20～15：50 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 大原 寛之 日本赤十字社長崎原爆病院

座長 前田 滋 医療法人伴帥会 愛野記念病院

PD2-1 急性期病院での栄養管理と地域連携における課題

大下 正美 社会医療法人十善会 十善会病院 栄養部

PD2-2 回復期リハビリテーション病棟における栄養管理と連携

西岡 絵美 一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院

PD2-3 診療所における栄養指導の実際

奥平 定之 医療法人社団 奥平外科医院

PD2-4 元気に食べ続けるために～在宅・病院・施設での多職種連携～

俣野 正仁 長崎県歯科医師会

PD2-5 「食べる」を繋ぐ在宅支援

古川 美和 学校法人 活水学院 活水女子大学

PD2-6 「口から食べる」 そのために

佐田 悦子 アクア薬局矢上店

プ
ロ
グ
ラ
ム

パネルディスカッション3

坂のまち在宅医療・訪問看護サミット

【長崎企画】

6月15日（日）14：20～15：50 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 詫摩 和彦 医療法人たぐま医院

座長 中尾理恵子 長崎大学生命医科学域（保健学系）

PD3-1 坂のまち在宅医療・訪問看護サミット

詫摩 和彦 医療法人たぐま医院

PD3-2 「坂のまち在宅医療・訪問看護サミット」

中尾勘一郎 （医）ホーム・ホスピス中尾クリニック

PD3-3 オレ流在宅医療

行成 壽家 医療法人 ゆきなり・クリニック

PD3-4 坂のまちの現状と訪問看護の取り組み～地域共生社会に向けて～

川原 恭子 エース訪問看護ステーション

PD3-5 “やりたい”をあきらめない 坂の町だからこそ 私たち通所事業者のやりがい

久保 智恵 社会福祉法人 致遠会

ハンズオンセミナー

ハンズオンセミナー1 在宅透析の機器に直接触れて体験しよう

【腎不全ワーキンググループ企画】

6月14日（土）8：30～10：00 第12会場「1F 会議室101C」

HS1-1	河原崎宏雄	帝京大学医学部附属溝口病院
HS1-2	原 正樹	東京透析フロンティア 池袋駅前クリニック
ファシリテーター	片岡今日子	日本財団在宅看護センターひまわり
ファシリテーター	中签 祥吾	医療法人社団東京透析フロンティア

ハンズオンセミナー2 浮腫ケアのリンパドレナージと圧迫ケア入門

【企業共催セミナー】

6月14日（土）10：10～11：40 第12会場「1F 会議室101C」

HS2-1	大塚 俊介	一般社団法人 日本浮腫緩和療法協会
実技アシスタント	徳永 陽子	独立行政法人地域医療機能推進機構諫早総合病院／日本浮腫緩和療法協会講師
実技アシスタント	花岡 ふみ	日本赤十字社長崎原爆病院／日本浮腫緩和療法協会評議員
実技アシスタント	長谷川美希	社会福祉法人白之会地域密着型特別養護老人ホームみざわほーむ／日本浮腫緩和療法協会評議員
実技アシスタント	本山 祥子	医療法人松籟会河畔病院／日本浮腫緩和療法協会評議員

交流集会

交流集会1 全国に在宅医療インテグレーター仲間を増やそう！

【在宅医療インテグレーターワーキンググループ企画】

6月14日（土）10：10～11：10 第13会場「1F 会議室111」

座長	石原 由花	医療法人社団ユメイン 野崎クリニック
EM1-1	齋藤 慶子	医療法人社団ゆみの

交流集会2 診療同行看護師の集い～仲間（かぞく）になろうよ～

【一般公募企画】

6月15日（日）9：40～10：40 第9会場「1F 会議室108」

座長	湊 由美香	医療法人社団まごころ 四街道まごころクリニック
EM2-1	手渡 和子	国立病院機構 千葉医療センター
モデレーター	菊池なほみ	秦野伊勢原医師会
モデレーター	長田 美樹	甲州市大藤診療所
モデレーター	日谷 美樹	太田医院
モデレーター	佐藤 圭子	公益財団法人 伊豆保健医療センター
モデレーター	森井 麻理	無所属
モデレーター	森 寿江	桜新町アーバンクリニック

交流集会3 指導医大会スピノフ企画：指導医はつらいよ

～忙しい業務の中で明日からの指導に生かせるtipsを共有しよう～

【一般公募企画】

6月15日（日）9：40～10：40 第10会場「1F 会議室101A」

座長	松本 真一	悠翔会在宅クリニック葛飾
座長	竹田 亮平	東戸塚みどり在宅クリニック

交流集会4 在宅MSW交流会

【一般公募企画】

6月15日（日）9：40～10：40 第11会場「1F 会議室101B」
座長 岡江 晃児 在宅医療ソーシャルワーカー盛り上げ隊

EM4-1 西出 真悟 株式会社メディヴァ

交流集会5 事務職交流会「じっくり語ろう、事務集ろう。」

【一般公募企画】

6月15日（日）12：40～13：40 第10会場「1F 会議室101A」
座長 堀部 秀夫 ゆみのハートクリニック
座長 石塚 美絵 めぐみ在宅クリニック

交流集会6 全国の看多機メンバー・興味のある方、みんな集まれ！
実践を共有し看多機サービスの在り方について語り合しましょう。

【一般公募企画】

6月15日（日）13：50～14：50 第10会場「1F 会議室101A」
座長 山崎 佳子 千葉県看多機連絡協議会

EM6-1 福田 裕子 株式会社まち・ナース/千葉県看多機連絡協議会

交流集会7 変化する地域で病院と地域の看護師のつながりを考え直す
一様々な垣根を越えて看護師が看護を熱く語ることの効果ー

【一般公募企画】

6月15日（日）15：00～16：00 第10会場「1F 会議室101A」
座長 早川 未来 東邦大学医療センター佐倉病院

EM7-1 佐藤 知子 順天堂大学医学部附属浦安病院

EM7-2 佐々木ゆかり 船橋市在宅医療支援拠点ふなぼーと

集合集会**集合集会** 臨床工学技士が在宅医療のチームの一員として
どのように多職種連携を進めていくべきか

【一般公募企画】

6月15日（日）9：40～10：40 第12会場「1F 会議室101C」
ファシリテーター 平野 恵子 JA広島総合病院

指導医大会**指導医大会** 在宅医療における指導医養成と交流促進を目指して

6月15日（日）8：00～9：30 第10会場「1F 会議室101A」
座長 竹田 亮平 東戸塚みどり在宅クリニック
座長 開田 脩平 医療法人みらい みらい在宅クリニック港南

AD-1 郡山 晴喜 ホームクリニックみまた

AD-2 井口真紀子 祐ホームクリニック大崎／上智大学グリーンケア研究所／東京慈恵会医科大学

在宅NPWT認定教育制度 OSCEハンズオン講習会

在宅NPWT認定教育制度 OSCEハンズオン講習会

6月15日（日） 8：00～10：40 第13会場「1F 会議室111」

座長 栗原 健 くりはら皮膚形成外科

田島 純子 長崎大学病院 看護部・褥瘡管理

戸北 正和 長崎大学病院 診療看護師室・特定行為研修室 看護師長 皮膚・排泄ケア特定認定看護師

久松 曜子 日本赤十字社 長崎原爆病院

6月15日（日）12：40～17：00 第13会場「1F 会議室111」

座長 木下 幹雄 医療法人社団 心愛会 TOWN訪問診療所

大山 拓人 福岡大学病院 形成外科 講師

坂尾 直子 さかお訪問クリニック 院長

吉本 大樹 TOWN訪問診療所 城南院 皮膚・排泄ケア特定認定看護師

スポンサードシンポジウム

スポンサードシンポジウム

在宅看護のカスタマーハラスメント対策～日本財団在宅看護センター
ネットワークでのカスタマーハラスメント対策への取り組み

【笹川保健財団】

6月15日（日）8：00～9：30 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 喜多 悦子 笹川保健財団

座長 貞方 初美 アリビアル合同会社

SS6-1 福岡 博孝 弁護士法人ふくざき法律事務所

SS6-2 田中千津子 一般社団法人在宅看護センター関西

SS6-3 赤瀬 佳代 合同会社岡山在宅看護センター晴

SS6-4 武 ユカリ 森ノ宮医療大学看護学部

デモンストレーション

デモンストレーション

こんなデイサービスがあっても良いと思いませんか？
劇団そいでよかさ Presents「夜型デイサービス体験」

【長崎企画】

6月15日（日）12：40～14：10 イベント・展示ホールA

座長 宮崎 久美 長崎県看護協会訪問看護ステーション

座長 池上 由起 長崎市医師会保健福祉センター訪問看護事業所

劇団そいでよかさ

市民公開講座

市民公開講座 映画『人生をしまう時間（とき）』上映会

6月15日（日）16：30～18：30 第1会場「2F コンベンションホール4」

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1 適切な腎代替療法選択の重要性 ～現状と今後の普及啓発を考える～

6月14日（土）12：00～13：00 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 西野 友哉 長崎大学病院

LS1-1 通院困難なときの腎代替療法選択

河原崎宏雄 帝京大学医学部附属溝口病院

LS1-2 治療をしたい場所から選ぶこれからのCKD治療

雁瀬 美佐 NPO法人 腎臓サポート協会

共催：テルモ株式会社

ランチョンセミナー 2

6月14日（土）12：00～13：00 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 原 正樹 東京透析フロンティア 池袋駅前クリニック

LS2-1 慢性腎臓病の在宅治療～どうやって何を選ぶの？～

政金 生人 医療法人清永会 矢吹病院

共催：日機装株式会社

ランチョンセミナー 3

6月14日（土）12：00～13：00 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 後藤 幸子 医療法人カーサミア やまおか在宅クリニック

LS3-1 在宅人工呼吸ケアー急性呼吸管理からのパラダイムシフト！イナーシャを断つ！ー

武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック

共催：チェスト株式会社

ランチョンセミナー 4 在宅医療で使える！水あめの浸透圧を応用した創傷被覆材ーATKパッドー

6月14日（土）12：00～13：00 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 木下 幹雄 TOWN訪問診療所

LS4-1 在宅褥瘡治療、迷宮からの脱出糸口を探せ！多職種連携の「最強アイテム」になるかも!?

松田 友美 山形大学医学部看護学科

LS4-2 褥瘡・創傷ケアの在宅における「創傷被覆材」のお悩み解決
～ATKパッドによる負担の少ないシンプルなケアの提案～

中川 明子 宮城厚生協会坂総合病院

共催：オカモト株式会社

ランチョンセミナー 5 在宅医療における爪白癬診療の統合的アプローチ

6月14日（土）12：00～13：00 第5会場「1F イベント・展示ホールA」
座長 竹中 基 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科皮膚病態学分野

LS5-1 在宅患者の全身管理を行う上での足を管理する重要性とは
高瀬 義昌 医療法人社団至高会たかせクリニック

LS5-2 患者さんの足、見えますか？一足爪白癬を中心にー
服部 尚子 なおこ皮膚科クリニック

共催：マルホ株式会社／科研製薬株式会社

ランチョンセミナー 6

6月14日（土）12：00～13：00 第6会場「1F 会議室102」
座長 石垣 泰則 医療法人社団悠輝会コーラルクリニック

LS6-1 本邦におけるライソゾーム病における在宅酵素補充療法の現状 ～実践例を踏まえ～
山川 裕之 慶應義塾大学病院 予防医療センター／循環器内科

共催：サノフィ株式会社

ランチョンセミナー 7

6月14日（土）12：00～13：00 第7会場「1F 会議室103」
座長 小鳥居 望 小鳥居諫早病院

LS7-1 高齢者の不眠症治療戦略 ー在宅における留意点も含めてー
鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系精神医学分野

共催：エーザイ株式会社

ランチョンセミナー 8 神経難病患者の人工呼吸器管理と排痰補助

6月14日（土）12：00～13：00 第8会場「1F 会議室107」
座長 岡田 雅彦 みさかえの園あゆみの家

LS8-1 神経難病患者の呼吸器使用の現状について
富永奈保美 国際医療福祉大学市川病院

LS8-2 疑問解決！排痰補助 ～機械的排痰の温故知新～ アンケート・WEBセミナー報告
浅川 孝司 国際医療福祉大学

共催：株式会社フィリップス・ジャパン

ランチョンセミナー 9

6月14日（土）12：00～13：00 第9会場「1F 会議室108」
座長 安中 正和 安中外科・脳神経外科医院

LS9-1 生活を支える在宅漢方
山口 竜司 山口診療所

共催：株式会社ツムラ

ランチョンセミナー 10

6月14日（土）12：00～13：00 第10会場「1F 会議室101A」

座長 下川 満美 国立病院機構 福岡病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師

LS10-1 在宅酸素療法患者のQOL向上を目指した看護ケア—セルフマネジメント支援とACP—

竹川 幸恵 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター

共催：株式会社星医療酸器

ランチョンセミナー 11 人生の最終章における在宅での創傷治療を考える -一歩踏み出すためのヒント-

6月15日（日）11：30～12：30 第1会場「2F コンベンションホール4」

座長 木下 幹雄 TOWN訪問診療所 理事長

LS11-1 NPWTのコツを知れば案外イケます！-不器用内科医の取り組んだ実際-

坂尾 直子 さかお訪問クリニック 院長

LS11-2 在宅療養ならではの創傷管理のポイント-終末期の創傷を含めたケア-

吉本 大樹 TOWN訪問診療所 城南院 皮膚・排泄ケア特定認定看護師

共催：スミス・アンド・ネフュー株式会社

ランチョンセミナー 12 医師にインタビュー！外部サービスで描く在宅医療クリニックの未来のカタチ

6月15日（日）11：30～12：30 第2会場「2F コンベンションホール3」

座長 加藤 亮一 株式会社プロアス

座長 海老江祐二 株式会社プロアス

LS12-1 在宅療養支援診療所におけるAI活用事例～音声入力からカルテ自動生成まで～

渡邊 栄彦 はあと在宅クリニック

LS12-2 在宅医療クリニックの継続運営を支えるレセプトアウトソーシングの実際を、医師インタビューで深掘り！

川畑 仁貴 大阪鶴見ひなた内科・在宅クリニック

共催：株式会社プロアス

ランチョンセミナー 13 最新AIでここまでできる！在宅医療現場のAI活用術とリテラシー教育

6月15日（日）11：30～12：30 第3会場「2F コンベンションホール2」

座長 神山 一行 港北ニュータウン診療所

LS13-1 「最新AIでここまでできる！在宅医療現場のAI活用術とリテラシー教育」

内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック

LS13-2 やまと診療所のAI活用術

安井 佑 TEAM BLUE

共催：NTTプレシジョンメディシン株式会社

ランチョンセミナー 14

6月15日（日）11：30～12：30 第4会場「2F コンベンションホール1」

座長 村山 典久 一般社団法人メディカルRPA協会

LS14-1 在宅診療におけるAI・RPA等活用によるDX革命～実践事例紹介～

楠本 拓生 楠本内科医院

河野精一郎 浅川学園台クリニック

共催：オープン株式会社

ランチョンセミナー 15 重症筋無力症治療の最前線と訪問看護の役割

6月15日（日）11：30～12：30 第5会場「1F イベント・展示ホールA」

座長 櫻井 謙三 聖マリアンナ医科大学

LS15-1 在宅治療で闘う重症筋無力症 ーリスティゴで切り開く新時代ー

櫻井 謙三 聖マリアンナ医科大学

LS15-2 重症筋無力症の在宅治療をサポートする ～訪問看護の立場から～

中島 朋子 東久留米白十字訪問看護ステーション

共催：ユーシービージャパン株式会社

ランチョンセミナー 16 在宅ハイフローセラピーについて

6月15日（日）11：30～12：30 第6会場「1F 会議室102」

座長 武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック

LS16-1 在宅ハイフローセラピーの有効性と課題～保険適用となり分かってきたこと～

永田 一真 神戸市立医療センター中央市民病院呼吸器内科

LS16-2 こうすればうまくいく！高流量鼻カニューラ導入のスキル
～どのように導入し、どうフォローするか？～

鬼塚真紀子 大阪はびきの医療センター

共催：帝人ヘルスケア株式会社／
フィッシャー&パイクヘルスケア株式会社

ランチョンセミナー 17 希少血液疾患（血友病）における在宅医療

6月15日（日）11：30～12：30 第7会場「1F 会議室103」

座長 天野 景裕 東京医科大学 臨床検査医学分野

LS17-1 血友病の医療費助成制度

大竹口幸子 東京医科大学病院 医療福祉相談センター

LS17-2 血友病患者の在宅医療を支える多職種連携チームの構築

辻川 昭仁 辻川ホームクリニック

共催：サノフィ株式会社

ランチョンセミナー 18

6月15日（日） 11：30～12：30 第8会場「1F 会議室107」

座長 佐々木 淳 医療法人社団悠翔会

LS18-1 在宅エコーがもたらす経済効果と今後の展望：患者・医療者・社会への三方良しの実現

植村 和平 利尻島国保中央病院

共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー 19 なぜ今おうち透析（腹膜透析）なのか？ 在宅医がおうち透析を診る意義

6月15日（日） 11：30～12：30 第9会場「1F 会議室108」

座長 西野 友哉 長崎大学病院

LS19-1 専門医と在宅医との密接な連携による高齢腹膜透析患者の管理～それぞれの立場から考える～

櫻田 勉 聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科

LS19-2 専門医と在宅医との密接な連携による高齢腹膜透析患者の管理～それぞれの立場から考える～

大橋 博樹 医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック

共催：株式会社ヴァンディブ

ランチョンセミナー 20 在宅医療とワクチンの新たな視点—経験から学び、エビデンスで考える

6月15日（日） 11：30～12：30 第10会場「1F 会議室101A」

座長 泉川 公一 長崎大学病院 総合感染症科・感染制御教育センター

LS20-1 在宅医療現場からみた感染症の現状とワクチン接種の課題

安中 正和 安中外科・脳神経外科医院

LS20-2 日本の高齢者医療現場における感染予防管理（ワクチンを中心に）の現状と課題

田中 健之 長崎大学病院 総合感染症科・感染制御教育センター

共催：モデルナ・ジャパン株式会社

一般演題（口演）

一般演題(口演)1

優秀演題1

6月14日（土）8：30～9：30 第8会場「1F 会議室107」

座長 森 清 東大和ホームケアクリニック

座長 鶴岡 優子 つるかめ診療所

- O-1-1 大規模震災に地域で備える自助・近所・共助
ー地区医師会を巻き込んだ地域包括圏域の災害への取り組みー
小原 章央 医療法人 社団 都会 渡辺西賀茂診療所/一般社団法人 京都北医師会
- O-1-2 入院前の在宅医療有無別にみた誤嚥性肺炎の入院症例における入院状況と退院時アウトカム
～DPC全国データを用いた解析～
桜澤 邦男 東北大学大学院 医学系研究科 公共健康医学講座 医療管理学分野
- O-1-3 多頭飼育問題から人と動物の共生社会について考えて行動してみた
清藤 千景 医療法人清藤クリニック
- O-1-4 「喜入セブン」～認知症になっても安心して住み続けられる町を目指す取り組み～
一氏 慈人 医療法人浜友会 きいれ浜田クリニック
- O-1-5 在宅医療での肺炎に対するラスクフロキサシンの使用経験：Case series study
角 允博 ふれあいファミリークリニック
- O-1-6 在宅患者の往診は予測できるか～救急受診リスクスコアの応用と検証～
大野 孝生 みどり訪問クリニック/藤田医科大学病院 救急医学・総合内科学講座

一般演題(口演)2

優秀演題2

6月14日（土）9：30～10：10 第8会場「1F 会議室107」

座長 森 清 東大和ホームケアクリニック

座長 鶴岡 優子 つるかめ診療所

- O-1-7 在宅医療に関わる薬剤師のコンピテンシーモデルの作成
井手口直子 帝京平成大学薬学部
- O-1-8 在宅療養の訪問診療患者における鉄欠乏性貧血と生命予後
平塚 真紀 みどり訪問クリニック/名古屋市立大学大学院 医学研究科 腎臓内科学
- O-1-9 訪問看護師の「職場継続意向」「訪問看護継続意向」「看護師継続意向」の関連要因
片岡 千晶 訪問看護ステーションぬくもりポート
- O-1-10 へき地尺度と在宅医療サービス利用には負の相関がある：NDBオープンデータを用いた生態学的研究
柴田 真志 額田病院 総合診療科

一般演題(口演)3

人材育成・教育

6月14日（土）10：15～10：55 第8会場「1F 会議室107」

座長 伊藤 博明 鶴巻温泉病院

- O-1-11 当院の在宅医育成プログラムにおけるKAIZENと実践
成瀬 佳子 みどり訪問クリニック
- O-1-12 「PDラスト」：緩和的腹膜透析普及に向けた実践と地域連携の構築
中村 健吾 在宅支援部
- O-1-13 医学部の学生実習を初めて受け入れた在宅療養支援診療所の取り組み
～看護・小多機・歯科・薬局など地域の多職種と連携したプログラムづくり～
三枝 正彦 医療法人社団やまぶき訪問クリニック

- O-1-14 在宅療養支援診療所医師の訪問看護における特定行為に対する認識
—認知度と依頼状況および依頼経験別にみた認識の比較—
富田真佐子 昭和大学大学院 保健医療学研究科/四国大学学際融合研究所

- O-1-15 T市における訪問看護師育成センターの活動報告 ～連携施設における実務研修について～
加納美代子 豊田地域医療センター 豊田訪問看護師育成センター

一般演題(口演)4

排尿・排便ケア・呼吸ケア

6月14日(土) 11:00～11:48 第8会場「1F 会議室107」

座長 杉本 由佳 すぎもと在宅医療クリニック

- O-1-16 在宅診療所における尿路カテーテルの実態調査
大川あさ子 はなまるクリニック
- O-1-17 便秘症スクリーニングにおける問診方法を問い直す：
「毎日排便はありますか？」という呪いからの解放
津田賀 俊 医療法人慶春会 福永記念診療所/医療法人慶春会 玄冬庵クリニック
- O-1-18 地域包括的排便ケアシステム構築に向けた実践活動の報告
山中 公介 きいれ浜田クリニック
- O-1-19 在宅酸素療法患者に対する遠隔モニタリング活用と酸素流量調整の実践報告
青木 康弘 プラーナクリニック呼吸器内科
- O-1-20 在宅用人工呼吸器および加温加湿器の消費電力測定
木村 政義 兵庫医科大学病院
- O-1-21 在宅医療におけるCOPD併存悪性腫瘍終末期症例に症状緩和として
在宅ネーザルハイフローセラピーを実施した経験
福本 和彦 磐田在宅医療クリニック

一般演題(口演)5

ACP・意思決定・医療・ケアの質

6月14日(土) 13:10～14:06 第8会場「1F 会議室107」

座長 新屋 洋平 ゆい往診クリニック

- O-1-22 アドバンス・ケア・プランニング(ACP)のきっかけづくりとなる「元気なうちから手帳」を介して、
本人の意思表出と多職種連携を支援したケアマネジャーによる一事例
平畑 隆寛 ケアプランセンター結糸
- O-1-23 間質性肺炎と肺高血圧症を抱える終末期患者へのリハビリテーションアプローチ
～小さな成功体験の積み重ねを通じて～
青木 千茄 LiC訪問看護ステーション
- O-1-24 新たなボードゲームを活用し、行政と協働しながらACP普及・啓発活動を行った事例
横田 達之 医療法人社団おうちの診療所
- O-1-25 固形腫瘍患者への在宅輸血治療に対する患者側の評価～遺族アンケート調査から～
山田 真弓 トータス往診クリニック/NPO血液在宅ねっと
- O-1-26 ※取り下げ
- O-1-27 医療の質・経営を測るための“攻め”の「在宅データ提出」活用
甲 浩子 おうちの診療所 中野/おうちの診療所 目黒
- O-1-28 当院での耳鏡を使用し診断、改善に至った症例の検討
船田昌太郎 訪問診療わっしょいクリニック

一般演題(口演)6

緩和ケア・看取り

6月14日(土) 14:10～14:50 第8会場「1F 会議室107」

座長 江口幸士郎 医療法人みらい 今立内科クリニック

- O-1-29 適切な多排泄量回腸ストーマケアと栄養管理によりQOLが改善した在宅がん緩和ケアの一例
土屋 博 医療法人 みどり訪問クリニック
- O-1-30 当クリニックに紹介された末期癌患者の訪問診療開始時の血清CRP値、血清アルブミン値と生存期間の関係
泉本 浩史 医療法人社団和啓会 メディクス草加クリニック
- O-1-31 食事量の変化が教えてくれる生命予後 ―在宅緩和ケアにおける経口摂取量による予後予測の検討―
土橋 映仁 医療法人社団悠翔会在宅クリニック北千住
- O-1-32 専門的緩和ケアと基本的緩和ケアを実践する民間の多職種協働による地域緩和ケアのひとつの形
渡辺 邦彦 在宅ほすびす
- O-1-33 日本人の死生観が精神的健康に及ぼす影響～在宅死関連の大規模調査から～
日吉 和子 太成学院大学

一般演題(口演)7

他職種連携・職種別

6月14日(土) 14:55～15:51 第8会場「1F 会議室107」

座長 矢崎 一雄 医療法人財団老蘇会静岡館診療所

- O-1-34 褥瘡管理を通し多職種連携の重要性を再確認した一症例
細矢 康子 株式会社わかば在宅支援センター わかば訪問看護ステーション
- O-1-35 有人離島における多職種連携によるがん患者の看取り支援：診療看護師(NP)の役割
伊藤 健大 合同会社 wellbeing 訪問看護ステーション ウェルビー
- O-1-36 在宅・生活期分野で活動する医療介護専門職による思いを叶える旅行支援
～地域と連携したユニバーサルツーリズム研修の取組み～
鈴木 洋平 トラベルwithじぇぶと/株式会社ライク・ア・マジックアワー
- O-1-37 不登校児童に対する在宅訪問診療における多職種連携について―社会福祉士からの視点で―
山崎 舞 医療法人社団ユニメディコ
- O-1-38 医療・福祉・介護・行政などの専門職をつなぐ「多職種連携プラットフォーム」を活用して、
被災後の事業所の稼働状況を共有する仕組みを構築する取り組みについて
池田 寛 豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし/藤田医科大学 地域包括ケア中核センター/
藤田医科大学 居宅介護支援事業所/藤田医科大学病院 医療連携福祉相談部
- O-1-39 在宅療養高齢者の服薬管理における薬看連携の実態と今後の課題
梶屋絵理子 大阪大学
- O-1-40 在宅医療についての意識調査～A市医師会の在宅医療における10年のあゆみ～
浅野 光一 医療法人光陽会 あさの胃腸内科クリニック

一般演題(口演)8

食支援・栄養・リハビリ・褥瘡ケア

6月14日(土) 15:55～16:51 第8会場「1F 会議室107」

座長 猪原 健 医療法人社団敬崇会 猪原「食べる」総合歯科医療クリニック

- O-1-41 在宅皮下輸液でどこまで対応可能か？
鈴木 央 鈴木内科医院
- O-1-42 訪問整形外科診療による骨粗鬆症への治療介入の意義と課題
巻島由紀子 トータス往診クリニック
- O-1-43 終末期心不全患者へ訪問リハの導入を増やすための取り組み
宮本 桃世 東大和ホームケアクリニック

- O-1-44 多方面が学び合う連携の場「カムカム会」の第一歩とその成果 ～地域に根ざした食支援活動～
市川 美佳 行田中央総合病院
- O-1-45 「南庄内・たべるを支援し隊」の活動報告
三原 一郎 南庄内・たべるを支援し隊 三原皮膚科
- O-1-46 当院が在宅にて実施した胃瘻交換症例の検討～バンパー型からバルーン型への移行を含めて～
岡田 豊 つばさクリニック
- O-1-47 介護保険施設における褥瘡ケアの実態調査
石井 光子 石川県立看護大学

一般演題(口演)9

病診病病連携

6月15日(日) 16:55～17:51 第8会場「1F 会議室107」

座長 宇都宮宏子 在宅ケア移行支援研究所

- O-1-48 複数医療機関連携による在宅診療夜間・休日対応スキームの構築と運用実績
津田賀 俊 医療法人慶春会 福永記念診療所/医療法人慶春会 玄冬庵クリニック
- O-1-49 訪問看護での看護ケアの質向上を目的とした同行訪問の在り方
岩月まり子 春回会 出島病院 看護部
- O-1-50 公立病院間の医師派遣により実現した医療過疎地域での訪問診療体制
進藤 達哉 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 総合内科
- O-1-51 入退院時に着目した患者のACP情報連携に必要な情報項目と課題の探索
～患者が生きる上で重要だと感じていること等の情報をつなげるACP連携の実装化に向けて～
後藤 友子 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター病院
- O-1-52 大学病院における在宅医療への関わり
西村 信城 奈良県立医科大学附属病院
- O-1-53 在宅医療連携室の挑戦～患者支援とチームワークの新たな未来～
片山 玲香 村尾在宅クリニック
- O-1-54 認知症高齢者の入退院支援時の情報共有の実態と課題 一入院関連機能障害の予防に貢献する情報の検討一
進藤真由美 信州大学医学部保健学科看護学専攻

一般演題(口演)10

精神疾患・がん・難病・臓器不全

6月15日(日) 8:00～8:56 第8会場「1F 会議室107」

座長 三村 卓司 社会医療法人 緑社会 金田病院

- O-2-1 初診時に薬剤性パーキンソニズムを疑い、原因薬剤中止で症状改善した3例
清水 淳 医療法人社団明正会 ウェルコンパス城南クリニック
- O-2-2 在宅療養中AYA世代がん患者のアピアランスケアに対する薬剤師の役割
飯田 紗希 東京薬科大学
- O-2-3 筋萎縮性側索硬化症(ALS) に対する訪問診療例の検討
石川 成美 あい太田クリニック
- O-2-4 在宅ALS患者への経皮スコポラミン配合薬使用の経験
山田 毅 医療法人社団すまいる やまだホームケアクリニック
- O-2-5 ライソゾーム病患者における在宅酵素補充療法の現状
澁谷 泰介 医療法人社団ユニメディコ
- O-2-6 透析患者が最期を自宅で過ごすための病診・多職種連携の試みと課題
松田 浩明 つばさクリニック岡山
- O-2-7 在宅医との連携強化による腹膜透析患者の死亡場所の変化
岡 英明 松山赤十字病院

一般演題(口演)11

ICT/事業所運営

6月15日(日) 9:00～9:56 第8会場「1F 会議室107」

座長 駒田 雄一 駒田医院

- 0-2-8 在宅医療界の働き方改革。AI自動要約とクラウドPBXシステム活用した医師業務効率化の効果について
梁木 理史 村尾在宅クリニック/東京女子医科大学病院 麻酔科学教室
- 0-2-9 他事業所とのICTを活用した情報連携の定着に向けた取り組みとその課題
長畑 雄大 つばさクリニック岡山
- 0-2-10 RPAによる訪問診療業務効率化の実例
緒方 彩人 訪問診療わっしょいクリニック
- 0-2-11 「在宅医療情報連携加算」算定対応：RPA活用による業務効率化事例
山戸 啓佑 医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック
- 0-2-12 当院の事務作業における無償版RPAツールPower Automate desktopの活用
原田 紳介 ゆう在宅クリニック旭
- 0-2-13 障害者とともに地域共生社会を目指す。有床診療所の可能性と未来。
安中 文 安中外科・脳神経外科医院
- 0-2-14 訪問看護AI導入で拓く在宅ケア新時代 超高齢・広域対応エリアで実現した訪問看護DXと人材確保への挑戦
藤沢 武秀 ごてんまり訪問看護ステーション

一般演題(口演)12

研究

6月15日(日) 10:00～10:40 第8会場「1F 会議室107」

座長 土屋 邦洋 いろは在宅ケアクリニック

- 0-2-15 ※取り下げ
- 0-2-16 在宅医療下の高齢者患者の転倒事例から検証した気象の影響：予防原則的対策の検討
黒岩 義之 医療法人社団和啓会メデイクスクリニック溝の口
- 0-2-17 在宅歯科診療受療者の現状およびQOLと栄養状態に与える因子の検討
手銭 ひろ 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
- 0-2-18 在宅医療における処方薬剤数と医師の診療負担感との関連：多施設共同研究
舩本 祥一 筑波大学医学医療系/つくばセントラル病院
- 0-2-19 当院における在宅療養患者に対する在宅輸血の有効性に関する報告
天木 惇 さんりつ会 そうわ堀之内クリニック

一般演題(口演)13

小児・地域包括システム・地域づくり・その他

6月15日(日) 12:40～13:36 第8会場「1F 会議室107」

座長 三浦 邦久 医療法人伯鳳会東京曳舟病院救急科

- 0-2-20 両親の協力が得られない1型糖尿病の学童期と関わった訪問看護師の支援を振り返る一例
平田 桂子 訪問看護ステーションルイシス
- 0-2-21 佐賀県における看護職員向け小児在宅医療支援講習会の取り組みについて
小野 直子 ひらまつ在宅クリニック
- 0-2-22 離島における多職種連携と地域連携 ～石垣島での在宅医療文化醸成に向けた取り組み～
岡本 淳一 医療法人社団悠翔会 とうもーる診療所

- O-2-23 小さなクリニックの「待合室カフェ」～活動紹介と今後の展望～
野尻 明子 医療法人 清藤クリニック
- O-2-24 地域高齢者が集える食堂をクリニックが開設して～「アーバンちいき食堂」1年間の活動報告～
楮畑 光平 桜新町アーバンクリニック
- O-2-25 訪問診療での白内障手術の実現 ～眼科ドクターカーの運用～
小出 健郎 小出眼科
- O-2-26 二次救急医療機関の救急外来からの「訪問看護」による在宅療養支援活動報告
北浦利恵子 公立福生病院

一般演題(口演)14

医療安全・災害対策

6月15日(日) 13:40～14:36 第8会場「1F 会議室107」

座長 斉藤 康洋 GPクリニック自由が丘

- O-2-27 在宅医療従事者の脱水リスク軽減に向けた診療所内研究の第1報
～安心して働ける環境、意識していますか～
長田 由美 医療法人結 結ファミリークリニック
- O-2-28 日常生活へ影響を与える転倒と影響を与えない転倒の特徴：在宅医療・介護従事者へのインタビュー調査
野口麻衣子 東京科学大学大学院 在宅・緩和ケア看護学
- O-2-29 災害時・非常時の医療・介護専門職が目指す姿の検討と今後の方向性確認の取組
小林 優子 尼崎市医療・介護連携支援センター
- O-2-30 GISを用いた石川県指定避難所の洪水リスク評価
中井 寿雄 高知県立大学看護学部
- O-2-31 ※取り下げ
- O-2-32 臨床工学技士による在宅人工呼吸器の停電対策
阿部 博樹 (医) 康曜会プラナーナクリニック
- O-2-33 津波リスクを考慮した福祉避難所の機能評価 GIS分析と現地調査による宮崎市の事例
板谷 智也 宮崎大学医学部看護学科

一般演題 (ポスター)

一般演題(ポスター)1

ACP・意思決定1

6月14日(土) 8:30～9:20 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 児玉麻衣子 オレンジホームケアクリニック

- P-1-1 訪問診療導入時の取り組み～事務員が実施する患者・家族との事前面談～
中嶋 啓仁 守上クリニック
- P-1-2 方針が固まっていない方への急変対応
矢ヶ崎秀彦 医療法人あい ハンディクリニック
- P-1-3 訪問看護におけるACPと終末期ケア ～その人らしい最期を看取る～
岸野美由紀 社会医療法人河北医療財団
- P-1-4 ACPと地域連携で自宅看取りを行えた高齢透析患者の1例
東 桂史 楠本内科医院
- P-1-5 多職種連携で退院困難を解決できた事例 ～夫婦参加型の多職種連携として～
大川原直子 丸玉木材株式会社 津別病院
- P-1-6 医療ソーシャルワーカーにおける若年心不全患者の療養生活支援の実際と課題
邑山 菜月 ゆみのハートクリニック

- P-1-7 在宅での終末期がん患者への鎮静導入に関する意思決定支援～多職種へのアンケート調査より～
奥山慎一郎 訪問診療クリニックやまがた
- P-1-8 老々介護からみえてきた問題点
宮崎 久美 長崎県看護協会訪問看護ステーション
- P-1-9 住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい思いを支えるために
牧野亜希子 函館稜北病院
- P-1-10 血液透析患者に対する Shared Decision Making (SDM) の実践
～透析時間の短縮を望む高齢患者へのアプローチ
松本 愛 看護部

一般演題(ポスター)2

ICT 1

6月14日(土) 8:30～9:20 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック

- P-1-11 AIツールを活用した物品の在庫管理及び使用期限チェックの自動化ツールの構築
東 桂司 医療法人もみじ ホームケアクリニックもみじ
- P-1-12 外来および在宅診療における分身ロボット活用の可能性
前田 淳子 医療法人社団なつみ会まえたクリニック
- P-1-13 在宅生活延伸に向けたセンサー活用による活動量の定量的評価と効果
木下 公大 社会医療法人 河北医療財団 多摩事業部
- P-1-14 施設におけるオンライン診療併用の定期診療の導入経験
真船 太一 医療法人社団平郁会みんなの日立クリニック
- P-1-15 滋賀県内の訪問看護事業所を対象としたオンライン診療支援に対する意識調査から見た
情報通信技術における非対称性の考察
中森 幸雄 事務局/京都橘大学大学院現代ビジネス研究科マネジメント専攻
- P-1-16 生成AI活用による訪問看護記録システムからメタ思考生成AIへの革新
藤沢 武秀 ごてんまり訪問看護ステーション
- P-1-17 言語的障壁のある肺腺がん脳転移患者がデキサメサゾン投与による高血糖症を呈し、
在宅でフラッシュグルコースモニタリング(FGM)を用いインスリン導入を行った1例
加藤 大翔 医療法人社団 同善会 同善病院
- P-1-18 A市における医療情報連携ネットワーク普及の今後の課題
井藤 直美 名古屋市はち丸在宅支援センター
- P-1-19 在庫管理DX化のはじめの一步 在庫量の適正化とかんたん発注
佐藤夏菜子 医療法人MoLead つながるクリニック
- P-1-20 手持ち細隙灯顕微鏡を使用した在宅医療で発見した眼脂患者の発見と治療
西村 裕樹 医療法人慶眼会横浜けいあい眼科和田町院/株式会社 OUI

一般演題(ポスター)3

多職種連携 1

6月14日(土) 8:30～9:20 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 谷水 正人 社会医療法人仁友会南松山病院

- P-1-21 船橋市難病対策地域協議会の今までとこれから
～難病患者療養生活のおたすね票集計結果などをもとにした考察～
星野 将隆 船橋総合病院脳神経内科
- P-1-22 入退院時の連携ルールのブラッシュアップ
小林 優子 尼崎市医師会

- P-1-23 多職種連携ツールを用いて専門性を生かした提案を行うことで患者の症状改善、薬剤減薬に繋がった一例
浪岡 真行 アップル薬局 自治医大前店
- P-1-24 A地域居宅介護支援事業所における3事業所合同会議についての実践報告
丸山加寿子 森ノ宮医療大学
- P-1-25 当院の在宅血液透析のチーム医療体制について
川畑 勝 医療法人社団東京透析フロンティア 看護部
- P-1-26 クリニック連携室の導入
慶野 裕米 医療法人あい ハンディクリニック
- P-1-27 訪問診療専門クリニックにおける新規受け入れの実態と連携センターの役割
大崎佳代子 あい駒形クリニック
- P-1-28 ケアマネジャーの医薬品情報に関する実態調査
下村 文恵 一般社団法人くすりの適正使用協議会
- P-1-29 心不全パンデミックに立ち向かうための地域連携の重要性～多職種が参加できる勉強会の開催～
露木 義章 おかにし内科 糖尿病・甲状腺クリニック
- P-1-30 訪問看護師とクリニック間の連携強化に向けた課題と展望
白川 大晃 医療法人双樹会守上クリニック

一般演題(ポスター)4

ACP・意思決定2

6月14日(土) 9:30～10:20 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 川口 篤也 函館稜北病院 総合診療科

- P-1-31 死を語る地域向けACP:「縁起でもない話をしよう会」による死生観醸造の取り組み
濱田 努 きいれ浜田クリニック
- P-1-32 終末期がん患者、家族の意思決定支援～揺れる気持ちに寄り添って～
瀬口 里美 小林市立病院訪問看護ステーション
- P-1-33 意思疎通困難な難病患者へのACP介入:家族と本人をつなぐ支援
稲垣 りさ LIC訪問看護リハビリステーション
- P-1-34 下肢創傷を繰り返す患者の退院調整と在宅療養支援での関わり～考え方が頻繁に変わる患者の価値観～
幸田 宏美 丸玉木材株式会社 津別病院
- P-1-35 住み慣れた医療過疎地域で最期を迎える～4世代家族に関わって～
宮崎 久美 長崎県看護協会訪問看護ステーション
- P-1-36 当院でのACPの取り組み
南 大揮 みなみ在宅クリニック
- P-1-37 「暮らしの中で逝く」を支える～訪問看護師としての取り組み～
日下部 藍 佐野市民病院 訪問看護ステーション あその郷
- P-1-38 精神疾患・身体疾患に対応する訪問看護の緊急対応に関する文献検討
米原 拓也 小岩事業所
- P-1-39 訪問診療がもたらす支援～簡易宿泊所に暮らす独居高齢者の症例～
金杉 裕太 同善病院

一般演題(ポスター)5

ICT2

6月14日(土) 9:30～10:20 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 木村 幸博 もりおか往診ホームケアクリニック

- P-1-40 請求書発行システムを利用した在宅診療における請求書発行業務のWeb化
野田 慎也 医療法人社団 奉志会

- P-1-41 リアルタイムなエコー画面共有を用いたオンライン診療 (D t P w N) の試み
秋本 悦志 医療法人 秋本クリニック
- P-1-42 当院における在宅癌末期患者に対するハイブリッド型PCAポンプを用いた疼痛管理についての検討
澤田慎太郎 やまだホームケアクリニック
- P-1-43 無料・簡単・安全に！訪問診療クリニックがRPAを導入して業務効率化を実現した実践報告
林 佑哉 医療法人双樹会よしき往診クリニック
- P-1-44 在宅医療におけるオンコール対応のAI組み込みによる業務負担軽減の研究
林 佑樹 医療法人社団プラタナス 松原アーバンクリニック
- P-1-45 ICTでつながる安心：バイタルリンクによる多職種連携の進化
足立 奈菜 そよかぜ診療所
- P-1-46 在宅点滴管理の効率化と安全性向上を目指した点滴モニタリングシステムの導入
八森 淳 医療法人MoLead つながるクリニック
- P-1-47 ICTを活用した在宅多職種訪問スケジュール管理について
町田 隆義 医療法人社団ユニメディコ 業務改善委員会
- P-1-48 緩和ケア対象の在宅療養患者における睡眠計測センサーの活用と課題
ー在宅医療の質向上と遠隔診療への可能性ー
久保 裕樹 法人看護局

一般演題(ポスター)6

多職種連携2

6月14日 (土) 9:30～10:20 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 望月 弘彦 相模女子大学 栄養科学部 管理栄養学科

- P-1-49 YOUは何しにどこへ？認知症による徘徊などの周辺症状があり、誰もが在宅生活は限界だと思われたが、徘徊の原因を探ることで最期まで自宅で過ごすことができた事例。
安井 純子 居宅介護支援センター ファミリア神戸
- P-1-50 地域在宅医療の推進～在宅医療の第一歩を踏むために～
石井 新平 クオール薬局雨ヶ谷店
- P-1-51 通院困難、体位保持困難な閉塞隅角症例に対し、周辺部虹彩切除術が有効であった1例
清水 映輔 医療法人 慶眼会 横浜けいあい眼科 和田町院/株式会社OUI
- P-1-52 訪問看護師の本音が知りたい～訪問診療看護師ができる看看連携の活動～
三明 和代 医療法人サンスター みつぼし在宅クリニック
- P-1-53 施設療養患者のナルフラフィンによるせん妄に多職種連携により早期対応できた一例
山口 奈々 龍生堂薬局大久保店
- P-1-54 医療施設型ホスピスにおける安全な輸血療法実施にむけての取り組み
岡田 美紀 株式会社アンビス
- P-1-55 多職種連携に向けた在宅医療連携室(拠点)の8年の取り組みと今後の課題
鈴木真知子 深谷寄居医師会
- P-1-56 看護師によるコールセンター設置の経験と考察
長尾 彩子 さくらクリニック
- P-1-57 高次脳機能障害を伴った独居・末期癌患者を家族・社会から距離を置かれたにもかかわらず在宅にて看取ることができた一例
濱谷 弘康 あいクリニック診療科
- P-1-58 期待を理解し紡ぐ未来～架け橋としての在宅診療PAが効果を感じた活動の報告～
白川 大晃 医療法人双樹会守上クリニック

一般演題(ポスター)7

職種別 1

6月14日(土) 10:30～11:25 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 田中 登美 大阪成蹊大学 看護学部

- P-1-59 障害者が地域で暮らし続けるための地域における相談援助専門職の活動報告
長谷 有紗 株式会社町コム
- P-1-60 在宅療養支援診療所薬剤師 はじめの一步
草場 里奈 医療法人やまとコールメディカル福岡
- P-1-61 過疎地域でのアウトソーシングによる在宅検査の実施
小林健一郎 合同会社RADICAID
- P-1-62 あい駒形クリニックにおける耳鼻科往診の取り組み
高橋 秀行 医療法人あい友会 あい駒形クリニック
- P-1-63 調剤薬局での非薬剤師が行う在宅医療コーディネーターの業務と今後の可能性について
藤田 龍 日本調剤株式会社 在宅医療部
- P-1-64 薬局薬剤師は在宅医療介護において何ができるのか、訪問診療に同行することで何がかわるのか。
原 丈晴 アイ調剤薬局
- P-1-65 薬剤師による服用回数削減の取り組み～独居認知症の方へのアプローチ～
高岡 友子 ヤックスドラッグ薬局佐原店
- P-1-66 病院薬剤師の初回訪問診療同行による薬剤数への影響
山田 和司 手稲溪仁会病院 薬剤部
- P-1-67 施設在宅における薬剤師介入による服用回数削減の1例
石橋 政人 千葉薬品 ヤックスドラッグ
- P-1-68 多職種連携の実践による病院薬剤師による在宅患者訪問薬剤指導
関本 司 医療法人社団 積信会 長谷川病院
- P-1-69 相談員が繋げる在宅診療～依頼から初診までにできること～
藤本 直也 医療法人サンスター みつぼし在宅クリニック

一般演題(ポスター)8

多職種連携3

6月14日(土) 10:30～11:25 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 餅原 弘樹 医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック

- P-1-70 多職種で連携して様々に変わる病状と気持ちに寄り添い続けたIgG4関連硬化性胆管炎の症例
星野 拓磨 東苗穂病院
- P-1-71 住宅型有料老人ホームにおける腹膜透析患者受け入れの一例
石川 卓也 住宅型有料老人ホーム伊豆の恵函南
- P-1-72 機能強化型在宅療養支援診療所における法人内摂食嚥下勉強会について
～管理栄養士とリハビリ職の連携を中心に～
渡部 弥生 医療法人社団ユニメディコ
- P-1-73 長崎県西海市における診療看護師(NP)と医師のペア診療による
在宅医療の実践と共同管理(comanagement)の成果
永田 純一 大島ながたクリニック
- P-1-74 在宅人工呼吸器をつけながら「分けてあげたいぐらいしあわせ」な一例の実践報告
高田 賞子 医療法人 浜友会
- P-1-75 豊田市における地域共生社会の実現に向けた多職種情報交換会の取り組み
福元 聡史 トヨタ記念病院 栄養科

- P-1-76 訪問診療同行看護師の役割とは～重症心不全患者との関りを通して～
武田 成美 医療法人 清藤クリニック
- P-1-77 「看護と介護の連携で築いた“最期の安心”～介護士との連携が在宅看取りに影響を与えた事例報告～」
中瀬 美穂 株式会社CareCreation ケアクリ看護センター
- P-1-78 地域医療連携ICTネットワーク活用による在宅医を中心とした転移性乳癌患者に対する多職種連携の1例
松本 恵 日本赤十字社 長崎原爆病院
- P-1-79 認知症を有した独居の2型糖尿病患者への院内外多職種での支援
中村 優子 医療法人重工記念長崎病院

一般演題(ポスター)9

病診病病連携

6月14日(土) 10:30～11:25 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 北田 雄太 あおばおうちクリニック

- P-1-80 本人・家族の意向に寄りそう外来在宅共同指導の体制構築
金築 泰子 島根県立中央病院
- P-1-81 病院MSWから在宅MSW～私が気づいたこと。あの時こう伝えればよかった～
渡辺 華央 医療法人サンスター みつぼし在宅クリニック
- P-1-82 在宅医が大学病院緩和ケアチームで活動する意義～在宅緩和ケア地域連携バス「やわらぎ日記」の活用～
児玉麻衣子 オレンジホームケアクリニック/福井大学医学部附属病院緩和ケアチーム
- P-1-83 「かえりたい」をかなえる病診連携～A.S.A.P
畑中 絵里 茶屋町在宅診療所
- P-1-84 連携部発足による新規患者数の増加・診療時間短縮に関する効果の報告
岡部 麻美 杏クリニック
- P-1-85 地域連携室で相談を受け、外来診療から在宅看取りまで関わった患者の検討
吉村 伊織 医療法人社団樺の葉ホームクリニックみまた
- P-1-86 診療同行看護師交流会のはじまりからの発展と活動報告 ～幕張からの新しい1歩と未来～
手渡 和子 国立病院機構 千葉医療センター
- P-1-87 在宅医療連携強化のための病院救急車を利用した効率的な患者搬送の試み
門田 勝彦 順天堂大学医学部 救急災害医学講座
- P-1-88 当院における、新規患者問診シートの運用実績
山田恵利華 村尾在宅クリニック
- P-1-89 急性期病院と連携し、病院救急車を活用することで速やかに緊急性の高い状態を否定し、円滑に亜急性期医療に移行出来た1例
田村 健蔵 医療法人社団同善会 同善病院
- P-1-90 癌末期の退院支援から考えた看看連携のあり方
高野 美雪 セコム医療システム株式会社/セコムとしま訪問看護ステーション
- P-1-91 訪問診療同行看護師の役割、想いのやり取りが未来に繋ぐもの
—終末期患者を通して感じた看看連携の重要性—
野村 弥生 みつぼしリンククリニック

一般演題(ポスター)10

職種別2

6月14日(土) 13:10～14:00 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 久島 和洋 ドクターゴン鎌倉診療所

- P-1-92 現状の受け止めができない患者とその家族を支える～在宅看護師の立場から～
川瀬 恵実 医療法人 SIRIUS いしが在宅ケアクリニック

- P-1-93 **精神保健福祉士が初期から関わることで円滑な在宅医療導入が可能となった2症例と社会的困難事例に対応する今後の展望**
渡邊 桃子 医療法人あんず会 杏クリニック/地域連携部
- P-1-94 **診療放射線技師の単独訪問によって在宅医療の質が向上した2症例**
黄 幸揚 医療法人あんず会 杏クリニック 診療放射線科
- P-1-95 **日本版抗コリン薬リスクスケールを用いた在宅医療におけるせん妄の定量的評価**
能勢 悠介 医療法人双樹会 よしき往診クリニック
- P-1-96 **複数科受診中の認知症在宅患者における服薬管理困難：予期しない環境変化が誘因となった一例**
平戸 基輝 ひまわり薬局時津店
- P-1-97 **在宅療養支援診療所におけるクラークの役割**
石坂 唯 医療法人社団樺の葉 ホームクリニックみまた
- P-1-98 **在宅療養支援モニタリングシートの導入の取り組み**
安 浅美 株式会社AGRICARE 地域連携部
- P-1-99 **訪問診療における訪問ルート効率化への取り組みについて**
福村 彩乃 豊田地域医療センター
- P-1-100 **当院における訪問診療科の実情と展望**
島野江里佳 佐野市民病院 訪問看護ステーションあその郷
- P-1-101 **「訪問管理栄養士って？」～僻地の在宅訪問の重要性と問題点～**
富永 志保 医療法人社団 かえる会 在宅とつながるクリニック天草

一般演題(ポスター)11

多職種連携4

6月14日(土) 13:10～14:00 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 福本 和彦 磐田在宅医療クリニック

- P-1-102 **訪問診療を希望しクリニックにて新規相談受付したのち初診に至らなかった原因の考察**
大場 友美 訪問診療クリニックやまがた
- P-1-103 **独居患者へのアセスメント：強化すべきポイントの考察**
徳永 百香 松原アーバンクリニック
- P-1-104 **在宅復帰に向けた多職種連携における医療ソーシャルワーカーの役割**
小林 うた 社会医療法人 緑社会 金田病院
- P-1-105 **「つなぐ」力 ―地域住民と専門職の連携事例―**
柴原あゆみ ホームケアクリニック横浜港南
- P-1-106 **カラオケ企画を通じた社会的処方～介護サービスに頼りたくない思いを支える～**
西野 菜生 医療法人かがやき総合在宅医療クリニック
- P-1-107 **胆道感染を繰り返す透析患者の在宅療養を支える～病病連携、同一医療機関内での多職種連携の中で～**
村上真佐美 医療法人博愛会 額田病院
- P-1-108 **当院での在宅輸血に関する取り組み**
山崎 励至 松原アーバンクリニック
- P-1-109 **在宅医療の医薬品供給体制における地域の連携体制の現状**
藤田 珠理 薬局ホームケアファーマシー田無店
- P-1-110 **1人でも大丈夫！高齢化率42.6%の地域におけるオンライン診療導入の取り組み**
土屋 菜歩 やまと在宅診療所栗原
- P-1-111 **在宅診療所でのソーシャルワーカーの役割と存在意義**
杉村 円 医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス 地域連携部

一般演題(ポスター)12

多職種連携・病診病病連携

6月14日(土) 13:10～14:00 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 篠 美和 医療法人社団守成会 広瀬病院

- P-1-112 訪問看護とのカンファレンスによる多職種連携の有用性の検討
岡本 敬久 医療法人おひさま会
- P-1-113 訪問診療クリニックでの特定行為を活用した血糖管理
重原 真弥 やよい在宅クリニック
- P-1-114 在宅で取り組むポリファーマシー対策の手始め
白井ユリ子 医療法人おひさま会おひさまクリニック
- P-1-115 多職種で患者や家族に関わる『ケア会議』の実践とその可能性
島 由衣 やまと在宅診療所白石
- P-1-116 地域で支える身寄りのない認知症高齢者の支援
～専門職のみならず、民生委員や警察との連携で維持する在宅生活～
近藤 芳江 APLE 株式会社 居宅介護支援ハートサービス近藤
- P-1-117 外来通院に苦痛を伴う“痛院”患者への取り組み
松本 政実 医療法人社団 青楓会 西小牧クリニック
- P-1-118 訪問看護サービスにおける24時間の電話対応、緊急時対応の実態
～救急搬送に頼らず、安心して在宅療養が出来る環境を目指す～
齋藤 瑞穂 大久野病院訪問看護ステーション
- P-1-119 在宅医療クリニックからの救急搬送症例の現状分析：現場から見える課題と対応策
岡本 翔 たんぽぽクリニック
- P-1-120 在宅支援診療所における往診依頼対応における工夫
芳賀 紀裕 あい太田クリニック
- P-1-121 相談しやすいクリニックづくり～早期介入できるように何をすべきか～
久松 正倫 医療法人サンスター みつぼし在宅クリニック

一般演題(ポスター)13

事業所運営・経営1

6月14日(土) 14:10～14:55 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 天本 健司 ホームクリニックえにし

- P-1-122 看護師からPA(physician assistant)への診療同行のタスクシフトの効果と課題
岩野 歩 医療法人やまとコールメディカル福岡 コールメディカルクリニック福岡
- P-1-123 複数の訪問看護ステーションを運営する民間企業における管理者の体制づくり
組織内の統一管理手順書作成による管理者への効果
西山めぐみ SOUシニアケア株式会社
- P-1-124 在宅クリニックでの訪問リハビリテーション部門設立から3年間の振り返り
大西 徹也 訪問リハビリテーション
- P-1-125 地方において安定的に医師を採用するための取り組み
石賀 丈士 いしが在宅ケアクリニック
- P-1-126 セキュアなオンラインツールを活用した都市と地方の連携による在宅褥瘡管理の実践報告
草島 邦夫 医療法人鴻仁会 深瀬医院
- P-1-127 特徴の異なる2クリニックの開業に携わった看護師による考察
井坂みらい ひのきホームケアクリニック
- P-1-128 過疎化の進む地域における複数診療所運営の意義とメリットの検証
松岡 哲 そよかぜ診療所

P-1-129 在宅診療所をティール組織にしてみた
大蔵 暢 やまと在宅診療所白石

P-1-130 医師・看護師が働き続けられる在宅24時間体制づくりの実践と課題
水谷美智代 医療法人葵会 紫野協立診療所

一般演題(ポスター)14

事業所運営・経営2

6月14日(土) 14:10～14:55 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 姜 琪鎬 医療法人 みどり訪問クリニック

P-1-131 診療・ケアの質を組織で補完する試み
～当診療所における効果的な診療(ECP)構築委員会の立ち上げと活動報告～
郡 美代子 医療法人湊仁会 手稲家庭医療クリニック

P-1-132 「診療アシスタント」活用がもたらす在宅医療の質・量向上についての考察
朝岡 宏和 医療法人社団やまと

P-1-133 施設と個人宅患者数に注目し、売上と労働負荷を考慮した患者数指標の開発
野末 睦 医療法人あい友会 あい太田クリニック

P-1-134 クラウドPBX導入による在宅医療における電話対応の実態分析と業務効率化に向けた検討
出倉 良美 医療法人社団日翔会

P-1-135 在宅医療における電話対応の実態と業務改善に関する検討
石塚 美絵 めぐみ在宅クリニック

P-1-136 超高齢社会におけるドクター高齢化問題について当法人の取り組み
船山 高明 医療法人顕樹会本田歯科クリニック

P-1-137 日本の介護技術のアジア標準化に向けた多言語教材開発の取り組み
川副 巧成 Liaison Design 株式会社

P-1-138 訪問診療における在宅時医学総合管理料別の経営効果分析
渡邊 祐基 訪問診療わっしょいクリニック

P-1-139 在宅医療における事務的業務自動化の取り組み
諸見里 透 ゆずりは訪問診療所

一般演題(ポスター)15

医療・ケアの質・評価

6月14日(土) 14:10～14:55 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 横山 和正 東静岡神経センター

P-1-140 訪問診療の訪問同行者は、在宅医療の質の向上のためにどう取り組むべきか
～3年後に貢献度を再評価した結果～
武藤 英貴 医療法人双樹会 よしき往診クリニック

P-1-141 在宅医療患者の生活の質(QOL)の1年間の変化:縦断研究
飯田 英和 医療法人社団 鉄祐会 祐ホームクリニック

P-1-142 訪問看護師におけるポータブルエコーの実践報告
吉田 翔 緩和ケア訪問看護ステーションむらお

P-1-143 訪問診療の質を高めるために訪問診療同行看護師の看護管理者との面接
大塚美智子 医療法人サンズ あさのクリニック

P-1-144 在宅看取りを経験した遺族に対する訪問診療の満足度と緩和ケアのアウトカム調査
永藤 瑞穂 つくばセントラル病院総合診療科

P-1-145 スタットセンサーエクスプレス iTMクレアチニンを用いた高齢者施設および在宅医療における
薬剤投与の適正化―第1報 在宅医療にける活動報告―
坪内理恵子 薬樹株式会社

- P-1-146 在宅輸血を通して考える、在宅療養支援診療所看護師の今後の展望
木橋 香苗 波乗りクリニック
- P-1-147 小児在宅医療における24時間オンコール対応と臨時往診の実態
～本当に”小児在宅医療は大変”なのか?～
水谷 亮 さいわいこどもクリニック 在宅診療部
- P-1-148 癌患者と非癌患者の在宅診療における特徴の比較検討～当クリニックでの集患戦略もふまえて～
草永 真志 医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック

一般演題(ポスター)16

人材育成・教育

6月14日(土) 15:05～16:05 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 崎山 隼人 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医療人材連携教育センター

- P-1-149 訪問診療専門クリニックにおける医学生の長期臨床実習の受け入れ経験
松本 真一 悠翔会在宅クリニック葛飾
- P-1-150 A訪問看護ステーションにおける専門性の高い看護師の活動報告
加藤 直美 医療法人社団すまいる おれんじ訪問看護ステーション
- P-1-151 看護基礎教育における多職種連携をゲーミフィケーションで学ぶ意義
コミュニティコーピングボード[®]ゲームを教育に用いて 第2報
堀 智子 藍野大学
- P-1-152 VF×VR ～訪問診療のビデオフィードバックをVRで～
崎山 隼人 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医療人材連携教育センター
- P-1-153 訪問診療同行看護師による、みなし指定訪問看護事業のプロセス
松山 幸 医療法人社団悠翔会在宅クリニック葛飾
- P-1-154 人工呼吸器を用いた喀痰吸引等研修の評価
前川 典子 おれんじ訪問看護ステーション
- P-1-155 特定行為看護師による在宅での胃ろう交換
戸丸 悟志 とね訪問看護ステーション
- P-1-156 第12回九州在宅医療推進フォーラムin MIYAZAKIにおける在宅医療連合学会企画の共催
郡山 晴喜 ホームクリニックみまた
- P-1-157 薬学部5年生が実務実習として在宅医療の現場に出る前に学ぶ老年学
～ヘルスヒューマニティーズ(健康人文学)の視点から在宅高齢者を捉えるための薬学教育～
千田 一嘉 金城学院大学
- P-1-158 総合診療専攻医に対する「在宅研修チェックシート」を利用した教育活動報告
山本 幸近 飯塚病院 総合診療科/額田病院 総合診療科
- P-1-159 A病院における退院支援看護師の活動 ～これまでとこれからへの継承～
川本 裕美 長崎大学病院 看護部・地域医療連携センター
- P-1-160 「聴く」ことから始めよう ～ダイアログ～
太田 慶子 茶屋町在宅診療所

一般演題(ポスター)17

人材育成・教育・キャリア

6月14日(土) 15:05～16:05 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 田上 佑輔 やまと地域医療グループ

- P-1-161 地域・在宅看護論におけるポータブルエコー演習導入の効果と課題
進藤真由美 信州大学医学部保健学科看護学専攻
- P-1-162 診療アシスタントのクリニカルラダー作成
河津 拓哉 医療法人社団 悠翔会

- P-1-163 「在宅救急ことはじめ」～救急診療の学びが、在宅患者と医療・介護従事者を救う～
吉田 英人 医療法人社団侑真 訪問診療クリニックやまがた
- P-1-164 「診療アシスタント」が目指すべき人材像の定義と実現のための成長支援プログラムの開発について
朝岡 宏和 医療法人社団やまと
- P-1-165 当院における診療同行看護師の仕事の可視化と教育強化の実践報告
森 寿江 桜新町アーバンクリニック
- P-1-166 マインドセットとマネジメントによる訪問看護ステーションにおけるセラピスト共育
～ケアプロならではの実践を受け継ぎ進化させるためのセラピスト共育を求めて～
星野真二郎 ケアプロ在宅医療株式会社
- P-1-167 学びをサービスの質に変える～「診療アシスタント」に向けた研修を通して見えたもの～
熊谷 李奈 医療法人社団やまと やまと在宅診療所栗原
- P-1-168 在宅医療機関従事者が、自らの在宅介護家族体験をSNSで発信続けてみた。
平田 節子 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック
- P-1-169 病院看護師から在宅診療の看護師になるには？—訪問看護ステーションでの研修を通して—
工藤 奈美 やまと在宅診療所栗原
- P-1-170 在宅におけるカテーテル支援の取り組み
斉藤 岳史 医療法人 AGRICARE
- P-1-171 在宅医療を中心にすえた医師の働き方のこれから
迫田 哲平 マナビヤ在宅クリニック「un」
- P-1-172 訪問診療同行看護師の役割とロールモデル
半田 良恵 ももたろう往診クリニック

一般演題(ポスター)18

地域包括システム・行政連携・異業種連携

6月14日(土) 15:05～16:05 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 梅村 想 南生協よって横丁よって在宅診療所

- P-1-173 在宅クリニックで働くMSWのやりがい～クリニックの思いを関連職種に繋ぐ～
堂下 竜平 医療法人サンスターみつぼしリンククリニック
- P-1-174 地域の健康を支える新しいカタチ—管理栄養士と地域薬局の連携報告
森田千雅子 ホームケアクリニック横浜港南
- P-1-175 精神科病院主導の多職種連携アウトリーチの強みと課題
～連携先となる医療・保健・福祉機関の視点からの検討～
富樫 剛清 医療法人社団積信会 長谷川病院
- P-1-176 当区における地域医療・介護ネットワーク構築事業
～地域包括支援センター圏域ごとの多職種連携強化の取り組みについて～
中辻 康博 豊島区医師会(豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点)
- P-1-177 みんなで繋ぐ地域包括ケアシステム～多職種協働を考える～豊田加茂医師会の取り組み
兼松富美子 (一社) 豊田加茂医師会
- P-1-178 介護施設に対するオンライン医療相談と夜間オンコール代行の導入による通院、救急搬送の削減可能性
青柳 直樹 ドクターメイト株式会社
- P-1-179 「在宅療養支援病院と診療所の運営・役割と地域貢献」
～地域医療の持続可能な未来を支えるネットワークの取り組み～
村木 佳代 社会医療法人豊生会 札幌あんしん在宅医療ネットワーク
- P-1-180 本人の尊厳・価値観・幸せ・生きがいに主眼を置く
医療介護福祉、行政の協働、共助「豊田加茂ウェルビーイングネットワーク」
加藤 真二 一般社団法人 豊田加茂医師会

- P-1-181 在宅医療・介護連携支援に関する相談窓口による「退院サポート事業」における
介護予防・日常生活支援総合事業の周知について
河村 由依 豊明東郷医療介護サポートセンター / 藤田医科大学地域包括ケア中核センター
- P-1-182 特養での包括的医療介入の成果について
加藤 修平 医療法人社団鴻愛会 こうのす共生病院
- P-1-183 地域ケア会議における歯科医師の貢献：事例とその意義
萩野 礼子 おはぎ在宅デンタルクリニック
- P-1-184 「24時間対応・在宅対応」の現状から在宅薬学総合体制加算2を考察する
三砂 慶太 おとどけ薬局

一般演題(ポスター)19

患者と医療者のコミュニケーション・哲学的課題

6月14日(土) 16:15～17:05 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 今村 昌幹 めちぐすい診療所

- P-1-185 ※取り下げ
- P-1-186 老々介護下の超高齢者の在宅支援介入の経験から～
安井 宣雄 姫路メディカルクリニック
- P-1-187 若年難病患者の心理的援助を通した栄養指導～ナラティブアプローチを活用して～
藤田みどり いしが在宅ケアクリニック
- P-1-188 訪問診療を契機に信頼関係構築が可能となった医療不信のある肺癌女性の事例
小串 哲生 おおあさクリニック
- P-1-189 患者と家族の意向の理解が不十分であったため、
在宅医療における関係性の構築に苦慮した筋萎縮性側索硬化症の1例
袖山 治嗣 医療法人あい友会 あい長野クリニック
- P-1-190 行動変容ステージモデルを有効に活用し、生活の支援に繋がった2例
西川 和希 つばさクリニック
- P-1-191 在宅医療におけるコミュニケーションでは、患者-医師-付き添い者間で
「診療に同席していない専門職に関する情報」が相互にやり取りされ多職種連携に寄与している
木村 琢磨 東京科学大学 総合診療科 / 介護・在宅医療連携システム開発学講座
- P-1-192 手話通訳サービスを用いて自宅での円滑なコミュニケーションが可能となった、
聴覚障害を有する終末期癌患者の1例
松木 裕輝 みらい在宅クリニック 金沢
- P-1-193 在宅診療における動物介在の意義と可能性ー新たなケアの扉を開くー
久保田洋介 医療法人社団やまと やまと在宅診療所一関
- P-1-194 医療従事者としてのスピリチュアルケア
松尾 誠司 医療法人 長崎宝在宅医療クリニック

一般演題(ポスター)20

研究

6月14日(土) 16:15～17:05 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 横山 和正 東静岡神経センター

- P-1-195 在宅医療専門医研修中に記載した振り返りノートの質的分析
間所 俊介 鉄祐会祐ホームクリニック
- P-1-196 在宅医療下の高齢者患者500名の血液所見から検証した高齢者の恒常性維持機構
黒岩 義之 医療法人社団和啓会メデイスククリニック溝の口
- P-1-197 超高齢者の訪問診療開始後の予後について
壁谷 悠介 医療法人社団さんりつ会そうわクリニック

- P-1-198 在宅医療における患者特性と予後の関連：医療介護レセプトデータを用いた潜在クラス分析
佐方 信夫 筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野/医療法人平成博愛会 世田谷記念病院/
平成医療福祉グループ総合研究所
- P-1-199 訪問診療開始後、初回入院となる在宅医療患者の特徴
高橋由利子 医療法人社団鉄祐会
- P-1-200 終末期がんの在宅療養患者の予後に影響を与える要因
山下 智史 医療法人社団さんりつ会 そうわ相模クリニック
- P-1-201 末期がん患者における血液データと在宅予後の予測の検討
山根 宏昭 山根クリニック
- P-1-202 NDBデータによる肺がん患者の在宅医療の実態解析
高林克日己 三和病院 / 千葉大学医学部附属病院企画情報部
- P-1-203 当院で救急搬送となる頻度の高い3症候の特徴
板舩 笑果 医療法人双樹会よしき往診クリニック

一般演題(ポスター)21

地域づくり1

6月15日(日) 8:00～8:50 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 荒金 英樹 愛生会山科病院 外科

- P-2-1 #やってみた ～地域での対話実践のために北欧F国から対話実践の創始者を「召喚」してみた～
松岡 邦彦 茶屋町在宅診療所
- P-2-2 「ひのでカフェ」：医療的ケア児のご家族の交流と支援の架け橋
中村 幸子 ひのでクリニック
- P-2-3 在宅診療所が運営する医療型特定短期入所
梶原 雅子 医療法人やまとコールメディカル福岡
- P-2-4 在宅医療ソーシャルワーカーによる働く世代へのアウトリーチ活動
大橋 里佳 ゆみのハートクリニック三鷹
- P-2-5 地域包括ケアは地方創生につながる（はず）
大蔵 暢 やまと在宅診療所白石
- P-2-6 医療機関が行う子ども食堂の活動を振り返る～継続・拡大している理由～
鬼頭 美恵 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック
- P-2-7 天草謹製のメッセージノート「わたしのノート」の取り組み 続編
～2019年の初回報告から、コロナ禍を経て、第4版までなっちゃったよ！～
倉本 剛史 在宅とつながるクリニック天草
- P-2-8 「Kほけんしつ」で広がる医療介護と地域のつながり～メッセンジャーナースによるほけんしつ～
大迫 真弓 きいれ浜田クリニック
- P-2-9 「きいれば」による地域を巻き込んだ場づくり
濱田 歩美 きいれ浜田クリニック
- P-2-10 最後まで元気に過ごせる鎌ヶ谷市を目指して、市民参加型シンポジウムを通じた地域づくり。
～第3回鎌ヶ谷ビジョン～
上野 拓実 医療法人社団豊寿会 はもれびクリニック

一般演題(ポスター)22

保健制度・医療政策

6月15日(日) 8:00～8:50 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 清水 政克 医療法人社団 清水メディカルクリニック

- P-2-11 在宅医が身体障害者手帳指定医を取得する事による在宅医療の質改善
熊井 惟志 みどり訪問クリニック

- P-2-12 **SELFを活用した在宅データ提出加算算定への取り組み**
高田 哲也 医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック
- P-2-13 **※取り下げ**
- P-2-14 **多職種で学ぶ診療報酬と運用支援ツール：レセ用紙開発による在宅医療の効率化**
梅沢 義貴 医療法人社団同善会 同善病院
- P-2-15 **在宅データ提出に伴う業務効率化の実践と課題**
山田 寿美 医療法人双樹会よしき往診クリニック
- P-2-16 **医療法人あい友会の訪問診療における施設患者割合と1人当たり診療時間の相関に関する検討**
今城 岳彦 あいつくばクリニック
- P-2-17 **特別養護老人ホームにおける嘱託医業務の収益構造と今後の展望**
森下 真一 医療法人社団鴻愛会こうのす共生病院
- P-2-18 **在宅データ提出加算の活用方法に関する検討**
内田 智久 医療法人あい友会 あい駒形クリニック
- P-2-19 **令和6年度 医師会員の意識実態調査と医師会活動**
榎本 康宏 豊田加茂医師会

一般演題(ポスター)23

難病

6月15日(日) 8:00～8:50 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 融 衆太 新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科

- P-2-20 **訪問看護師が実施する在宅酵素補充療法の実践と課題**
久保 恭子 東京医療保健大学
- P-2-21 **リウマチ性疾患患者の在宅医療の課題と多職種連携の重要性**
安藤聡一郎 安藤医院
- P-2-22 **神経難病療養者のための療養通所介護～訪問看護ステーションによる開設報告～**
西尾まり子 地域ケアステーション八千代訪問看護ステーション
- P-2-23 **尊厳を守るケアモデル評価と実践**
ー筋ジストロフィー患者の人工呼吸器装着下での多職種連携による外出支援を通して
瀧本しおり みさとホームケア診療所
- P-2-24 **ALSの利用者の「落ちていく体」に寄り添い、柔軟にサポートすることで「できること」を再獲得することができた症例 ～わたしらしく生き続けられることを目指して～**
高田 雄貴 ケアプロ在宅医療株式会社
- P-2-25 **海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかんが基礎疾患にある患者に、行政と連携しながら訪問診療を成立させた症例報告**
熊井 康子 まほろの在宅クリニック
- P-2-26 **薬局が関わる形でのライソゾーム病在宅酵素補充療法**
長谷川 寛 日本調剤 株式会社
- P-2-27 **コミュニケーション困難な神経難病患者に有用であった臨床宗教師の関わりの価値**
細田 亮 医療法人社団豊豊寿会 はもれびクリニック
- P-2-28 **起立性低血圧に薬物療法と弾性ストッキングが著効した多系統萎縮症患者の1例**
嵯峨 夕子 真生会富山病院
- P-2-29 **レボドパ増量により固縮が改善したパーキンソン病の一例**
大府 正治 和花クリニック

6月15日(日) 8:00～8:50 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 伊藤 浩光 医療法人社団ときわ 赤羽在宅クリニック

- P-2-30 100歳超の高度大動脈弁狭窄症患者の在宅療養と終末期医療の実践課題
榊原 守 一般財団法人 多摩緑成会 おうち診療所 国分寺
- P-2-31 静注強心薬の離脱が困難な重症心不全患者の在宅強心剤持続投与に調剤薬局関わった一例と課題について
藤田 龍 日本調剤株式会社 在宅医療部
- P-2-32 ～ 在宅心不全患者へ管理栄養士が行う訪問栄養ケアの実際 ～
井上 朗 東大和ホームケアクリニック
- P-2-33 在宅医療とオンライン診療を併用し、自宅で最期まで腹膜透析での療養を続けた慢性腎不全症例の報告
水山 愛美 おかやま在宅クリニック
- P-2-34 他疾患で訪問診療開始後にPBC (Primary Biliary Cholangitis: 原発性胆汁性胆管炎) と判明した2症例
山本 健 医療法人社団仁真会辻川ホームクリニック
- P-2-35 ドブタミンとモルヒネの持続点滴が必要な末期心不全患者の在宅移行における薬剤師の役割
川崎 博行 北陸クオール株式会社 木田らいつ薬局
- P-2-36 末期心不全患者に対し管理栄養士×心不全療養指導士が在宅で関わり心不全増悪予防に寄与できた一症例
角屋 桜雪 医療法人社団ユニメディコ
- P-2-37 自宅で過ごしたい超高齢腹膜透析患者を支える訪問看護師の役割
片岡今日子 日本財団在宅看護センターひまわり
- P-2-38 訪問診療介入中に新たに原発性/潜在性/続発性甲状腺機能低下症と診断した症例の臨床的検討
大原万理恵 医療法人社団ときわ 赤羽在宅クリニック
- P-2-39 在宅輸血の安全性向上に向けた症例の考察と提言
栗林 泰子 河北医療財団あいクリニック

6月15日(日) 9:00～9:55 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 木下 朋雄 和光ホームケアクリニック

- P-2-40 高齢化57%の若葉台住宅の現状と当院としての課題
篠 美和 医療法人社団守成会広瀬病院 在宅診療部
- P-2-41 スマホ教室から始める持続可能な地域づくり
中島 由美 きいれ浜田クリニック
- P-2-42 天草のALS活動家 吉田久人～せっかくALSになったのでとことん楽しんで、私にしかできないことをやっていきたいと思います～
倉本 剛史 在宅とつながるクリニック天草
- P-2-43 地域で暮らすを支えるボランティアの輪～社会貢献から看取りまで～
吉田 香織 医療法人心の郷
- P-2-44 地域共生コミュニティサロン「Bar だもんで」～訪問看護による安心した居場所創り～
森 あゆみ もん訪問看護ステーション天白
- P-2-45 まちの保健室 地域のお互いさまをつなぐ寄り処として～始まりそしてこれから～
松宮 泉 一般社団法人我孫子医師会
- P-2-46 降雪地域における在宅医療の課題と是正活動
桂 篤史 医療法人溪仁会 法人本部

- P-2-47 「8年間の実践から見る非医療職による『つながる処方』の可能性」
～地域づくり型クリニックが紡ぐ社会的処方とウェルビーイングの実現～
萩原由貴子 医療法人MoLeadつながるクリニック
- P-2-48 私たちの居場所、役割、社会参加 ～お互い様の支え合い～
武田 寿彦 医療法人 心の郷 穂波の郷クリニック
- P-2-49 在宅医が行う『ち医き』づくり～港南メディカルフェスティバル2024の開催～
開田 脩平 医療法人みらい みらい在宅クリニック港南
- P-2-50 地域づくり型クリニックによる地域包括支援の新たな展開 ～「地域包括メディカルセンター」の取り組み～
八森 淳 医療法人MoLead つながるクリニック

一般演題(ポスター)26

看取り・家族ケア1

6月15日(日) 9:00～9:55 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 平原 優美 日本訪問看護財団

- P-2-51 訪問看護師が終末期患者・家族の初回訪問時に「看取りパンフレット」を用いて行う
説明のメリット・デメリット(看取りパンフレット研究第2報)
南川 雅子 帝京大学
- P-2-52 40代がん末期患者の在宅看取り～最期まで治療したい、あきらめきれない患者・家族への関わりと支援～
母谷真由実 医療法人社団CMC コールメディカルクリニック広島
- P-2-53 死にゆく過程を本人に伝える本、『人のさいご』の制作
尾山 直子 桜新町アーバンクリニック
- P-2-54 妻の最期を何度も気にかかる夫との関わりについて～家族で迎えるより良い最期を迎えるために～
山口 晃史 坂の上在宅医療支援医院
- P-2-55 多死社会における独居高齢者の在宅緩和ケア～地域医療・多職種連携を通じてあなたらしい人生のあり方を～
松田 早人 医療法人社団 悠翠会 うえまつ在宅クリニック
- P-2-56 有床診療所だから実践できた～多職種協働で挑む看取りの実際～
木村 貴純 医療法人桑樹会 木村内科・胃腸内科
- P-2-57 ガン末期ですが、ペットボトルと馬券が散乱したモノ屋敷に帰ります。あの仲間の元に帰ります。
森実 美佐 愛媛生協病院
- P-2-58 訪問看護師が叶えた“真の願い”～患者と家族に寄り添った最期のケア～
高木 勇貴 ホームズ訪問看護ステーション
- P-2-59 独居・夫婦2人暮らしまたは家族との同居と、末期がん患者の在宅看取りの満足度の関連
山田 淑恵 よしき往診クリニック/京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野
- P-2-60 独居高齢者のよりよい自宅看取り体制の構築を目指して
田中 裕子 医療法人双樹会よしき往診クリニック
- P-2-61 「在宅クリニックの看護師が研究をきっかけに遺族の思いを伝えたいと実施した取り組みと
未来につながる気づき」
尾曲奈美子 医療法人にのさかクリニック

一般演題(ポスター)27

がん疾患管理・緩和ケア1

6月15日(日) 9:00～9:55 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 石垣 泰則 医療法人社団悠輝会コーラルクリニック

- P-2-62 下肢慢性静脈不全症に伴う疼痛が漢方治療で改善した在宅高齢患者の1例
遠藤 光史 メディケアクリニック石神井公園/東京医科大学病院緩和医療部
- P-2-63 当院(急性期病院)が行っている訪問診療の現況と課題について
塩原 正之 千葉市立海浜病院

- P-2-64 **ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム注射液の間欠的投与が著効し
長期間の在宅療養が可能となった喉頭癌終末期の一例**
有田 圭介 小田内科クリニック
- P-2-65 **心理職が不在の現場における、オンラインツールを用いた心理職との協働の試み**
柳原 恵梨 谷田病院
- P-2-66 **医学的介入に加え、宗教的価値観を重視した関わりを行った終末期肺小細胞癌患者の1例**
竹内 健貴 栄町ファミリークリニック
- P-2-67 **大量の悪性腹水に対してカテーテル留置による間欠排液にて症状緩和が得られた一例**
松本 直久 まつもとホームケアクリニック
- P-2-68 **心不全患者の呼吸困難の緩和ケア ―在宅での経口オピオイド導入のプロセス―**
谷澤 久美 医療法人ミナテラス かすがいクリニック
- P-2-69 **みなし指定訪問看護師と訪問看護ステーションが終末期がん患者への支援を共同で行った一例**
岡部 麻美 杏クリニック
- P-2-70 **穏やかな最期のための緩和ときずなの食支援～「希望と生きたい」を紡ぐチームアプローチ～**
安田 和代 医療法人かがやき総合在宅医療クリニックみの
- P-2-71 **余命が限られた末期癌を有する血液透析患者の在宅看取り支援**
橋口純一郎 長崎腎病院
- P-2-72 **在宅医療で紡ぐ希望の糸―神経ブロックによる痛みの克服とQOL向上の症例報告**
梁木 理史 村尾在宅クリニック/東京女子医科大学病院 麻酔科学教室

一般演題(ポスター)28

臓器不全・フレイル・多臓器併存

6月15日(日) 9:00～9:55 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 諸富 伸夫 新百合ヶ丘総合病院

- P-2-73 **心不全終末期を宣告され透析見合わせについての意思決定を支援し
在宅看取りとなった維持血液透析患者の1症例**
片岡 美和 医療法人衣山クリニック
- P-2-74 **静注強心薬依存末期心不全患者の在宅療養支援**
澁谷 泰介 医療法人社団ユニメディコ
- P-2-75 **当院(非循環器専門内科)における心不全患者の在宅医療について**
清藤 千景 医療法人清藤クリニック
- P-2-76 **地方の基幹的総合病院における地域への「高齢者への腹膜透析」普及啓発活動の報告**
大脇 浩香 岡山済生会外来センター病院
- P-2-77 **独居で身寄りのない重症心不全患者の在宅看取りの経験**
伊達 修 コールメディカルクリニック広島
- P-2-78 **救急搬送となった在宅療養患者の背景と対応における違いについての後方視的調査**
中安 一夫 総合診療科
- P-2-79 **バランスモデルを活用した大腸がんと肝硬変併存患者の在宅医療管理の一例**
池口 亮 勝山オレンジクリニック
- P-2-80 **高齢者施設で間歇スキャン式持続血糖測定器が血糖コントロールに有用であった症例**
西田 裕子 つばさクリニック岡山
- P-2-81 **ウェルネス思考で考える訪問看護に今後必要なこと
～高齢多死社会における健康寿命の延伸を訪問看護から考える～**
増田紗也香 ケアプロ在宅医療株式会社
- P-2-82 **在宅患者の救急搬送における往診の有無とその患者背景**
山下 歩 医療法人双樹会よしき往診クリニック

P-2-83 診療所における看護師主体の高齢者心身機能評価システムの導入と実践

小川 健太 松原アーバンクリニック

一般演題(ポスター)29

医療安全・災害対策・感染対策・権利保障

6月15日(日) 10:05～11:05 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 齊藤 洋司 益田地域医療センター医師会病院

P-2-84 診療所のMSWから提案する身寄りのない方への支援

～地域包括支援センターの社会福祉士と診療所のMSWの支援の違い～

大友 路子 医療法人Molead つながるクリニック

P-2-85 当院における高齢血液透析患者に対する虐待4症例への対応

船越 哲 長崎腎病院

P-2-86 処方箋取り扱いにおける「要配慮個人情報」漏洩防止対策について

豊田 理恵 医療法人おひさま会

P-2-87 在宅医療介護におけるハラスメントや虐待等への対応を法律的視点から学ぶ

多職種連携セミナー開催の活動報告：2024年度勇美記念財団助成研修

村山 令 地域みらいメディカルパートナーズ 医療法人東京さんりつ会 さんりつ在宅クリニック町田

P-2-88 在宅医療を支える安全運転管理：雪道運転対策を含む組織的な安全運転管理体制の構築

大塚 亮平 手稲家庭医療クリニック

P-2-89 医療関係者に対する家人からのハラスメントとその対応

小山 里子 医療法人信愛会しんあいクリニック

P-2-90 災害時の食支援およびコミュニケーション支援体制の模索

小島 香 浜松医科大学

P-2-91 在宅支援診療所を含む医療・介護事業所におけるBCPの取り組み

Google Apps Scriptを活用した全自動安否確認システム

山田 翔太 桜新町アーバンクリニック

P-2-92 能登震災における東海支部会による災害支援活動報告

洪 英在 医療法人康誠会 東員病院

P-2-93 在宅医として関わる災害派遣 ～能登半島地震の支援を経験して～

篠 美和 医療法人社団守成会広瀬病院 在宅診療部

P-2-94 介護施設でのCOVID19クラスター発生時のナプロキセンの効果と発症予防の検証

笹岡 大史 春日部在宅診療所ウエルネス

P-2-95 在宅療養支援診療所における外来感染対策向上加算業務の取り組み

臼井ユリ子 医療法人おひさま会おひさまクリニック

一般演題(ポスター)30

看取り・家族ケア2

6月15日(日) 10:05～11:05 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 坂本 岳志 あけぼの薬局メディカル店

P-2-96 地方における在宅看取りの死亡診断の現状

竹田菜津子 訪問看護ステーション やまが

P-2-97 一人暮らし、認知症を患った身寄りのない非がんである本人の在宅での最期を迎えたプロセスを振り返る

～本人の思いを汲み取る多職種連携による支援について～

近藤 芳江 APLE 株式会社 居宅介護支援ハートサービス近藤

P-2-98 「渡辺式シートⅡ：人間関係見える化シート[®]」で人間関係を見える化し、

看護師と家族の関係を改善した事例報告

生本万知子 医療法人おひさま会おひさまクリニック

- P-2-99 在宅療養支援診療所が行う多様な遺族支援の取り組み
増元 洋美 医療法人 優幸会 中村クリニック
- P-2-100 在宅看取り後の遺族に対する「お悔やみ訪問」の活動報告
内田 楓 特定医療法人谷田会 谷田病院
- P-2-101 当院行ったデスカンファレンスの統括と今後について
佐藤 力 在宅診療部
- P-2-102 訪問診療終了後の遺族へのグリーフケア—遺族へのエンパワメント—
石山 美枝 医療法人社団ホームアレー
- P-2-103 家族会に近い交流ができる場としての広報誌作成の取り組み
加藤 恵美 医療法人社団プラタナス松原アーバンクリニック
- P-2-104 やっと泣けた ～手を差し伸べられ続ける存在であるために～
奥村由香理 医療法人 社団 都会 訪問看護ステーションにしがも
- P-2-105 子どもたちが繋ぐ架け橋～繋がり続ける特別な場所作りを目指して～
山内由佳理 医療法人 社団 都会 訪問看護ステーションにしがも
- P-2-106 当院におけるグリーフケアの現状と今後の課題について
田枝 美江 つばさクリニック岡山
- P-2-107 訪問看護師の初回訪問時に「看取りパンフレット」を用いて
説明を受けた終末期患者家族の気持ち（看取りパンフレット研究第1報）
南川 雅子 帝京大学

一般演題(ポスター)31

がん疾患管理・緩和ケア2

6月15日(日) 10:05～11:05 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 研修・研究センター

- P-2-108 当院における在宅輸血の現状
阿部 裕 新横浜在宅クリニック
- P-2-109 メサドンの内服が困難となったため、フェンタニル貼付剤にスイッチングを行った2症例
上田 裕介 医療法人光輪会光輪クリニック
- P-2-110 在宅医療における用手吸引式急速腹腔穿刺ドレナージ
大屋 清文 医療法人平和の森 ピースホームケアクリニック京都
- P-2-111 非がん性呼吸器疾患の終末期における緩和治療の課題 ～特発性間質性肺炎の一症例～
原 史郎 康曜会 プラーナクリニック
- P-2-112 当院における末期がん患者に対する持続皮下注射実施率の変化と
Good Death Scale日本語版(GDS-J) による質評価
柳澤 克哉 よしき往診クリニック
- P-2-113 ホスピスにおいて鍼灸マッサージ師がやれることはあるのか？
坂東 貴文 医療法人社団ユニメディコ 緩和ケア委員会
- P-2-114 在宅医療で麻薬性鎮痛剤を持続注射する場合の工夫
小笠原貞信 社会医療法人 長崎記念病院 内科
- P-2-115 知的障害の癌末期患者の「おうちにかえりたい」に寄り添うために
平田 沙和 稲城在宅療養クリニック
- P-2-116 癌性腹膜炎の治療中に腹腔留置ドレーンの位置異常を呈し、対応を要した膵臓癌の一例
伊賀 勝康 勤医協苫小牧病院
- P-2-117 本人からの要請で訪問診療の緊急介入を要した終末期乳がんの1例
神山 幸一 医療法人あい友会 あいつくばクリニック

- P-2-118 終末期がん患者の「美味しい」を引き出す訪問看護実践 管理栄養士と協働して症状が改善した症例
森 歩 在宅看護センターびりーぶ

一般演題(ポスター)32

小児・AYA世代

6月15日(日) 10:05～11:05 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 一ノ瀬英史 いちのせファミリークリニック

- P-2-119 小児在宅歯科診療に取り組むためのSTEP表の作成
～日本在宅医療連合学会 東海支部会「子どものやりたいと幸せを目指す委員会」活動報告～
坂井 謙介 医療法人 隼和会 坂井歯科医院
- P-2-120 小児科医と連携した医療的ケア児(者)の在宅移行への取り組み
川越 徹彰 やまと在宅診療所大崎
- P-2-121 気管切開、人工呼吸器管理で退院した医療的ケア児に対する訪問看護の実際
川村 美和 セコム鷺沼訪問看護ステーション
- P-2-122 医療者拒否のAYAがん患者へ在宅緩和医療介入まで
渡邊由利子 広瀬病院
- P-2-123 学校での医療的ケアの変更を多職種カンファレンスを行い方針を決定した1例
吉田由希子 医療法人おひさま会
- P-2-124 医療的ケア児を取り巻く支援者環境が変化するなかで安定した支援をどう継続していくか
小鷹 康代 ソフィアメディ訪問看護ステーション香芝
- P-2-125 小児がんの在宅緩和ケアを提供するには何が必要かを考える
～小児未経験、一人の患者に出会い2年間の伴走の中からみえたもの、子どもの成長がもたらしたものを未来に繋ぐ～
松嶋 桂子 ものがたり診療所
- P-2-126 在宅医療における酵素補充療法の実践と課題
蔵重 真里 ひのでクリニック
- P-2-127 成人期医療的ケア者の在宅・救急医療連携づくり ～バステルタッグプロジェクト～
中村小百合 医療法人社団シャローム シャローム病院
- P-2-128 秋田県における医療的ケア児へのベッドバス導入の試み——訪問看護による清潔支援の実践と課題——
斉藤 翔吾 ごてんまりZ訪問看護ステーション
- P-2-129 To defy conventional wisdom常識にとられない小児包括的医療提供
藤原 大輔 医療法人双樹会よしき往診クリニック/ふじわらクリニック
- P-2-130 小児訪問診療の新しい可能性
渡部 寛史 医療法人社団悠翔会 ノビシロクリニック藤沢

一般演題(ポスター)33

精神疾患・認知症

6月15日(日) 12:40～13:45 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 馬木 良文 あおいそら在宅診療所

- P-2-131 精神疾患を有する母が子育てをするために強みを活かした訪問看護の実践
堀 三千代 株式会社 町コム
- P-2-132 訪問診療における精神科医の役割：4症例の検討
市村 篤 医局
- P-2-133 精神科医による訪問診療の介入を経て通院加療が可能になった2症例
奥山有里子 訪問診療クリニックやまがた
- P-2-134 在宅医療の導入でアルコール性精神病を再発せず安定経過したアルコール依存症の高齢患者の症例報告
平 貴之 こころのホームクリニック世田谷

- P-2-135 精神科訪問看護において実践した強迫観念がある患者に対する多職種による認知行動療法 (CBT) の症例報告
高野かさね　　こころのホームクリニック世田谷
- P-2-136 引きこもり支援～「適応モード」に働きかけ、自立に向けた看護展開
石田　直子　　こころのホームクリニック世田谷ナースステーション
- P-2-137 発達障害と認知症の区別がつかない利用者の在宅支援
津野　采子　　ハート介護サービス東住吉
- P-2-138 認知症高齢者における腹膜透析管理の工夫と家族支援
木口　綾子　　訪問看護ステーション結糸
- P-2-139 サービス拒否する認知症を合併した高齢独居心不全患者に対し、
信頼関係を築きながら徐々に支援チームを拡大し、在宅生活をサポートした一例
藤田　真奈　　東京ふれあい医療生活協同組合　梶原診療所
- P-2-140 8年間継続する認知症の人とのコーヒー療法の取り組み
前原　妙子　　医療法人　浜友会　きいれ浜田クリニック
- P-2-141 認知症初期集中支援チームから紹介となったインスリン依存状態の2型糖尿病患者
谷口　育昌　　重工記念病院　内科
- P-2-142 独居認知症患者を介助するロボットとそれを支える薬局薬剤師
貞池　麗奈　　オオタ薬局丸尾店
- P-2-143 身寄りのない独居高齢者の生活実態の見える化　～訪問看護師を中心とした多職種連携の実践～
板倉　夏子　　松原ナースケア・ステーション

一般演題(ポスター)34

リハビリテーション

6月15日(日) 12:40～13:45　ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長　宇田　　薫　　日本訪問リハビリテーション協会

- P-2-144 当院でのデイケアの取り組み～誰もが最後まで自分らしく～
三浦　英男　　千鳥橋病院附属城浜診療所
- P-2-145 看取り期若年成人がん患者に対するリハビリテーションの役割
～ご逝去1週間前から関わった一症例を通して～
村上　茂雄　　たんぽぽクリニック
- P-2-146 終末期にある利用者の「自伝を書きたい」というニーズに、作業療法士が聞き書きを用いて応えた事例
興　ほのか　　特定医療法人谷田会　谷田病院
- P-2-147 終末期患者において、訪問リハビリとして寄り添えること
佐藤　千春　　訪問診療クリニックやまがた
- P-2-148 通所リハビリテーションから訪問リハビリテーションへの移行支援を行った在宅心不全患者の一事例
新谷　あん　　医療法人博愛会　額田病院　総合診療科
- P-2-149 在宅と外来のハイブリッド型診療所においてタスクシェアを行う理学療法士の役割とその現状
岡本　和巳　　そよかぜ診療所
- P-2-150 頸椎損傷患者の障害受容と訪問リハビリテーションの取り組み
高橋友二郎　　医療法人博愛会額田病院
- P-2-151 寝たきり重度褥瘡患者に対する再発防止のための訪問リハビリテーション
～移乗介助方法の変更と環境調整の取り組み～
福田　勇人　　医療法人社団心愛会　TOWN訪問診療所
- P-2-152 訪問リハビリテーション介入時における下肢の観察が重症化の予防につながった
包括的高度慢性下肢虚血症例の一考察
松本　純一　　TOWN訪問診療所板橋

P-2-153 緩和的Reハビリテーション やりたいことができる喜びをチームで支えた症例
佐野 克浩 株式会社ヴィーナス

一般演題(ポスター)35

食支援・口腔嚥下1

6月15日(日) 12:40～13:45 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 中村 幸伸 医療法人つばさ つばさクリニック

- P-2-154 経口摂取不可だった患者が食支援チームの介入により再び食事を楽しめるようになった事例
村越 里奈 医療法人みどり訪問クリニック
- P-2-155 摂食嚥下障害の早期発見と予防啓発～行田市健康フォーラムの成果～
宮原 愛 行田市在宅医療・介護連携支援センター
- P-2-156 カムカム会「最期まで口から食べられる町行田」を目指して～管理栄養士にできること～
奥野真理子 行田中央総合病院
- P-2-157 「誤嚥性肺炎なく経口摂取を継続できることを目標として作成した、
食事介助・ポジショニング表についてのアンケート調査による改善にむけた取り組み」
野澤 典明 医療法人社団 清幸会 行田中央総合病院 リハビリテーション科
- P-2-158 論文の表題にみる「口腔ケア」の変遷
中村 幸生 医療法人優幸会 中村クリニック
- P-2-159 言語聴覚士の関わりが重度嚥下障害を呈する終末期患者・家族の満足感に繋がった一例
南新 麻世 医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック
- P-2-160 バイタリティ溢れる筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者への多職種介入が食事量及びADL向上に繋がった一例
伊藤里衣子 医療法人社団まごころ 四街道まごころクリニック
- P-2-161 E-Team(食支援チーム)発足後の管理栄養士の活動・役割の報告
永井 堇 医療法人みどり訪問クリニック
- P-2-162 経胃・胃瘻的腸瘻造設(PEGjejunostomy)が有効であった超高齢者PEG後脱水症の1例
平井 二郎 医療法人社団 西日本平郁会 みんなの加古川クリニック
- P-2-163 在宅介護を受ける高齢者への管理栄養士の介入が食欲に与える影響
本川 佳子 東京都健康長寿医療センター研究所

一般演題(ポスター)36

呼吸ケア・褥瘡ケア

6月15日(日) 12:40～13:45 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 野末 睦 医療法人あい友会 あい太田クリニック

- P-2-164 当院における在宅関連業務の活動報告について
伊藤 有司 医療法人豊田会 刈谷豊田東病院
- P-2-165 デュシェンヌ型筋ジストロフィーにおける息留めへの訪問呼吸リハの試み
中島 光裕 コモンリハビリ訪問看護ステーション井口
- P-2-166 停電時の在宅人工呼吸器をより効率良く長時間使用するための検討
浜本 英昌 ドクターゴン鎌倉診療所
- P-2-167 在宅医療におけるHigh-flow nasal cannulaの使用経験と今後の課題
武藤 昌幸 医療法人あんず会 杏クリニック
- P-2-168 難治性の両側下腿浮腫及び潰瘍に対して
弾力チューブ包帯とポピドンヨード軟膏を併用し在宅で治療を行い完治した1例
酒井 秀都 光輪クリニック
- P-2-169 入院治療から在宅へ移行し多職種協力により治癒した褥瘡事例
石倉 聖美 あい太田クリニック

- P-2-170 希望を叶えた褥瘡ケア～多職種共同看多機だからできること～
加藤 幸子 複合型サービスふくふく寺前
- P-2-171 リモート診療による褥瘡やキズ、スキントラブルのフォロー
水原 章浩 東鷲宮病院 循環器・血管外科 褥瘡・創傷ケアセンター
- P-2-172 皮膚・排泄ケア認定看護師と施設看護師による巨大褥瘡の改善へ向けた協働
～有料老人ホームにおける多職種連携の効果と課題～
田村 留美 おうちの診療所
- P-2-173 重度褥瘡に対して局所陰圧閉鎖療法 (NPWT) を使用し著明な改善を得た1例
金田 崇良 おおぜき医院

一般演題(ポスター)37

生活援助・福祉用具・排泄ケア

6月15日(日) 13:55～14:40 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 宮本 桃世 社会医療法人財団大和会 東大和ホームケアクリニック

- P-2-174 介護における情報共有の課題と効率化の為の取り組み
山本 律子 医療法人社団心坂の上ろうけん曳馬野
- P-2-175 ポジショニングによる姿勢管理が筋緊張に与える効果～高齢認知症患者の一例～
松本 大輔 ホームズ訪問看護ステーション寄居
- P-2-176 在宅に住んでいる患者への可搬型階段昇降機の導入
～家屋環境と介助量の視点から可搬型階段昇降機の適応について考察～
鶴宮 由貴 医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック
- P-2-177 加圧バッグを用いた落差不要輸液システムの使用経験。
泰川 恵吾 ドクターゴン診療所/ドクターゴン鎌倉診療所
- P-2-178 在宅にて肘PICCを留置し延命を図った1例
安田 冬彦 安田花園クリニック
- P-2-179 在宅のハードルと「におわない介護」排泄便臭低減システムの開発
荒川 正人 大林スマイル薬局
- P-2-180 認知症高齢者の排便自立支援 ～排便困難な状態から快適な排便ができるようになった過程を振り返る～
尾崎美由紀 幹在宅看護センター
- P-2-181 在宅医療における泌尿器科的処置の内容と問題点
種田 建史 みつぼし在宅クリニック
- P-2-182 在宅療養者における慢性便秘症のエロビキシバットによる治療が
家族介護者の排便管理に関する負担感に及ぼす影響の検討
山本 隆裕 さつきホームクリニック

一般演題(ポスター)38

食支援・口腔嚥下2

6月15日(日) 13:55～14:40 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 小島 香 浜松医科大学 健康社会医学講座

- P-2-183 多職種による摂食嚥下チームの立ち上げ
井村 高陽 医療法人 悠明会
- P-2-184 終末期における口腔内の不快感を安楽な状態へ導くために
～医療施設型ホスピスにおける口腔ケアの標準化にむけての取り組み
岡田 美紀 株式会社アンビス
- P-2-185 当院における医療的ケア児(者)への訪問栄養食事指導の取り組み
梅木麻由美 医療法人つばさ つばさクリニック岡山

- P-2-186 宮崎県の在宅療養支援診療所における在宅栄養の推進 ―地域の管理栄養士の取り組み―
長友 孝平 株式会社L2S ニュートリションリンク
- P-2-187 嚥下障害患者における完全側臥位の導入と普及に関する取り組み
亀山 洋子 医療法人あい友会あい太田クリニック
- P-2-188 老老介護のがん末期患者へ「お楽しみ」を叶えるための完全側臥位法の導入
～「すこしでも楽に整えられる姿勢調整」の検討を通して～
宮阪 美穂 株式会社Lampus えるさば訪問看護ステーション
- P-2-189 管理栄養士が歯科医師、言語聴覚士ともに行った「食べるを支えるチーム」アプローチによる症例報告
本間 英里 社会医療法人豊生会 東苗穂病院
- P-2-190 管理栄養士と薬剤師が協働する 患者のための薬局ビジョン～タスクシェアからタスクプラスへ～
立川 靖之 株式会社キュアトライフル あろま薬局
- P-2-191 在宅療養高齢者における栄養問題の現状から見る栄養ケアの必要性
鵜飼真千子 手稲家庭医療クリニック

一般演題(ポスター)39

その他

6月15日(日) 13:55～14:40 ポスター会場「1F イベント・展示ホールB」

座長 大友 宣 医療法人財団老蘇会 静明館診療所

- P-2-192 訪問診療におけるプラスαの支援を通じた患者の心身ケアと家族サポートの取り組み
池増 彩 一般財団法人 多摩緑成会 おうち診療所 国分寺
- P-2-193 帯状疱疹の漢方治療―帯状疱疹後神経痛の予防を目標に―
柳町 知宏 鹿神会 大野診療所
- P-2-194 500名の往診患者を1名の常勤医で診るための創意と工夫
梅谷 薫 向小金クリニック
- P-2-195 三方活栓連結法において治療しえた重症肺炎患者の1例
川田 裕子 佐野市民病院 訪問看護ステーション あその郷
- P-2-196 訪問診療業務中に発生した交通事故の実態調査
菅原 信行 医療法人双樹会 よしき往診クリニック
- P-2-197 爪甲肥厚症、巻き爪、陥入爪、爪周囲炎に対する当院の取り組みとフェノールを用いない爪母の切除法
榎本 洸 真生会富山病院
- P-2-198 外国人団体旅行血液透析患者の治療経験
松本 愛 看護部
- P-2-199 韓国のヤングケアラーに関する文献検討～ユースクリニックの可能性～
日吉 和子 太成学院大学看護学部

閉会式

閉会式

6月15日(日) 16:00～16:10 第1会場「2F コンベンションホール4」

査読者リスト

浅野 一恵	重症心身障害児者施設つばさ静岡	岡田 孝弘	オカダ外科医院
蘆野 吉和	庄内保健所	岡山 容子	医)みのり会 おかやま在宅クリニック
安彦 智博	アビースホームケアクリニック千川小竹向原	荻野美恵子	国際医療福祉大学医学部
安部 能成	穂波の郷クリニック	小串 哲生	おおあさクリニック
天本 健司	ホームクリニックえにし	奥山慎一郎	訪問診療クリニックやまがた
荒井 康之	生きいき診療所・ゆうき	小野 宏志	坂の上ファミリークリニック
荒金 英樹	愛生会山科病院 外科	小原 章央	医療法人 社団 都会
飯島 勝矢	東京大学	梶本心太郎	かじもと内科在宅クリニック
飯嶋 将史	いいじま訪問診療クリニック世田谷区二子玉川	片山 陽子	香川県立保健医療大学
飯田 智哉	巡る診療所	門田耕一郎	重工記念長崎病院
飯森 俊介	医療法人いろいろは	蒲池 正顕	医療法人八女発心会 姫野病院
池島 英之	なないろクリニック	上村久美子	医療法人橘会 居宅介護支援事業所万年青
石賀 丈士	いしが在宅ケアクリニック	川口 豊	荏原ホームケアクリニック
石垣 泰則	コーラルクリニック	川渕奈三栄	医療法人社団ナラティブホーム ものがたり診療所
一ノ瀬英史	いちのせファミリークリニック	河原崎宏雄	帝京大学医学部附属溝口病院
一戸由美子	むさしの丘ファミリークリニック	上林 孝豊	京都民医連あすかい病院
市原 利晃	秋田往診クリニック	北澤 彰浩	モンゴル日本大使館
伊藤 大樹	あおばクリニック	北田 雄太	あおばおうちクリニック
伊藤 英樹	医療法人社団西日本平郁会 神経内科クリニック	木下 朋雄	和光ホームケアクリニック
伊藤 博明	鶴巻温泉病院	木村 貴純	医療法人桑樹会 木村内科・胃腸内科
伊藤 浩光	医療法人社団ときわ赤羽在宅クリニック	木村 卓二	オリーブ在宅クリニック
井上 登太	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック	木村 琢磨	東京科学大学 総合診療科/介護・在宅医療連携システム開発学講座 総合診療科
井上 淑恵	悠翔会在宅クリニック品川	木村 幸博	もりおか往診ホームケアクリニック
猪口 寛	医療法人鵬之風のくち医院	葛谷 雅文	名鉄病院
猪原 健	猪原【食べる】総合歯科医療クリニック	熊谷 琴美	愛知学院大学健康科学部
今井 洋史	めぐみ在宅クリニック	栗田 竜子	いずみの森クリニック
今永 光彦	奏診療所	黒崎 史果	菅間在宅診療所
今村 昌幹	ぬちぐすい診療所	甲賀 健史	地域療育センターあおば
植竹 日奈	NPO 法人ケ・セラ	郡山 晴喜	ホームクリニックみまた
鵜飼亜由美	訪問看護ステーション仁	小島 香	浜松医科大学
臼井 啓子	合同会社 オフィス K	児玉麻衣子	オレンジホームケアクリニック
宇田 薫	医療法人おもと会	後藤 慶次	ひまわり在宅クリニック
内田 直樹	医療法人すずらん会たろうクリニック	五島 朋幸	ふれあい歯科ごとう
馬木 良文	医療法人はれの日 あおいそら在宅診療所	駒田 雄一	駒田医院
梅野福太郎	四街道まごころクリニック	小松 裕和	佐久総合病院
梅村 想	よってって在宅診療所	五味 一英	桜新町アーバンクリニック
浦野 明子	豊生会元町総合クリニック	小森 栄作	ももたろう往診クリニック
江口幸士郎	今立内科クリニック	齋木 啓子	悠翔会在宅クリニック新橋
海老原 毅	みずいろ薬局	齋藤 慶子	医療法人社団ゆみの
大北 葉子	順天堂大学国際交流センター	斉藤 康洋	GP クリニック自由が丘
大竹 耕平	いしが在宅ケアクリニック	齊藤 洋司	益田地域医療センター医師病院
大友 宣	医療法人財団老蘇会 静明館診療所	榊原 守	おうち診療所 国分寺
大橋 英司	医療法人社団 大橋内科胃腸科	坂本 岳志	あけぼの薬局 メディカル店
大橋 晃太	トータス往診クリニック	崎山 隼人	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医療人材連携教育センター
岡崎 俊哉	医療法人陽仁会上青木中央醫院	櫻井 隆	さくらいクリニック
小笠原貞信	内科	篠 美和	医療法人社団守成会広瀬病院
岡田 晋吾	北美原クリニック	島崎 亮司	シティタワー診療所

清水 政克	医療法人社団 清水メディカルクリニック	中田 隆文	マリオス小林内科クリニック
首藤真理子	みなとホームケアクリニック	中谷 匡登	伏虎リハビリテーション病院
荘司 輝昭	立川在宅ケアクリニック	中野 一司	医師
白川 光雄	海陽町穴喰診療所	中村 明澄	向日葵クリニック
白山 宏人	医療法人社団西日本平郁会 大阪北ホームケアクリニック	中村 幸生	医療法人優幸会中村クリニック
進藤 幸雄	進藤医院	中村 幸伸	つばさクリニック
新屋 洋平	ゆい往診クリニック	中安 一夫	総合診療科
杉浦 敏之	医療法人社団弘恵会杉浦医院	柳楽 知義	さくらクリニック
杉本 由佳	すぎもと在宅医療クリニック	並木 雄太	あおばおうちクリニック
鈴木 央	鈴木内科医院	西 明博	亀田総合病院 在宅診療科
鈴木 欣宏	結ファミリークリニック	西川 満則	介護老人保健施設相生
關 匡彦	北和在宅救急クリニック	新田 壮平	在宅療養支援クリニックここはる
染谷 明子	富山医療生活協同組合	野末 睦	医療法人あい友会 あい太田クリニック
高木 賢治	彩の国東大宮メディカルセンター	袴田 智伸	福澤クリニック在宅医療部
高木 博	みぞのくちファミリークリニック	橋本 和憲	ひのでクリニック
高橋 秀介	社会医療法人 博愛会 菅間記念病院	長谷川 寛	日本調剤 株式会社
田木 聡一	ファミリークリニックきたなかぐすく	濱野 淳	筑波大学
瀧本しおり	みさとホームケア診療所	原田潤一郎	やよい在宅クリニック
武知由佳子	医療法人社団愛友会いきいきクリニック	引野 雅子	医療法人社団ほくれあ会 ひきのクリニック
田中 啓	調布東山病院	久島 和洋	ドクターゴン鎌倉診療所
田中 啓太	みえ医療福祉生活協同組合いくわ診療所	平岡 晃	ひらおか内科クリニック
田中 登美	大阪成蹊大学	平原佐斗司	東京ふれあいう医療生活協同組合 梶原診療所
田中 英樹	池上メディカルクリニック	廣田 勝弘	小野田赤十字病院
田中 誠	医療法人理智会たなか往診クリニック	福本 和彦	磐田在宅医療クリニック
田中 弥生	関東学院大学	古屋 裕康	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
谷水 正人	南松山病院	片見 明美	株式会社ヴィーナス
田上 佑輔	やまと在宅診療所	星加麻衣子	のぞみクリニック
玉木 宣人	あおばおうちくりにっく	星野 将隆	船橋総合病院
田村 学	医療法人学縁会おおさか往診クリニック	星野真由美	グリーングラス川口町クリニック
茅根 義和	大森赤十字病院 緩和ケア内科	星野 大和	ほしの在宅ケアクリニック
千葉明日香	医療法人夢叶会 長町南クリニック	細谷 真人	在宅緩和ケアもみのき診療所
塚原 悦子	ファミリークリニックあい	堀越由紀子	星槎大学
月永 洋介	さつきホームクリニック	洪 英在	医療法人康誠会 東員病院
次橋 幸男	公益財団法人 天理よろづ相談所	前田 浩利	医療法人財団はるたか会
土屋 邦洋	いろは在宅ケアクリニック	舩本 祥一	筑波大学医学医療系
土屋 知洋	ちひろ内科クリニック	松岡 角英	南浜ファミリークリニック
鶴岡 優子	つるかめ診療所	松本 務	あおぞら診療所高知潮江
出水 明	医療法人出水クリニック	丸山 淳也	額田病院
遠矢純一郎	桜新町アーバンクリニック	丸山 道生	田無病院
融 衆太	新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科	三浦 邦久	医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 救急科
土橋 映仁	医療法人社団悠翔会在宅クリニック北千住	三浦 久幸	国立長寿医療研究センター
戸谷 剛	あおぞら診療所うえの	三木 明子	関西医科大学
外山 哲也	医療法人奏生会 奏診療所	水木麻衣子	東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座
中桶 了太	国民健康保険 平戸市民病院	水口 義昭	やよい在宅クリニック
長崎 修二	在宅サポートながさきクリニック	三村 卓司	社会医療法人 緑社会 金田病院
中嶋 裕	山口市徳地診療所	宮城 妙子	桜蘭会 M & T 在宅クリニック
中田賢一郎	医療法人社団さくらライフ	宮下 勉	医療法人あんず会

宮本 桃世	東大和ホームケアクリニック	山口 高秀	医療法人おひさま会
宮本 雄気	京都府立医科大学 救急医療学教室・医療法人双樹会 よしき往診クリニック	山路 義生	医療法人社団友志会 野木病院
村山 慎一	千葉健愛会あおぞら診療所	山田 剛司	みる訪問看護ステーション
望月 弘彦	相模女子大学	山中 崇	東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座
餅原 弘樹	医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック	山本 健	医療法人社団仁真会辻川ホームクリニック
森 清	在宅サポートセンター	横山 和正	東静脳神経センター
諸富 伸夫	新百合ヶ丘総合病院	吉江 悟	一般社団法人 Neighborhood Care
矢ヶ崎秀彦	医療法人あい	吉川 正宏	公益財団法人ときわ会 竹林貞吉記念クリニック
谷亀 光則	望星大根クリニック	吉崎 秀夫	札幌在宅クリニックそよ風
矢崎 一雄	医療法人財団老蘇会静明館診療所	吉田 伸	穎田病院
安池 純士	医療法人社団悠翔会	吉田 千文	前聖路加国際大学
泰川 恵吾	ドクターゴン診療所	吉本 明子	ゆみのハートクリニック
梁木 理史	村尾在宅クリニック	若林 秀隆	東京女子医科大学病院
柳本 蔵人	鴨川市立国保病院	和田 吉生	札幌在宅クリニックそよ風・白石
矢野 利章	しんあいクリニック	渡辺 剛	渡辺緩和ケア・在宅クリニック

協賛企業・団体一覧

第7回日本在宅医療連合学会大会の開催にあたり、下記の企業、団体より多大なるご協力とご支援を賜りました。
ここに深く感謝の意を表します。

第7回日本在宅医療連合学会大会
大会長 安中 正和 白髭 豊

ランチョンセミナー・スポンサードシンポジウム・ハンズオンセミナー

株式会社ヴァンディブ
エーザイ株式会社
NTT プレシジョンメディシン株式会社
オープン株式会社
オカモト株式会社
笹川保健財団
サノフィ株式会社
GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
スミス・アンド・ネフュー株式会社
ソルブ株式会社
チェスト株式会社

株式会社ツムラ
帝人ファーマ株式会社／帝人ヘルスケア株式会社／
フィッシャー & パイケルヘルスケア株式会社
テルモ株式会社
日機装株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン
株式会社プロアス
株式会社星医療酸器
マルホ株式会社／科研製薬株式会社
モデルナ・ジャパン株式会社
ユーシービー・ジャパン株式会社

プログラム集広告・幕間広告・ホームページバナー広告掲載

アボットジャパン合同会社
NTT プレシジョンメディシン株式会社
株式会社 oncall
キッセイ薬品工業株式会社
株式会社共和
協和キリン株式会社
株式会社 QUEEN'S
グラクソ・スミスクライン株式会社
塩野義製薬株式会社
医療法人白髭内科医院
セコム医療システム株式会社
第一三共株式会社

大陽日酸株式会社
武田薬品工業株式会社
中外医学社
日本歯科薬品株式会社
日本ビーシージー製造株式会社
医療法人陽蘭会 広瀬クリニック
ファストドクター株式会社
株式会社プロアス
メディカルインフォマティクス株式会社
リコーリース株式会社
特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

寄付・助成

株式会社クリーンマット
税理士法人波多野アンドパートナーズ会計事務所
一内会
医療法人社団 心
医療法人 阿保外科医院

十八親和銀行新大工町・馬町支店
日本赤十字社 長崎原爆病院
長崎大学第一外科同門会
公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
本田 啄也

企業展示・書籍展示

アイ・エム・アイ株式会社	チェスト株式会社
一般社団法人 ICAA	チャートウェルヘルスケア株式会社
アサヒグループ食品株式会社	ディピュラメディカルソリューションズ株式会社
味の素株式会社	テレフレックスメディカルジャパン株式会社
アボットジャパン株式会社	株式会社東京ミライズ
株式会社伊藤園	株式会社当直連携基盤
入江工研株式会社	東洋羽毛九州販売株式会社
インフィニティメディカルソフト株式会社	トクソー技研株式会社
株式会社インボディ・ジャパン	トヨタカローラ長崎株式会社
AMI 株式会社	ながさき地域医療人材支援センター
株式会社エクスメディオ	ナック商会株式会社
株式会社 NTT データ中国	株式会社ニチイ学館
NTT プレシジョンメディシン株式会社	一般社団法人日本 ALS 協会
株式会社大塚製薬工場	日本シグマックス株式会社
オープン株式会社	日本ビーシージー製造株式会社
オカモト株式会社	ニュートリー株式会社
オムロンヘルスケア株式会社	ネスレ日本株式会社　ネスレヘルスサイエンスカンパニー
株式会社 oncall	パーカッション・ジャパン株式会社
花王株式会社	株式会社梅月堂
科研製薬株式会社	パラマウントベッド株式会社
kanata 株式会社	株式会社 PSL
カフベンテックジャパン株式会社	株式会社 VIP グローバル
一般社団法人 KISA2隊	株式会社ヒュー・メックス
キッコーマンニュートリケア・ジャパン株式会社	ファストドクター株式会社
株式会社紀伊国屋書店	フィッシャー&パイクヘルスケア株式会社
九州メディカルサービス株式会社	株式会社フィリップス・ジャパン
QT Medical, Inc	フクダ電子株式会社
株式会社共和	株式会社ブルーサイエンティフィック新上五島
株式会社 QUEEN'S	株式会社プロアス
株式会社クラウドクリニック	株式会社星医療酸器
クロスログ株式会社	マルホ株式会社
一般社団法人コミュニティ&コミュニティホスピタル	ミーカンパニー株式会社
三栄メディシス株式会社	メディカルインフォマティクス株式会社
GE ヘルスケア・ジャパン株式会社	株式会社 medimo
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社	株式会社メルシー
シスメックス株式会社	森下仁丹株式会社
スミス・アンド・ネフュー株式会社	株式会社ヤマト
セコム医療システム株式会社	USCI ジャパン株式会社
株式会社ゼスト	祐徳薬品工業株式会社
泉工医科工業株式会社	株式会社龍角散
ソルベントム合同会社	株式会社レスメッド
大研医器株式会社	特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
太陽化学株式会社	

診療費をキャッシュレス化。
患者様と『より向き合える時間』に。

患者様やご家族様のお支払いをスムーズに
クリニックの働き方改革・業務効率化

Web上で
簡単に請求・回収
結果の確認が
できます

電子カルテと
請求データの
連携が
できます

口座振替サービス

お問い合わせはフリーダイヤル、ホームページまで



0120-727-702

〈受付時間：平日 午前 9:00 ～午後 5:00〉

東証プライム上場企業・クリニックでの導入実績多数

<https://www.rl-shukin.jp/>

リコーリース株式会社

東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター 19 階



SaaS × BPOで医療DXを推進 クリニック開業・運営を成功に導きます

多くの在宅医療機関のコンサルティングで培ったノウハウで
総合的にサポート

SaaS
(クラウドサービス)



✓ 訪問診療専門電子カルテ

» hcmis



BPO



✓ 在宅レセプト支援サービス

» レセサポ



✓ 在宅クリニックDX支援

» Okitell365



専門コンサルティング

✓ クリニックの経営支援・承継支援



mics
コンサルティング



✓ 訪問診療専門の人材採用支援



mics
採用支援



✓ 訪問診療に特化した医師人材紹介



在宅専科



hcmis

在宅医療用クラウド型電子カルテ

在宅医療専門医が考えた 今一番新しいカルテ

全国150以上の在宅クリニック
大手医療法人へも多数導入

無料説明会予約受付中



AI搭載で
書類自動作成

オーダーリングチェック機能で
投薬ミスや病名漏れチェック

タイムラインで患者様の
経過を瞬時に把握



メディカルインフォマティクス
株式会社



03-5733-6600



東京都千代田区丸の内二丁目1番1号 明治生命館4階

在宅医療のメディアサイト
在宅医療カレッジ



夜間も日中も、誰でも、 緊急の血液分析ができます

i-STAT®1 アナライザー

血液ガス、電解質、血糖、クレアチニン、BUN、ヘマトクリット、心筋トロポニン、ACT など 21 項目の検査が可能



経済性

測定カートリッジ以外の消耗品が無く、更に、必要な検査項目のみに絞ったカートリッジが選択できます

シンプルでスピーディーな操作

電源をオンにした直後に、検体を注入したカートリッジを本体に挿入。自動で測定開始し、どなたでも使用できます。結果取得までに約2分※1

大型分析装置と同等の精度

ポータブル型ながら、大型の分析装置と同等の精度※2の検査が可能です。精度管理用試薬もあります

メンテナンスフリー

検体はカートリッジ内のみを移動。アナライザー本体は暴露しないため故障を抑制、管理が容易です

院内システムとの連携

InfoHQ（オプション）で院内システムへデータを送ることが可能です

※1：トロポニン、 β -hCG は約 10 分、ACT は実測値

※2：i-STAT®1 アナライザー取扱説明書に基づく

アボットジャパン合同会社 ポイント・オブ・ケア事業部

〒108-6305 東京都港区三田 3-5-27 住友不動産東京三田サウスタワー

TEL. 0120-03-1441 (受付時間 平日9:00-17:00)

医療機器：12B1X00001000020 POC202503-01M

GSK



A型ボツリヌス毒素製剤

薬価基準収載

毒薬 生物由来製品 処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

ボトックス[®] 注用 50単位 100単位

BOTOX for injection

※「警告」、「禁忌」、「効能又は効果」、「効能又は効果に関連する注意」、「用法及び用量」、「用法及び用量に関連する注意」等については、電子添文をご参照ください。

グラクソ・スミスクライン株式会社

東京都港区赤坂 1-8-1

製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]

TEL: 0120-561-007 (9:00~17:45 / 土日祝日及び当社休業日を除く)

<https://jp.gsk.com>

PM-JP-OBT-JRNA-250001
作成年月 2025年2月

たった一度の
いのちと
歩く。



KYOWA KIRIN

私たちの志

検索

2019年7月作成



お口の汚れを 軟化させて からめとる。



さわやかな
ミント味

- うるおい成分
• ヒアルロン酸Na

口腔ケア用ジェル お口を洗うジェル 口腔化粧品

[内容量：希望小売価格]
25g: 680円(税別) / 80g: 1,500円(税別)
販売名：ニシカケアジェルa



無香料

- 薬用成分
• GK^{※1} [抗炎症成分]
• CPC^{※2} [殺菌成分]
- うるおい成分
• アズレン^{※3}
• ヒアルロン酸Na^{※4}

口腔ケア用ジェル 薬用

お口を洗うジェルAZ 医薬部外品

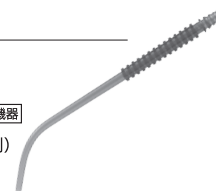
[内容量：希望小売価格] 25g: 770円(税別) / 80g: 1,700円(税別)
販売名：ニシカケアジェルAZ

関連製品

口腔ケア用汚染物回収ツール

口腔ケア用吸引管 管理医療機器

[包装・標準価格] 20本入・2,900円(税別)
医療機器認証番号：303ADBZX00005000
一般の名称：歯科用吸引管



※1：グリチルリチン酸ジカリウム ※2：塩化セチルピリジニウム ※3：グアイアズレンスルホン酸ナトリウム ※4：ヒアルロン酸ナトリウム(2)



日本歯科薬品株式会社

本社 山口県下関市竹崎町4-7-24 〒750-0025・営業所 大阪・東京・福岡
お問合せ・資料請求《お客様窓口》☎ 0120-8020-96

NISHIKAホームページ <https://www.nishika.co.jp/> ▶▶▶





Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、
輝かしい未来に貢献するために、
グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、
革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、
常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、
社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



体外診断用医薬品

保険適用

使用目的、用法・用量（操作方法）を含む
使用上の注意等については電子添文を参照してください。

ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白キット

ヴェリファスト® H-FABP

認証番号228ABEZ00080000

プロカルシトニンキット

ヴェリファスト® PCT

承認番号30200EZ00093000

判定まで10分

全血・血漿・血清で検査可能

1回用、5回用 包装

製品紹介動画がご覧いただけます。



ヴェリファストH-FABP



ヴェリファストPCT

製造販売元
バイオリンクス株式会社
〒224-0065
神奈川県横浜市都筑区高山18-6

販売元
日本ビーシージー製造株式会社
〒112-0012
東京都文京区大塚一丁目5番21号

資料請求先
カスタマーセンター
TEL 03-5395-5590

2025年2月作成
PIDD292502-BOFEA



World Vision

ワールド・ビジョン・ジャパン



この子を救う。未来を救う。

1日あたり150円の支援で、子どもたちの未来が変わります。
チャイルド・スポンサーになってください。

未来を切り拓く力をつける支援

チャイルド・スポンサーシップは、月々4,500円、1日あたり150円の継続支援です。チャイルド・スポンサーになっていただいた方には、支援地域に住む子ども"チャイルド"をご紹介します。ご支援金はチャイルドやその家族に直接手渡すものではなく、子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援活動に使います。子どもたちと地域の人々が「未来を切り拓く力」をつけられるように支えます。



World Vision

この子を救う。未来を救う。

特定非営利活動法人

ワールド・ビジョン・ジャパン

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー3F

TEL: 0120-465-009 <https://www.worldvision.jp/>



各会場のスクリーンにて、動画を上映しています。
ぜひご覧ください。



支援について
詳しくはこちら



持続性選択的DPP-4阻害剤/経口糖尿病用剤

マリゼブ[®]錠 12.5mg 25mg

オマリグリプチン錠

MARIZEV[®] Tablets

処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

薬価基準収載

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等の詳細については、電子添文等をご参照ください。

製造販売元
キッセイ薬品工業株式会社
松本市芳野19番48号

〔文献請求先および問い合わせ先〕
<文献請求先><すり相談センター>
<販売情報提供活動問い合わせ先>

キッセイ薬品工業株式会社
東京都文京区小石川3丁目1番3号
0120-007-622
0120-115-737

2024年9月作成
MZ004-01



世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。



第一三共株式会社

SHIONOGIは いま、まさに 立ち向かっている。

半世紀以上、
感染症と向き合い続けてきた誇りを胸に。
ヘルスケアの未来を見据え、
健やかで豊かな人生に貢献するために。

